

記事の内容

No.1504 二〇一七年九月十五日

一面 自治労中央本部第九十回大会（八／二十八～三十
新潟市）

地域間格差の解消をめざす

臨時・非常勤等職員の処遇改善と組織拡大へ

えさきたかし国会報告会（八／二十五 豊岡市）

安倍一強政治に終止符を

現業公企統一闘争

直営堅持を基本目標に

十月二十日に統一行動を配置

西脇・南あわじ 予定候補者を推薦決定

しこう

いまいち座 今がチャンス 吉田ノボ

二面 県本部大会の課題 尾西書記長に聞く

四万人体制の再構築へ

木村草太講演会（九／五 丹波の森公苑）

安倍改憲案は論理矛盾

九条の自衛隊明記を批判

二〇一七人勸と課題

政府の取り扱いが焦点

全労済自治労共済本部・自治労共済生協

取り組み方針を確認

第十回黒豆収穫祭（案内）

No.1505 二〇一七年十月一日

一面 現業・公企統一闘争

直営堅持を基本目標に

新規採用を勝ち取ろう

県人事委員会へ申し入れを実施（九／八）

較差は給料表で対応を

神戸市人事委員会勧告（九／十二）

四年連続の引き上げ

小野市裁判 大阪高裁へ

青年部定期総会（九／九 神戸市教育会館）

組織強化に力を入れる

女性部定期総会（九／九 神戸市教育会館）

権利は使うためにある

しこう

いまいち座 松本真紀子

二面 町職連協定期総会（太子町）

対等に交渉できる組織力を

新議長に北川さんを選出

公企評総会・公企集会（九／八～九 ゆめ春来）

危機管理体制の強化へ

臨職評定期総会（九／二十三 共済会館）

法改正を恐れずに実態に応じた取り組み強化

公共民間協総会（九／九 神戸フルーツフラワー

パーク）

第一環境、加西社協が新たに協議会へ結集

障勞評つどいを開催（九／二十三 尼崎市）

幹事会体制の強化

神戸町長選挙

山名宗悟さんを推薦決定

No.1506 二〇一七年十月十五日

一面 第六十八回県本部定期大会（九／三十 舞子ピラ）

県本部四万人体制の再構築へ

大野新執行部体制を確立

新役員体制を確認

小原、山下新副委員長を選出

今回の大会で退任された役員

報告に関する発言

組合結成し活動開始 加西社協労組 石原代議員

住民ピラで委託阻止を 加古川市職勞 岸本代議員

しこう

いまいち座 心が折れそう 大植賢

方針に対し二十人が発言

総務省対策を要請 県職勞 青木代議員

情報入手に全力を 神戸市従 井上代議員

地域交通の確立 伊丹交通労組 飯田代議員

市北部の医療を守る 川西市職勞 山下代議員

自民党政治に歯止めを 高砂市職 尾山代議員

処遇改善への支援を 加西ユニオン 古角代議員

人員確保が困難 宍粟市職勞 田路代議員

任期付保育士の雇用守る 丹波市職勞 足立代議員

労使対等実現に尽力 清水愛老園労組 谷代議員

支払機関の意義重要 国保労組 麻生代議員

青年と沖繩視察に参加 県職勞 金本代議員

年金受給までの雇用を 尼崎嘱託勞 上原代議員

合理化強行を阻止 三田市職勞 白髭代議員

審査請求を不当に棄却 明石市職勞 大岡代議員

実損回復に取り組み 三木市職 中西代議員

No.1507 二〇一七年十一月一日

一面 現業公企闘争決起集会（十／十 県民会館）

新規採用にこだわる

人員減で公共サービスは危機的状況

青年女性現業・公企交流会

職場の活動から闘争を前進させよう

現業公企対県交渉（九／七）

労使交渉・合意が大前提と確認

県人事委員会 報告と勧告（十／十二）

給料表、一時金とも引き上げ

独自カットの解消も要請

しこう

いまいち座 漁夫の利 大西英剛

衆議院選挙

小選挙区での議席確保できず

桜井さんは比例で復活

神戸市長、西脇・豊岡・南あわじ市議選は当選

確定闘争に勝利しよう

統一行動日は十一／十五と十一／二十二

県本部単代会議（十／三）

較差解消めざす

町職連協単代で確認

確定は第二波に集中

県本部まんがコンクール結果発表

県本部スキルアップセミナーのご案内（案内）

県本部囲碁・将棋大会の出場者募集（案内）

二〇一七年十一月十五日

一面 二〇一七現業・公企統一闘争

宝塚・豊岡・養父正規で職員確保

丹波は苦情処理共同会議設置

積み残し課題は確定闘争へ

阪神淡路ブロック第四十七定期総会（十／二十七

洲本市民交流センター）

より一層ブロック結集を

連合兵庫第十六回定期大会（十／三十 メリケン
パークオリエンタルホテル）
男女共同参画めざす

近畿地連第六十四回定期総会（十一／二 和歌山市内）
森蔭議長が勇退
しこう

いまいち座 排除します おやすみ漫

青年部対県交渉（十一／一）

中途採用者の処遇改善求める

同一年齢同一賃金を

自治体退職者会兵庫県本部第四十二回定期総会（十
／三十一 伊丹シティホテル）
現退一致の活動強化

一年ぶりの顔合わせで歓談

臨時・非常勤等職員給食調理員交流会（十／二十一
共済会館）
徹底した手洗いと体質管理を

新温泉町に二人の組織内議員誕生

大野新委員長に聞く

働きやすい職場づくりを

No.1509
二〇一七年十二月一日

二面
二〇一七確定闘争決起集会（十一／八 県庁前）
労使交渉で決着はかる

県は「給与法成立後」を強調

県本部 県市町振興課交渉（十一／七）

年内差額支給求める

青年女性部確定決起集会（十一／八 生田文化会館）

賃上げを勝ち取ろう

神戸交通労組 青年部でアンケート

しこう

いまいち座 不法投棄 吉田ノボ

播磨ブロック第四十七定期総会（十一／一 姫路市
民会館）

山下新議長を選出

但馬丹波ブロック第四十七定期総会（十一／十 豊
岡市内）

女性副議長に高階さん

阪神七市 人事協へ申し入れ（十一／二）

神戸町長選挙 山名さんが当選（十一／十九）

全労済自治労共済本部兵庫県支部

No.1510
二〇一七年十二月十五日

二面
二〇一七賃金確定単組妥結状況
スト回避し大綱妥結

退職手当は切り離し協議へ

退職手当組合へ申し入れ（十二／十四）

国同様の措置は求めない

要求書と署名を提出

県本部自治研集会（十一／二十三 ラッセホール）

地域づくりは交通の確保から

生活するための交通政策が重要

安倍九条改憲No.1憲法生かす全国統一署名（案内）
しこう

二面
いまいち座 いつものことだし 松本真紀子

第三十七回囲碁・将棋大会（十二／一 共済会館）

囲碁・三谷さん、将棋・野場さんが優勝

退職者会が初参加

臨職評が退職者会を結成（十一／十五）

親睦を一層深める

県本部消防セミナー（十一／二十五）

より良い消防サービスの実現には労使協議が重要

神戸地裁公平委の却下は違法

三木市に誠実な解決求める

No.1511
二〇一八年一月一日 新年号

二面
大野委員長年頭あいさつ

前向きに地道な努力を重ねる年へ

県本部役員・書記

公共交通はみんなのライフライン

持続可能なみんなの地域公共交通の実現へ

自治体の積極的な関与が求められている

都市公共交通評議会とは

兵庫は二単組で構成

書き損じはがきと古本で国際貢献しよう（案内）

三面
峰山高原リゾートホワイトピーク

十四年ぶりにスキー場新設

神戸町の活性化へ期待高まる

臨時駐車場、シャトルバス町が全力でバックアップ

気軽に遊びに来て下さい 山名町長

私たちも自治労とともに頑張ります

共済県支部

自治研センター

組織内首長・議員

新春クロスワードクイズ

イヌ（戌）のことわざ 故事・用語

No.1512
二〇一八年一月十五日 共済特集号

一面・二面 じちろう団体生命共済がより良い制度へリ
ニューアル

No.1513
二〇一八年二月一日

二面
県本部単組代表者会議（二／十六 共済会館）

会計年度任用職員制度導入に向け臨時・嘱託の現
状把握を

県本部としての給料指標を示す

旗開きに二〇〇人（二／十六 ラッセホール）

労働運動の姿見せよう 大野委員長が抱負

本部春闘討論集会（十二／十三・十四 東京）

非正規労働者の組織化へ

処遇改善と一体の取り組みを

批准投票の成功を（案内）

しこう

二面
いまいち座 高いハードル大植賢

第三回スキルアップセミナー（十二／八 共済会館）

現場実態から追及を

要求書づくり、模擬交渉を行う

第三十二回人権啓発研究集会（二／十一・十二 神
戸国際展示場）

人権啓発集会に四〇〇〇人

県本部からも七十人が参加

女性部・臨職評合同学習会（十二／十六 共済会館）

寸劇で権利を学ぶ

声を掛け合って権利行使を

部落解放県民共闘会議 第四十回定期総会（十二／
十一）

差別生む社会変えよう

県民共闘が総会、人権三法を学ぶ

No.1514
二〇一八年二月十五日

二面
反行革・予算要求統一行動

増員を確認し妥結

六単組がストライキを配置

町職単組交流会（二／十九・二十 佐用町）

非正規の処遇改善と組織化を重点課題に

青年部学習会（二／七）

本部の佐藤部長が講演

実態からはじめよう

本部中央委員会(二／二十九～三十 東京)

春闘方針など確認

裁判闘争への支援を要請

しこう

いまいち座 ギャップ「戦争と平和」 大西英剛

二／三 二〇一八春闘

「底上げ・底支え」を合言葉に

統一行動日は三月十六日に設定

1 一八春闘をめぐる情勢

2 具体的な取り組み

3 公務員賃金の改善と地方財政の確立

4 会計年度任用職員への対応

5 格差是正と公正なワークルールの確立

6 平和運動の推進と政治闘争

二〇一八春闘の行動日程

二〇一八春闘重点課題(概要)

連合兵庫春闘決起集会(案内)

四 臨職評全単組代表者会議・学習合宿(二／二十七～二十八 共済会館)

法改正で処遇はどうなる

会計年度任用職員の課題を学習

明石市職員アスベスト問題

神戸地裁へ提訴

公務災害認定を求める

第三十七回自治研集會自治研レポート募集

障労評電話相談(案内)

新春クイズ当選者発表

No. 1515 二〇一八年三月一日

一面 県本部二〇三回中央委員会(二／九 神戸市内)

非正規の組織化を

会計年度の労働条件で発言も

二〇一八春闘討論集會(二／十 神戸フルーツフラ

ワーパーク)

月例給の引き上げにこだわる

春闘勝利をめざし意思統一

春闘討論集會講演の要旨 講師 在問秀和弁護士

私たちがめざす「働き方改革」とは

しこう

いまいち座 つぶやき おやすみ漫

二 青年女性春闘討論集會(二／三 共済会館)

「年休消化は二日」

分散会で職場実態を交流

女性部 対県交渉(二／七)

契約更新時に妊娠、雇い止めはマタハラ

衛生医療評 対県交渉(二／一二)

医療と介護の環境改善求める

不採算部門を担う公的病院の存続を要請

小野裁判闘争(二／七)

控訴人請求を棄却する不当判決

会計年度任用職制度化に向けて①

雇用安定と処遇改善を勝ち取るう

No. 1516 二〇一八年三月十五日

一面 県本部決起集會(二／十七 神戸市内)

組織化進め処遇改善

臨職評酒井議長 日々の仕事に自信と誇りを

二〇一八現業交流集會(二／二十三～二十四 津名

ハイツ)

現業・公企闘争勝利に向けて

要求・交渉・妥結の闘争サイクル確立を

スト権確立を宣言

兵庫は73・82%

岸まさこさんが兵庫入り(二／十九～二十)

自治労の政策実現へ

しこう

いまいち座 高齢化時代の好例 吉田ノボ

二〇一八水道集會 下水道部会交流会(二／十六～

十七 共済会館)

水道事業のあり方を学ぶ

知り得た知識を単組・職場へ

障労評交渉(二／二十)

非正規雇用の実態把握で一歩前進

労働局から努力するとの回答引き出す

県本部二〇一八春闘討論集會 分科会報告①

より良い地域医療にむけた春闘の取り組み

働き方改革とワークルールの考える

No. 1517 二〇一八年四月一日

一面 県市町振興課交渉

不適切な事例へは助言する

会計年度に特化した協議も確認

全国町村職評議会 総決起集會(二／二十三／東京

よみうりホール)

職場の声を町村評へ

「地方財政確立」国会請願デモ

連合兵庫 決起集會(三／三 メリケンパーク)

格差是正をめざす

たつの市議選船引宗俊さんを推薦

自治労カップ開幕

みんなで夢を応援

大会協賛のお願い

しこう

二 面 いまいち座 傘下 松本 真紀子

病院集會(三／二 共済会館)

安心して働ける職場づくりを

地域医療構想の理解求める

都市公評 春闘学習會(三／三)

キャンベーンに向けて意思統一

神戸交通で新規採用再開

五・三兵庫憲法集會(案内)

県本部二〇一八春闘討論集會 分科会報告②

地方財政の確立と地方公務員の賃金を考える

会計年度任用職員制度導入に向けた組織拡大を考

える

No. 1518 二〇一八年四月十五日

一面 二〇一八春闘交渉(三／二十二～二十三)

勧告での誠意ある対応を確認

人勧期に向け闘争体制の強化を

三・一六行動日

五単組が行動配置

新年度人員配置を確認

障害者春闘二〇一八(三／三十一 神戸市勤労会館)

障害者は不要な存在なのか

相模原事件を振り返る

メーデーに結集しよう(案内)

しこう

二 面 いまいち座 一度に課題多すぎ 大植 賢

県本部 第十三回卓球大会(三／十八 加西市勤労

者体育センター)

神戸市職労が二連覇

チームの若返りはかり、総合力アップ

公共民間協 春闘学習會(三／二十一)

地域に根ざした介護制度を

退職手当

調整率は国どおり
実施日は四月一日

自治労本部 青年プロジェクトチーム企画(案内)

No.1519
二〇一八年五月十五日

一面 人員確保・男女平等・夏期一時金闘争

業務量に見合った人員配置を

現業・公企闘争の第一次交渉ゾーンに位置付け

人員確保・男女平等産別統一闘争日程

夏期一時金闘争日程

第八十九回兵庫県メーデー神戸中央大会(四／二十八)

働く者のための働き方改革をすすめよう

県本部ナースアクション(案内)

平和・人権・環境を考える集い(案内)

県本部保育を考えるつどい(案内)

しこう

いまいち座 出るわ・出るわ 大西英剛

戦争させない、9条壊すな!兵庫憲法集会(五／三)

神戸市・東遊園地)

安倍政権を退陣へ

立憲主義無視、政治の私物化

阪神淡路ブロック 武田尾ハイキング(三／十七)

家族参加で初企画

阪神淡路ブロック水道部会里山環境保全活動(三／二十四)

約四時間、伐採作業

たつの市議会議員選挙

激戦制し初当選

自治労カップ少年野球大会(五／三〇五 尼崎市)

総勢一〇〇チームが熱戦

二十九単組、六団体が協賛

県本部政策実現会議(四／十九 ラッセホール)

トップランナー方式に財政効果なし

各級議員が意見交換

二〇一八年六月一日

No.1520
二〇一八年六月一日

一面 反行革・組織集会(五／十一〜十二 加西市内)

人員確保闘争に向け意思統一を

職場の声で改善へ

自治労本部 鬼木誠総合公共民間局長 基調講演

困ったときは組合に相談

良い職場をみんなでつくろう

高砂不当処分撤回闘争

退職前に処分取り消し

五年間のたたかいに終止符

第二十八期県本部労働学校(案内)

しこう

いまいち座 私も二刀流です・・・ おやすみ漫

二面 第二回青年女性大交流会(五／十九〜二十 養父市)

二日間、ガッツリ交流

ゲームやバンドを楽しむ

まんが集団第三十一回例会(五／十二)

「いまいち座」描き手で座談会

生活感溢れるまんが

会計年度任用職員制度

非正規の組織化を

稲美町長選挙

無投票で三選

訂正とお詫び

No.1521
二〇一八年六月十五日

一面 第二十一回平和・人権・環境を考える集い(六／二)

神戸市勤労会館)

障害者差別解消法を学ぶ

当事者との対話が重要

大阪市立大学他非常勤講師 松波めぐみさん 記念

講演要旨

差別解消法を生かすために

対話を通じて共生社会へ

第一五五回自治労本部中央委員会(五／二十四〜二十五 東京)

当面の闘争方針確認

岸まさこの勝利へ

第二十八期県本部労働学校(案内)

しこう

いまいち座 安倍の身屈す 吉田ノボ

ナースアクション(五／二十七 私学会館)

地域医療を支える人材の確保を

元町駅周辺で街頭アピール

三木裁判闘争大阪高裁判決(五／二十五)

組合側の主張を認め

市側の控訴棄却

人権教育ひょうご総会(五／二十七)

部落差別どう考える

若者パネラーにディスカッション

県本部書記会議研修会(六／一〜二 神戸市内)

自治労運動への主体的な参画を

No.1522
二〇一八年七月一日

一面 県本部第二〇四回中央委員会(六／二十二 県民会館)

会計年度のヤマ場確認

処分撤回など、たたかいを共有

平和友好祭学習会(六／二十二)

反核リレー前段に被爆体験学ぶ

夏期闘争結果

定年退職を上回る採用を確認

県本部福祉集会(案内)

県本部まんがコンクール作品募集(案内)

しこう

二面 いまいち座 中央省庁 カイザンジャー 松本真紀子

第三十五回保育を考えるつどい(六／十 神戸市内)

職場改善へ実践深める

非正規の組織化が重要

阪神淡路、播磨ブロック新組交流会

楽しい企画出し合う

第二十一回平和・人権・環境の集い 分科会報告①

滞日外国人のこころ支援

捉え方は国によって異なる

差別解消法の具体化に向けて

職員向け手話通訳を配置

No.1523
二〇一八年七月十五日

一面 県本部二〇一八労働安全衛生集会(六／二十六 共済会館)

全ての職場で三六協定締結を

七月は労働安全衛生強化月間

会計年度任用職員制度賃金担当者会議(六／二十九 共済会館)

今年度中の決着へ

核兵器の廃絶求め反核リレーが発表

七月三十一日、神戸市役所到着

平和・人権・環境を考えるの集いでの発言について

差別発言に対する対応の不備を反省

差別発言に対する対応について

しこう

いまいち座まんがコンクール作品募集中! 大植賢

二面 県本部第四十回野球大会

神戸市從庄巻のV

八鹿病院は初の準優勝
県本部第四十回女子バレーボール大会（六／二十三
六栗市）

豊岡病院労組が接戦制す

悲願の初優勝に輝く

第二十一回平和・人権・環境の集い 分科会報告⑩

神戸市交通局でフィールドワーク

ノステップバスを体験

No.1524 二〇一八年八月一日

一面 二〇一八年勤期闘争

民間相場を踏まえた勧告を

勧告の翌日に統一行動日を配置

自治労青年女性中央大交流会（七／十三～十五 山
梨県）

職場の問題を客観的に認識

参加者の感想を紹介

フォーラムひょうご総会（七／十六）

広く手をつなぎ平和憲法を守ろう

しこう

いまいち座 オウンゴール 大西英剛

二面 県本部福祉集会（七／二十一 県民会館）

抱樸の奥田さんが講演

但馬丹波ブロック青年女性部 新組合員交流学習会

（六／二十九～三十 新温泉町）

一人で悩まず仲間づくり

新入組合員が学習と交流深める

播磨ブロック 職場点検活動

加古川クリーンセンター（七／四）

加東市民病院（七／二十四）

阪神淡路ブロック水道部会 職場安全点検活動

三田市古城浄水場（七／十三）

No.1525 二〇一八年八月十五日 人事院勧告特別号

一面 二〇一八年八勸

定年六十五歳へ段階的引き上げ

給与水準は六〇歳前後七割に

公務員労働組合連絡会 声明

二面 人事院勧告と報告（二面の続き）

三面 人事院勧告と報告（二面の続き）

四面～五面 行政職俸給表（一）

六面 行政職俸給表（二）

七面 人事院勧告と報告（三面の続き）

八面 給与勧告の骨子

定年を段階的に六十五歳に引き上げるための国家公

務員法等の改正についての意見申し出の骨子

No.1526 二〇一八年九月一日

一面 現業評会議定期総会（八／三 シーサイド舞子ビラ）

現業公企闘争を全力で

働き続けられる職場づくりを

衛生医療評定期総会（八／三 共済会館）

地域医療の充実をめざす

女性組合員交流会（八／四 神戸市内）

ジェンダーの解消には女性の覚悟も必要

しこう

いまいち座 高値の野菜 おやすみ漫

二面 近畿地連スポーツ大会（七／三十～三十二）

宝塚が庄巻の二連覇達成

バレーは豊岡病院健闘するも第四位

地震の怖さと備えの大切さ学ぶ

但馬丹波ブロック労安点検（七／二十七 香住町）

日頃からの整理整頓を

沖縄視察団（七／二十七～二十九）

基地反対の市民の姿に触れ

過去を学び未来へつなげるツアー（八／六）

地震の怖さと備えの大切さ学ぶ

「災害特別カンパ」へのご協力をお願いします（案内）

* * * *

ネットワーク情報

No.172 二〇一七年九月十九日

一面 十月は各級地方自治体選挙が執行

神戸市長選

西脇市議選

新温泉町議選

豊岡市議選

南あわじ市議選

No.173 二〇一七年十月十日

一面 衆議院選挙公示、投票日は十月二十二日

よこはた和幸三区（須磨区・垂水区）駆け巡る

二面 兵庫県内での本部推薦候補者

第二区 ふなかわ治郎

第四区 佐藤やすき

第五区 梶原やすひろ

第六区 桜井シヨウ

No.174 二〇一八年五月二十八日

一面 県本部現業評議会ニュース

『二〇一八年度現業・公企統一闘争のあり方』

について

県本部人員確保闘争の日程

二面 檄

当面の日程

- 23日 県本部臨職評総会（ひょうご共済会館）
 23日 自治体に働く障害者のついで（尼崎ポップインアミング）
 30日 県本部第68回定期大会（舞子ビラ神戸）

自治しゅうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1504号

2017. 9. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

自治労中央本部 第90回定期大会

地域間格差の解消をめざす

臨時・非常勤等職員の処遇改善と組織拡大へ

自治労第90回定期大会が、8月28～30日にかけて新潟市朱鷺メッセで開催された。大会では、2018～2019年運動方針や賃金確定闘争、現業公企統一闘争の推進など「当面の闘争方針」のほか、6議案が提起され、原案通り賛成多数で可決された。本部役員の見解が信任された。また、次回参議院選挙に組織内候補として「岸まきこ」さんを擁立することを決定した。



本部方針を聞く兵庫の代議員

冒頭、川本淳委員長は、「高度プロフェッショナル制度や裁量労働制には明確に反対。人事院勧告を受け賃金確定闘争を強化していく。地公法改正による臨時・非常勤職員の処遇改善と組織拡大の取り組みを進めていこう」と決意を表明した。経過報告では21県本部、評議会からは44県本部から発言があった。

発言では、賃金闘争は地域間格差解消に向けた具体的取り組み提起、退職手当見直し反対、臨時・非常勤職員の処遇改善、組織拡大、現業・公企統一闘争は現行スケジュールで、政治闘争での野党連携、次期参議院選挙に向けた決意、脱原発や平和の課題などについて意見が出された。

本部からは、①地域間格差解消に向け新たな到達目標を参考に昇格改善運用などを基本に統一闘争強化を進める②退職手当は合意を前提に支給水準の確保を求めていく③地公法改正を契

機に10万人組織化に向け取り組みを強化する④現業公企闘争は5月、10月と2つのヤマ場に分散するがそれぞれのヤマ場で獲得目標を明確化する⑤次期参議院選挙は必勝に向け取り組み強化する、等の見解が表明された。

兵庫県本部からは、左川忍副委員長が、「今後の現



左川副委員長が発言

業公企統一闘争のあり方について、「現在の産別闘争も不十分な状況で交渉の数を増やしても課題は解決できない。混合組合が多数を占める中で基本組織とどう一体となったかというかが問われている。現行の10月に集中して闘争強化すべき。兵庫としても直営堅持を基本にたたかいてを進めていく」と意見を述べた。

西・南あわじ 予定候補者を推薦決定

西脇市議選 10/22告示、29投開票
 村井正信さん(県本部組織内)
 南あわじ市議選 10/15告示、22投開票
 土井巧さん(兵教組・連合推薦)



夏休みの帰省が楽になった。スマホを片手に事前の連絡もスムーズ、待ち時間も苦にならない。大手スーパーやコンビニ、家電量販店の進出した街は、神戸と変わらない風景になった。親族に会って任務終了！神戸で生まれ育ち、商社に勤めていた妻は、結婚当初、商売つづきの非効率な店、ユルユルで「ツッコミどころ満載の町を楽しみ、休みを満喫していた。『親戚』『友達』『近所の人』『同級生』『近所の親』『〇〇の同級生』と近所の人『ようわからん人』。客と店員の関係を越えるしがらみと優しさで過ごしやすい町を作り出していた。少なくなる親戚や変貌する町の様子を伝えると「何か寂しいなあ」「任んではないから言えないなあ」といつもの言葉で会話は終わる。『夏も終りに近づいて』『しがらみのない』政治家の声が開いてくる。普通には生きていたら人間関係と悩みは広がる。しがらみもええやん。

10月20日に統一行動を配置

現業公企
統一闘争

直営堅持を基本目標に

県本部は7月19日、現業公企闘争委員会を開催し、「直営堅持」を基本目標に、「欠員の正規による完全補充」を重点課題として10月20日に全国統一行動(1時間ストライキ)を配置し、

17現業公企統一闘争を産別闘争として取り組むことを確認した。現業・公企職場ではこの間、新規採用の抑制で高齢化が進み、技術継承が困難な状況にある。一方、地震

や集中豪雨などの自然災害が多発している状況下、この間現業・公企職員の迅速かつ柔軟な対応により災害復旧・復興に大きな役割を果たしている。安全安心な公共サービスを守る上で

も重要なたたかひとなる。すでに8月4日に現評議会、9月8日に公企評議会を開催し、現業・公企労働者の持つ権利を活用し全力で取り組み、要求実現をめざすことを確認した。

10月10日には県本部総決起集会を県民会館で開催し、闘争前進に向けた意思

2017現業公企闘争スケジュール

9/22～10/6 要求書提出ゾーン
 10/11 回答指定日
 10/11～19 交渉強化ゾーン
 10/20 全国統一行動日(1時間スト)
 県本部総決起集会
 10月10日(火) 14:00～
 兵庫県民会館9階ホール
 日時 場所

統一を図る。全単組は「要求交渉」を安易に「書面協約化」の交渉サイクルの確立に向け、取り組んでいる。

さきたかし参議院議員の国会報告会が、8月25日に豊岡市内で開催された。



国会報告をするえさき議員

主義をないがしろにする、あきれるほど乱暴な独善的な政治だった。今後は安倍一強政治を終わらせるため、精いっぱいがんばりたい」と語り、会場では今後関係と悩みは広がる。しがらみもええやん。

えさきたかし 安倍一強政治に終止符を

えさきたかし
国会報告会

安倍一強政治に終止符を

当面の日程

- 5日 現業公企対県交渉（のじぎく会館）
 10日 県本部現業公企闘争勝利総決起集会（県民会館）
 10日 県本部青年女性交流集会（県本部会議室）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1505号

2017. 10. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之

現業・公企闘争

直営堅持を基本目標に

新規採用を勝ち取ろう

県本部は「直営堅持」を基本目標に17現業・公企統一闘争を産別闘争として取り組む。10月20日には全国統一行動（1時間スト）を配置し、要求実現をめざす。各単組は「要求―交渉―妥結―書面・協約化」の交渉サイクル確立に向け取り組もう。

現業・公企職場は、新規採用抑制や退職者不補充、災害時時には現業・公企職場の迅速かつ柔軟な対応に資する。また高齢化が進み、技術の継承が困難な状況となっている。一方、全・安心な公共サービスを最前線で提供している現

業・公企職場の重要性は増している。

県本部は9月7日、県市町振興課と県教育委員会に対し、現業差別賃金撤廃、人員確保、労働安全衛生体制の拡充、災害対策などの中入書を提出、10月5日には交渉に望み、10月10日に県民会館で350人規模の決起集会を開催する。（午前中は青年女性交流集会を開催）

各単組は10月11・19日を交渉強化ゾーンとし、①現業・公企職場の直営を堅持し、公共サービスの拡充、賃金の向上に向けて人員と予算を確保②総務省通知や県の技術的助言による国公行（二）の導入という現業差別賃金の復活強化に反対③地域公共サービス労働者の組織化、臨時・非常勤職員等の組織化により全体の労働条件の底上げ④公共

サービスの質を維持向上させるために住民との共同運動を進める、ことを取り組み指標とし、現業・公企が持つ権利、団体交渉権、協約締結権を活用し、要求実現をめざそう。

県人事委員会へ申し入れを実施

較差は給料表で対応を

県本部と県職労は、人事院勧告を受け、9月8日に県人事委員会申し入れを実施した。

森藤守県本部委員長は「公民較差については給料表で対応するよう要請する」とし見解を求めたが、県人事委員会の太田和成委員長は「中・公正な第三者機関としての役割を果たしたいとの回答に留まり、地方にない手当への配分については全国共通の課題」とし、また、臨時・非常勤



県人事委員会へ見解を求める交渉団

日曜日の夕暮れ、黄昏時に聴く、いつものFMラジオで、「孫子の兵法」が話題にあがっていた。

私も今更ながら子ども向けではあるが買って読んでみた。この「孫子の兵法」、争いに勝つための考え方や戦い方が書かれてある。強くしなやかに心を育てるためのヒントなのだが、読んでみてなかなかおもしろい。今の政治に当てはめると、まさに安倍政治はこれを実践しているのではないかと感じる。別に安倍政治を評価しているわけではなく、攻め倦んでいる野党に対して、安倍政治がいかにどう対応して、どう責めているのか、そして、少なれば則ち能くこれを逃れ、若かざれば則ち能くこれを避く」をもってして、どう逃げ切るのかを

青年部会 青定期総会

組織強化に力入れる

青年部は9月9日、神戸市教育会館で第21回定期総会を開催、賃金闘争や組織強化を中心に議論し、方針を決定した。

32単組50人が参加。開会にあたって安井智士青年部長は、「この1年間で採用者の賃金労働条件の実態把握や大交流会などに取り組んできた。その成果を来年度につなげたい」とあいさつ。

北村望書記長が方針を提起し、「組織強化の観点から第2回大交流会を企画したい」と強調した。総会では各地域ブロック青年女性部から報告があり、但馬丹波の奥一将代議員からは「反核リレー



書記長に就任した上田さん（左から2人目）

や各種交流会がその場限りで終わらないよう継続した取り組みを」と意見も出された。

役員体制は、安井青年部長が再任、書記長に丹波市職労の上田裕司さんが新任した。

女性部会 女定期総会

権利は使うためにある

県本部女性部は9月9日、26単組42人が参加し、神戸市教育会館で第21回定期総会を開催し、来年度の運動方針を確認した。総会後には分散会交流の時間を設け職場実態を討議した。

総会では、宮本誠之県本部副委員長、I女性会議の門水三枝子副代表から激励のあいさつを受けた。分散交流会では、職場の問題点を話し合った。多くの班から夏休が残っている状況が報告された。集約で女性部長は「権利は使うためにあるもの。行動に移せば必ず状況が変わる。いつかではな



行動に移す事の大切さ学んだ

4年連続の引き上げ

神戸市人事委員会

神戸市人事委員会は9月12日、神戸市長と神戸市議会議長に対し、神戸市職員の月例給が民間と比較して237円（0.06%）、特別給（ボーナス）が0.12%下回っているため、給料表の改定と特別給0.1%引き上げの報告と勧告を行った。今回の勧告で、神戸市人事委員会勧告は4年連続

の引き上げとなった。その他、医師及び歯科医師に対する初任給調整手当の改定の必要性や、住居手当については引き続きしない民間事業所の支給状況、他自治体の動向に留意することとしている。

今回の勧告を受け、自治労加盟の神戸3単組（市職労市従・交通）は神戸市労連に結集し、給料表の改定などたたかいを展開することとしている。

小野市裁判大阪高裁へ

小野市のいじめ相談員が、上司にパワハラを受けた上、任期満了を理由に雇止めされた件について、9月14日大阪高裁において第1回裁判期日が開かれた。神戸地裁での「任用義務づけ請求却下、パワハラ請求棄却」という不当判決に対し、控訴した。

いまいち座



松本 真紀子

臨職評

法改正を恐れずに 実態に応じた取り組み強化



退任あいさつをする前田さん(右)

臨職評第23回定期総会を9月23日、76人の参加のもと、ひょうご共済会館で開催した。

主催者を代表し前田克子臨職評議長は「法改正になっても、臨職の現状を訴え、働きに自信を持って交渉をしていこう。単組全員を巻き込んだ運動をしていこう」とあいさつした。議

事では朝来臨職評から活動方針(案)に賛同し、尼崎嘱託労から職場報告の発言があつたほか、役員交代、総会宣言が採択された。また、前田議長は退任し伊丹市職労の酒井美幸さんが就任した。

総会後は学習会を開催し、臨時・非常勤等職員が関わる法改正の課題を森哲二県本部組織部長から「ここにいるほとんどの人が法改正で会計年度任用職員に移行する。今まで法と実態の乖離を訴え、交渉してきた。法改正を恐れず、厳しいが改めて実態に応じた取り組みを続けること」と締めくくった。

強化と労働契約法改正による無期転換への取り組み等

公共民間協 第二環境、加西社協が新たに協議会へ結集

公共民間協は、9月9日に神戸フルーツフラワーパークで第17回総会を開催した。

大野議長は「一年の活動を振り返り、英気を養って頑張っていこう」とあいさつした後、来賓各位より連帯のあいさつを受けた。

経過報告では、新たに結成した第一環境労組、加西社協労組の協議会結集を確認し、決意表明を受けた。

議事では、秋岡、春岡の強化と労働契約法改正による無期転換への取り組み等



新役員体制を確認(左から谷副議長、大野議長、津村事務局長)

の方針を承認し、新年度役員に大野敏隆議長(尼環労組)、谷副議長(清水愛老園労組)、津村崇夫事務局長(みのり労組)を選出した。総会後は家族参加で梨狩りを楽しんだ。

幹事会体制の強化を

障害労働者評議会は、9月23日、尼崎市内で第34回自治体に働く障害労働者のつどいを開催した。

主催者を代表して河合良宣議長は、「県本部障害評は幹事会体制の強化が課題であり、各地域ブロックや単組の協力を得ながら組合員とも交流をはかり、基盤をしっかりと作っていきたい」とあいさつした後、17年度活動報告、18年度の活動方針、役員体制を確認した。

ついで終了後は自治労障害労働者全国連絡会の相星



河谷議長のあいさつ

勝利代表幹事から記念講演を受け、総務省や厚労省との交渉、相星さんの出身単組である枚方市で「障害のある職員健康管理休暇」が創設されたことなど先進する取り組みを学んだ。



交渉ゾーン設定を確認

町職連協の第46回定期総会を13単組32人が参加し、太子町で開催した。はじめに兵庫県町職連の歌を参加者全員で歌った後、高見浩樹議長より「4年連続の

引き上げ勧告となったが、官民報差解消については、不満の残るものとなった。また、町職単組の組織力交渉力の低下が懸念される。複数年の役員体制をお願いしているが、厳しい単組もある。当局と対等に交渉ができる組織力を各単組でつけてもらいたい」とあいさつし、次に森蔭守県本部委員長より激励を受けた。

総会後は17年度の各種経過報告が行われ、特別報告として宮城県・山元町災害復

町職連協

対等に交渉できる組織力を

新議長に北川さんを選出

職単組での具体的な取り組みの説明などが行われた。

公企評

危機管理体制の強化へ

県本部公営企業評議会は、9月8日(9日)にかけて、ゆめ春まで、12単組から29人が参加し、第19回総会及び公企集会を開催した。

総会の冒頭で甘中章二議長は「ここ数年自然災害についての課題があり、こ

の間も危機管理体制に向けた取り組みを進めてきた。今回の現業公企統一闘争の中でも災害時の派遣や受け入れ側の自治体の対応について改めて交渉をお願いしたい」とあいさつした。

総会終了後は、元自治労

本部公企評事務局長の大西慶博さんより「公企評運動の歴史と今後」と題した記念講演を受けた。

2日目は公企集会を開催し、人員確保の取り組み、団体交渉のあり方、労働安全衛生活動の活用方法につ



自然災害の課題を共有

神河町長選挙 山名宗悟さんを推薦決定 11月19日投開票



11月14日告示、19日投票の日程で行われる神河町長選挙に、県本部は神河町

職の推薦依頼を受け、9月30日の定期大会で、県本部組織内予定候補者の現職で3期目をめざす山名宗悟さんを推薦決定した。

県本部は当該単組とともに取り組みを進めており、神河町在住組合員はもちろんのこと友人・知人への働きかけを要請する。

余裕資金は、退職後のために

長期共済

税制適格年金

の随時払へ!

かしこく積み立てよう!

ご存知ですか?

便利な掛金随時払払込方法

(月払とは異なる方法が利用できます)

随時払は、月払などと異なり、不定期的に払い込むことができます。余裕資金ができたときに使える積立金を積み増しできる払込方法です。

例えば 100万円を随時払すると20年で124万円に!

(10万円から1万円単位で利用できます。)

100万円 UPI 104万円 UPI 110万円 UPI 117万円 UPI 124万円

払い込み 5年 10年 15年 20年

効率的にプラス!

①給与コース、②年金コースから選べます。③任意で掛金増額も可能。④掛金減額も可能。⑤掛金増減は随時可能です。

※2016年10月現在の予定利率に基づき試算したものです。なお、予定利率は変動する可能性があります。将来の支払額を約束するものではありません。随時払は積立期間が長期であるため、積立金・解約金等が変動する可能性があります。

ご契約にあたっては必ずお読みください。詳しくは本会の随時払のご案内をご覧ください。

自治労共済本部

※本会が所属する労働組合の会報等に本会の活動が掲載されています。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 16日 町職連協単代会議（ひょうご共済会館）
20日 現業公企全国統一行動日
28日 働く女性の交流集会（ひょうご共済会館）
30日 連合兵庫定期大会（メリケンパークオリエンタルホテル）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1506号

2017. 10. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

新役員体制を確認

小原、山下新副委員長を選出



第68回定期大会で選出された今後2年間の役員体制

執行委員長
大野 義政
(兵庫県職労) 難病専従



副執行委員長
小原 王之
(神戸市従)



副執行委員長
服部 圭司
(南あわじ市職労) 難病専従



副執行委員長
山下 忠之
(高砂市従)



副執行委員長
隅田 龍
(豊岡病院労組)



書記長
尾西 亮太郎
(三田市職労) 難病専従



書記次長
西岡 裕
(直隸支部)

執行委員	小林 一部 (県職ブロック・兵庫県職労)	難病専従
同	森 哲二 (県職ブロック・兵庫県職労)	難病専従
同	中本 光一 (神戸ブロック・神戸市職労)	
同	吉岡 正輝 (神戸ブロック・神戸市職労)	
同	酒井 正美 (阪神淡路ブロック・宝塚市職労)	
同	夜 剛 (阪神淡路ブロック・淡路市職労)	
同	大岡 久典 (播磨ブロック・明石市職労)	
同	足立 育生 (播磨ブロック・神戸市職労)	
同	守田 誠 (但馬丹波ブロック・八鹿病院職組)	
同	飯田 翼 (但馬丹波ブロック・篠山市職労)	
同	笹倉 翼 (町職員連絡協議会選出・多可町職)	
同	北池 宏光 (現業評議会選出・神戸市従)	
同	三宅 一茂 (公営企業評議会選出・宝塚市職労)	
同	澤本 明 (衛生医療評議会選出・兵庫県職労)	
同	長谷 陽介 (政府関係労組評議会選出・社保労組兵庫支部)	
同	井原 山本三千子 (臨時・非常勤職員等評議会選出・加東職労)	
同	安井 智士 (青年部選出・香美町職)	
同	藤原 調子 (女性部選出・明石市職労)	
同	松本志州代 (公営競技評議会選出・阪神競走労組)	
同	津村 雅之 (公営・一般市民労働組合連合会の公営労組)	
同	西川 雅之 (全国一般選出・全国一般兵庫労組)	
同	加地 幸夫 (都市公共交通評議会選出・神戸交通労組)	
同	秦 信昭 (県本部書記局選出・直隸支部)	
同	誠 (阪神淡路ブロック・西宮市水)	
会計監査委員	出口 誠 (播磨ブロック・古吉市職労)	
同	松尾 雅史 (播磨ブロック・古吉市職労)	
同	富田 真也 (但馬丹波ブロック・篠山市職労)	

だ。⑤
分が一番だと思ってる国の
のトップに知らせたい世界



圧倒的賛成多数で方針を採択した

大会は、議長に才木寿治（塩谷均代議員・兵庫県職労）を議長（八鹿病院職組）を選出し議事をすすめた。

森蔭守委員長が執行部を代表してあいさつし、自治労田中二書記次長、近畿地連山口勝巳副議長、連合兵庫辻芳治会長をはじめ、行政機関、各級議員、組織内首長、友誼団体など多くの来賓からあいさつを受け、次期参議院比例区予定候補の岸真紀子さんからも決意が表明がされた。

今年大会では、「2018年度運動方針案」をはじめ、賃金確定闘争や現業・公企闘争など当面の闘争方針を採択した。

「地域間格差解消に向けた賃金闘争の推進」「平和と権環境を守る取り組みと政治闘争の強化」を柱にした

組合を意欲している。引き組んでいく。勝ち取った権利が奪われないよう不利利益変更阻止のたたかい提起の発言もあった。

でも他協組織化をめざす。組合を意欲している。引き組んでいく。勝ち取った権利が奪われないよう不利利益変更阻止のたたかい提起の発言もあった。

県本部は第68回定期大会を9月30日、舞子ビラで開催した。大会では、22年組から活発な発言があり、議案はすべて賛成多数で採択された。役員改選では、大野義政委員長をはじめとする新役員体制が決まった。また、衆議院選挙では3区「よこはた和幸」さんをはじめ、推薦候補の勝利と第25回参議院選挙の比例代表における「岸真紀子さん」への推薦を決定した。

森蔭守委員長が執行部を代表してあいさつし、自治労田中二書記次長、近畿地連山口勝巳副議長、連合兵庫辻芳治会長をはじめ、行政機関、各級議員、組織内首長、友誼団体など多くの来賓からあいさつを受け、次期参議院比例区予定候補の岸真紀子さんからも決意が表明がされた。



応援メッセージを岸さん中央へ渡す

議事の部では、賃金闘争の進め方、市民病院指定管理対策、安全衛生対策、組織強化、政治闘争の強化、不当処分撤回闘争、公平委員会に対する裁判闘争などで発言があった。一方で、臨時・非常勤職員の組合からは改正地公法をめぐる課題として、処遇改善の取り組みだけでなく、勝ち取った権利が奪われないよう不利利益変更阻止のたたかい提起の発言もあった。

組合結成し活動開始
協労組 加古社 石原代議員

住民ビラで委託阻止を
市職労 加古川 岸本代議員

加古川で
は学校給食の民間委託が進行し毎年1校以上が委託されている。給食を熟知した私たち自身が問題点を住民や保護者にビラで訴えており、引き続き委託阻止にむけ取り組んでいきたい。▼多くの自治体で民間委託が進行しており、現業公企闘争でも、たたかいを強化する。

第68回県本部定期大会

県本部4万人体制の再構築へ

大野新執行部体制を確立

たかう方針を確立した。

報告の部では、加西社協労組から組合結成から要求書提出までの取り組み、加古川市職労から学校給食民間委託反対の取り組み報告があった。

議事の部では、賃金闘争の進め方、市民病院指定管理対策、安全衛生対策、組織強化、政治闘争の強化、不当処分撤回闘争、公平委員会に対する裁判闘争などで発言があった。一方で、臨時・非常勤職員の組合からは改正地公法をめぐる課題として、処遇改善の取り組みだけでなく、勝ち取った権利が奪われないよう不利利益変更阻止のたたかい提起の発言もあった。

組合結成し活動開始
協労組 加古社 石原代議員

住民ビラで委託阻止を
市職労 加古川 岸本代議員

今回の大会で選任された役員

執行委員長	森蔭 守 (六栗市職労)
副執行委員長	宮本 誠之 (明石市職労)
執行委員長	左川 忍 (神戸市従)
執行委員	青木 慎吾 (神戸市従)
執行委員	北川 寿一 (稲美町職)
執行委員	吉田 秀夫 (明石市職労)
執行委員	早瀬 淳一 (社保労連兵庫支部)
執行委員	鎌浦 利忠 (尼崎競艇労組)
執行委員	古林 篤 (兵庫県職労)
会計監査委員	川端 啓介 (豊岡市職労)

いまいち座

心が折れそう



大 植 賢 (豊岡市職労)

方針に対し20人が発言

総務省対策を要請

県職労 青木代議員



人事委
確定闘争
は、独自力
で、回復

地域手引上げ 現給保障継続が課題 国は条例改正、公
民較差解消や現給保障で地
方に圧力をかけている。総務
省対策を要請する。地公法改
正の学習会開催を。▼(答弁
本部)意見反映していく。

情報入手に全力を

神戸市従 井上代議員



市民病院
機構の確定
交渉は、国
立病院機構

に影響される。交渉状況
情報入手に対策を。市長選
は同じ方向性で政策実現す

新たな体制での 更なる団結強化を

森蔭守委員長あいさつ要旨



大会にあたり県本部の当
面する3つの課題について
確認しておきたい。1つは
若手次代の担い手を作り
県本部4万人体制の再構築

である。行革や合併により
自治体職員は減少してい
る。しっかりと新規採用者
の組合員化を進めてはし
い。2つめは今年5月に地
方公務員法と地方自治法が
改正された。法の施行は2
年後だが、この1年が大切
であり、臨時職員の処遇改
善をめざす。3つめは賃金
確定・現業公企闘争の推進
だ。衆議院解散により政治

状況は混とんとしている
が、しっかりと統一闘争を
取り組み、給与改善に向け
た取り組みを要請する。
衆議院選挙闘争について
は、私たち働く者の声を代
弁してくれる候補者の必勝
をめざす。
最後に今回は役員改選の
年である。新たな体制で更
なる団結強化をお願いし、
冒頭のあいさつとする。

処遇改善への支援を

加西 古角代議員



現在の労働
条件は、
時給880
円、冬一時
金0.5月、経費加算無し、
休暇は夏休、無給の介護看
護のみ、法改正で処遇改善が
期待できる。2年半を準備期
間として市職と当局交渉に
取り組み、改善に向け学習
会に取り組む。

自民党政治に歯止めを

高砂市職 尾山代議員



13年スト
の不当処分
撤回の取り
組み支援に
感謝する。元委員長は定年
退職で公平委員会は打ち切
りの可能性も。更なる支援
を。国政選挙は憲法9条改
正など自治方針と大きく
転換した方向に行きかねな
い。県本部政策と連携でき
る。県本部は引き続き支
援する。

人員確保が困難

六甲 田路代議員



行財政改
革で人員削
減の中、県
へ4人、東
北、事務組合にも派遣して
おり来年は広域連合も。人
員確保要求で毎年要求して

任期付保育士の雇用する

市職労 足立代議員



当局はあ
と数年で廃
園となる保
育所に任期
付保育士を19人採用した。
来年4月に開園する認定こ
ども園の引き継ぎも命じら
れている。19人を組織化し
雇用不安解消などに取り組
んでいる。▼一緒に取り組
みを進める。

労使対等実現に尽力

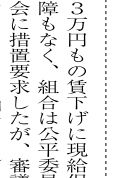
清水愛老 谷代議員



協約無視
やバワハラ
の問題に取
り組んでき
た。労安委員会が機能して
いない、当局の認識不足な
ど課題が明確に。組合員が幅
広く参加できる取り組みを
行い、労使対等の理念を定着
させていきたい。▼職場改
善に向け県本部も協力する。

支払機関の意義重要

国保労組 麻生代議員



3万円もの賃上げに現給保
障もなく、組合は公平委員
会に措置要求したが、審議
することなく却下された。
裁判に訴え11月29日に判決
がある。今後も実損回復に
取り組む。▼公平委員会の
位置付を明確にし、そこか
らの交渉。支援する。

町議選に2人を擁立

新温泉 中田代議員



10月29日
の町議選に
現職の中村
さん、阪本
さんを組織内として擁立し
取り組む。16議席を19人
で争うことが予想されている。
働く者の思いを議会に届け
るため、1人でも多くの議
員が必要。▼ブロックと協
力し、県本部も支援する。

地公法改正に危機感

宝塚 濱田代議員



長年かけ
正規との均
等待遇を勝
ち取ってきたが、地公法改正への危機
感がある。法改正はフルタ
イムとパートで組合員を分
断する内容で不安要素。臨
職評やブロックでも学習し
より団結を強めて取り組む。
▼処遇の課題など交渉で
しっかりと結めることが必要。
あいさつです。

合理化強行を阻止

三田 白髪代議員



6月に
3%の賃金
カットが提
案された。
組合で財政分析を行い、2%
なら受け入れると逆提案
結果的に2.5%を2年半で
妥結した。この数年の一方
的な合理化実施を阻止でき
たことは評価できる。▼厳
しい状況の中、議論し判断
したことに敬意したい。

実態改善重ねてきた

明倫 前田代議員



組合で、
昇給や退職
金、各種手
当を勝ち取
ってきた。臨時職員が4割
今は6割を占める中、切
実な実態を訴え改善させて
きた。地公法改正で「パー
トは一時金のみ」など到底
認められない。臨職評とし
て、小野バワハラ裁判を支
援する。▼裁判は高裁に行っ
ている。県本部も支援する。

訂正とお詫び

自治ひろび

1505号
において掲載した障勞評写
真説明に誤りがありまし
た。正しくは「河合議長
のあいさつ」です。

自治ひろこ

1507号

2017. 11. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

確定闘争勝利！県本部決起集会

11月8日(水) 14時30分より
県庁前「県民オアシス」で開催
午前中は青年女性決起集会を開催
11月8日10:30～12:00
場所 生田文化会館



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

現業公企対県交渉

労使交渉・合意が大前提と確認

県本部現業公企闘争委員会、現評、公企評は9月7日に、県市町振興課と県教育委員会に対し、要求書を提出。10月5日、のじぎく会館で、市町振興課教育委員会と交渉を行い、「現業賃金のあり方」、「人員確保」、「民間委託反対」、「労働安全衛生体制の拡充」、「自然災害対策」について、県の考え方を追及し、その中で勤務労働条件に関わる案件はすべて労使協議事項



職場の実態を訴える交渉団

であり、労使交渉・合意が大前提であることを確認した。今回の交渉で市町振興課は「集中改革プラン」により各自治体の人員削減が進みすぎた」との見解を示したものの、現業職員の積極的採用への助言は明言を避けた。また、自治体の国公行(Ⅱ)給料表導入については「機械的に行(Ⅱ)を導入しろという助言はしていない。国との均衡や民間



闘争勝利に向け全力をあげることを確認

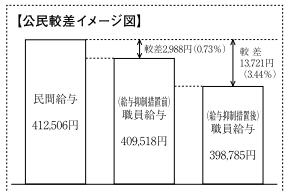
40単組約200人が参加した。現評を代表して神戸一議長は、「労使対等」に触れ「日々競争にさらされ不安を抱える仲間を支えられのは、組合が労働条件に関与すること」と強調、交渉サイクルを確立するための組織強化の必要性を訴えた。続いて壇上に立った、公企評の西本斎弘議長は、「人員減で技術継承ができ

ず、公共サービスの危機にある」と述べ、統一闘争への結果を呼びかけた。10月5日の県交渉報告では、現評の北池宏光事務局長が「自然災害時に住民の生命を守る公的責任の追及②食教育の必要性などを強調したと述べた。公企評の三宅一茂事務局長は、苦情処理共同調整会議の未設置、安全衛生委員会の未開催など、当局の認識不足に触れ、統一闘争での追及を呼びかけた。

県人事委員会と県議会議員に4年連続となる給料表平均0.2%、一時金0.1月引き上げる「報告勧告」を行った。

独自カットの解消も要請

給料表、一時金とも引き上げ



いまいち座

— 労働者代表 —

漁夫の利



大西 英剛

現業公企闘争決起集会

人員減で 公共サービスは危機的状況

新規採用にこだわる

従)が「新規採用にこだわる」が「新規採用にこだわって来た。また、女性活躍推進として、女性の監督職登用にも取り組んでいる」、中尾美樹さん(養父市職労)が「現業職場は高齢化で組織の危機。昨年に続き新規採用確保に頑張る」と決意を述べた。

決起集会の前段、青年部、女性部は13単組28人の参加で現業公企交流会を開催した。産別闘争である現業公企闘争の意義を学ぼうと毎年開催しているもので、今年は公企評の藤田直樹副議長から講演を受けた。神戸市職労で支部役員を務める藤田さんは、支部ニュースや名簿管理などを担い、「情報をみんなに届けることを大切にしていて」と自身の思いを語った。新人歓迎会を通して後輩役員の育成を意識していると



講演を聞く参加者

職場の活動から 闘争を前進させよう

も話した。「失敗も経験」と述べ、職場の運動から組合への結果を実現し、現業公企闘争を前進させようとした。

しこり

今回の衆議院選挙で自民党の比例代表の得票率は33%。ところが、小選挙区では、289議席のうち215議席を獲得した(獲得率74%)。小選挙区制のマジックである▼小選挙区制は二大政党を生みやすいとの法則がある。1議席を争うため、第3党以下は淘汰されてしまい、第1党が第2党の候補者ばかり当選する。有権者も当選可能性の低い候補者には投票しなくなるため、結果的に2大政党に収斂していくという(デュヴェルジェの法則)▼ところが、今選挙のように野党結果が難しく、「一強多弱」であれば、最大政党に過剰な議席を与える歪んだ一党優位性をもたらすことになる▼1996年の小選挙区制導入以来、常に7〜10の政党から立候補があり、デュヴェルジェの法則が成り立たない日本では、正確な民意が反映されない選挙制度について見直しの議論が必要だ。(誠)

県本部まんがコンクール
結果発表

大笑

県本部は「アナログ」と「ぬくもり」をテーマにまんがコンクールを開催。今回8作品の応募の中から、厳正な審査の結果、社保労連・松本真紀子さんの「事実です」が、見事大笑に輝いた。



おもしろ笑2作品



県本部囲碁・将棋大会の出場者募集

日時 12月2日(土)
9時受付 9時30分開会
場所 ひょうご共済会館
参加費 1000円
締切 11月9日 17時までに
組合を通じて参加申し込みしてください

金庫確定闘争の補強案や会計年度任用職員制度への対応などについて協議した。今年的人事院勧告は、4年連続で月例給と一時金を引き上げる内容だったが昨年同様、較差の一部が地方にない本府省業務調整手当の引き上げに配分されており、較差解消をめざす。具体的には①給料表での調整②一時金の調整③手当での調整④昇給改善などで較差解消を行う。

また、会計年度任用職員制度については、20年4月の施行に向け、この1年半で労使協議を終了しなければならず、各単組は現在の各市町での臨時・非常勤職員の勤務実態を把握し、今年確定闘争で要求書を提出し交渉することを確認した。



確定闘争の意思統一を行った

県本部議
単代会議

較差解消めざす

県本部は、10月3日に単代会議を開催し、賃

確定は第2波に集中
町職連協単代で確認

町職連協は、10月16日、中央労働センターにおいて単組代表者会議を開催し、町職低賃金の改善と労働条件改善に向けた当面する闘争方針について協議した。

方針は、現業公企統一闘争について10月20日にストライキを配置する。スト回避の場合でも職場集会等を実施し、差別闘争に結集することを確認。確定闘争については、町職連協で統一要求書を作成し、全単組で提出する。また、統一行動日については第2波の11月22日に集中した交渉体制を確立する。

更に町村会準則交渉再開に向けた各首長申し入れ行動も取り組むこととした。

町職連協は、10月16日、中央労働センターにおいて単組代表者会議を開催し、町職低賃金の改善と労働条件改善に向けた当面する闘争方針について協議した。

方針は、現業公企統一闘争について10月20日にストライキを配置する。スト回避の場合でも職場集会等を実施し、差別闘争に結集することを確認。確定闘争については、町職連協で統一要求書を作成し、全単組で提出する。また、統一行動日については第2波の11月22日に集中した交渉体制を確立する。

更に町村会準則交渉再開に向けた各首長申し入れ行動も取り組むこととした。

町職連協は、10月16日、中央労働センターにおいて単組代表者会議を開催し、町職低賃金の改善と労働条件改善に向けた当面する闘争方針について協議した。

方針は、現業公企統一闘争について10月20日にストライキを配置する。スト回避の場合でも職場集会等を実施し、差別闘争に結集することを確認。確定闘争については、町職連協で統一要求書を作成し、全単組で提出する。また、統一行動日については第2波の11月22日に集中した交渉体制を確立する。

衆議院選挙

小選挙区での議席確保できず
桜井さんは比例で復活
神戸市長、西脇・豊岡・南あわじ市議選は当選

第48回衆議院選挙の開票が10月22日に行われ、県本部は、3区に組織内候補よこはた和幸さん、2区ふなかわ治朗さん、4区佐藤や

よこはたさん最後の訴えも届かず

すきさん、5区梶原やすひろさん、6区桜井シュウさんの必勝をめざし、たたいかいを展開した。結果は、残念ながら小選挙区では推薦候補は全員が惜敗したものの、6区の桜井シュウさんが、立憲民主党の比例で復活当選を果たした。

今回の総選挙闘争は、安倍一強政治を終わらせることを最大の目標に、憲法改悪阻止のため、絶対に負け

ることのできないたたかいであった。しかし、公示直前に民進党が希望の党への合流を選択。希望の党の公認基準により、連合推薦候補が「立憲民主党」「希望の党」「無所属」に分かれて立候補を余儀なくされ、混乱を招いた。更に台風の影響により、投票率は過去最低となった。

の34万票を獲得し再選、地方議会選挙では、西脇市議選で組織内の村井正信さんが1700票余りを獲得し3位で、豊岡市議選の足田仁司さんは22位、南あわじ

市議選の土井たくみさんは2位で当選したが、神戸市議選東灘区補欠選挙の中尾たかさんは残念ながら議席を確保する事はできなかった。

県本部スキルアップセミナーのご案内

日時 12月8日(金) 10時~17時
終了後参加者夕食懇親会を予定
場所 ひょうご共済会館
参加費 昼食代 1000円、懇親会費 1000円
対象 単組執行部を担って3年目以内の役員・執行委員

確定闘争に勝利しよう

統一行動日は11/15と11/22

県本部は、確定闘争推進に向け、11月8日に総決起集会を開催し意思統一を行う。また、戦術は上限2時間ストライキとし、15日に第1波、22日に第2波統一行動日を配置して取り組む。今期確定では、人動に基づき給与と一時金の引き上げはもちろん、退職手当の引き下げを行わないことが

重点となる。

更に現給保障を廃止させないことや、会計年度任用職員の勤務条件に関しては、基本的な事項について県本部統一要求書として提出し交渉・協議を進める。各単組は、要求交渉・妥結(書面化・協約化)の交渉サイクルを確立し取り組みを強化しよう。

ZENROSAI NEWS 5117A132

公務員の交通事故に
大きな力を発揮する

じちろうマイカー共済
自動車総合補償共済

交通事故による、まさかの失職に備えを!

公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であっても過失の罪を問われて職を失うのです。この場合、懲戒免職と同様に、退職金は支払われない場合がほとんどです。

このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります!

全労済 自治労共済本部

全労済は、営利を目的としない「保護の生協」として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金を支払ったいない組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ご不明な点があれば、
まずは所属の組合にご連絡ください。

まさか自分が、
事故を
起こすなんて...



全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 23日 県本部自治研究集会（ひょうご共済会館）
 22日 確定闘争第2 流域一行動日
 25日 県本部消防セミナー（ひょうご共済会館）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1508号

2017. 11. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

より一層ブロックに結集を

阪神淡路B
 定期総会

阪神淡路ブロックは10月27日、第47回定期総会を洲本市民交流センターで開催した。

酒井正義議長あいさつ
 の後、尾西亮太郎県本部書記長、綿瀬和人尼崎市議、西村政明伊丹市議から来賓あいさつを受けた。西村市議から、衆議院選挙で当選した桜井シュウさんへの各単組からの支援に対してお礼が述べられた。



役員全員の留任を確認

活動報告・決算の承認後に提案された活動方針案に対しては、宝塚市職労から青年部活動の活性化、市立病院の組織化、若尾指導員労組と宝塚レインボーからは会計年度任用職員制度の施行に向けた取り組み、伊丹市職労からは保育所の民営化問題や保育士・非正規の処遇改善、川西病院労組からは指定管理問題に対する支援要請、川西市職労から

見が出された。
 特に、会計年度任用職員制度については、臨時非常勤労組をはじめ、多くの単組に課題があり、これからのブロック・県本部の取り組みに関心が集まった。ブロックとして引き続き議論を重ね、県本部全体での取り組みを強化することを確認した。

最後に役員全員の留任と、より一層ブロックに結集したたかいたの構築と、19年に行われる参議院議員選挙での自治労組織内「岸まさこ」候補の必勝に向けて取り組みを総会決議し、閉会した。

森蔭議長は「8月の本部大会で、2年後の参議院選挙に相原久美子さんの後継者として比例区に岸まさこさんを擁立することを確認した。混ざると政治情勢ではあるが、自治労の代表として岸さんの必勝をめざすとともに、次代の担い手育成、臨職の処遇改善など取り組み強化を進めよう」とあいさつを行った。

調整手段を新設、較差の一部をこれに充てながら、地方には同様の手段を認めなかった。つまり、多くの自治体が官民較差を解消できないような制度を意図的につくったということだ。憲法で保障された公務員労働者の労働基本権を制約し、代償措置として人勧制度を押しつけたのは当局である。当局には、官民較差解消が自らの責務であることの自覚を強く求める。

2017現業・公企統一闘争

宝塚・豊岡・養父 正規で職員確保



但丹ブロックでは独自決起集会を開催

10月20日の現業・公企統一行動日には12単組（県職労・神戸市職・尼崎市職・西宮市職・宝塚市職・三田市職・高砂市職・加古川市職・三木市職・豊岡病院労組）が1時間ストを配置し、交渉を実施した。

県職労は、16日の交渉で直営堅持・事前協議制・現業差別賃金の撤廃について、現業職に関する労使間の基本ルールに変更がないことを再確認し、確定交渉で継続協議することを確認。

神戸市職は、10項目の要求について、納得できる回答ではないが、事業予算要求に向けて足がかりを築いた。

伊丹市職は臨時非常勤職員に処遇改善、現業職場のあり方・契約条件各職場要求などについて一定の確認。伊丹市職は臨時非常勤職員に処遇改善、現業職場のあり方・契約条件各職場要求などについて一定の確認。

伊丹市職は臨時非常勤職員に処遇改善、現業職場のあり方・契約条件各職場要求などについて一定の確認。

伊丹市職は臨時非常勤職員に処遇改善、現業職場のあり方・契約条件各職場要求などについて一定の確認。

丹波は苦情処理共同会議設置

宝塚は定数配置における4月1日時点の欠員と公企職場での退職者補充は正規職員を確保した。また、淡路はクリーンセンターの一部業務委託で妥結。給料表の一本化を要求し、最低でも島内2市との給与格差を埋める努力を当局に求めている。

播磨ブロックでは、明石が新年度の人員配置と職場環境の改善を確認。高砂は、欠員補充について確定まで

但馬丹波ブロックでは、10月7日に独自の決起集会を開催。統一行動日には多くの単組が時間外職場集会やニュースを発行した。成果としては、丹波が苦情処理共同調整会議の設置に向

2017賃金確定闘争もいよいよヤマ場を迎える。大きな課題は民間との較差解消だ。国は2006年度の「給与構造改革」、2015年の「給与制度の総合的見直し」で本俸を引き下げ、官民較差の解消を地域手当で行うこととした。しかし、地方に対しては国基準を上回る地域手当の支給を認めず、特別交付税カットというペナルティを課し、本俸はライバルズ指数で国を上回ると締め付けた。さらに、「本府省業務調整手段」を新設、較差の一部をこれに充てながら、地方には同様の手段を認めなかった。つまり、多くの自治体が官民較差を解消できないような制度を意図的につくったということだ。憲法で保障された公務員労働者の労働基本権を制約し、代償措置として人勧制度を押しつけたのは当局である。当局には、官民較差解消が自らの責務であることの自覚を強く求める。

連合兵庫 定期大会

男女共同参画をめざす

しこり

「給与構造改革」、2015年の「給与制度の総合的見直し」で本俸を引き下げ、官民較差の解消を地域手当で行うこととした。しかし、地方に対しては国基準を上回る地域手当の支給を認めず、特別交付税カットというペナルティを課し、本俸はライバルズ指数で国を上回ると締め付けた。さらに、「本府省業務調整手段」を新設、較差の一部をこれに充てながら、地方には同様の手段を認めなかった。つまり、多くの自治体が官民較差を解消できないような制度を意図的につくったということだ。憲法で保障された公務員労働者の労働基本権を制約し、代償措置として人勧制度を押しつけたのは当局である。当局には、官民較差解消が自らの責務であることの自覚を強く求める。



森蔭議長が勇退

近畿連
 定期総会

大会で、2年後の参議院選挙に相原久美子さんの後継者として比例区に岸まさこさんを擁立することを確認した。混ざると政治情勢ではあるが、自治労の代表として岸さんの必勝をめざすとともに、次代の担い手育成、臨職の処遇改善など取り組み強化を進めよう」とあいさつを行った。

いまいち座

排除します。



おやすみ漫

当面の日程

- 2日 県本部囲碁・将棋大会（ひょうご共済会館）
 8日 県本部スキルアップセミナー（ひょうご共済会館）
 16日 女性部・臨職評合同学習会（ひょうご共済会館）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1509号

2017. 12. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭



官民較差の解消をめざし県庁前を埋め尽くす参加者

開会にあたって大野義政委員長は、「一人働は4年連続引き上げだが、官民較差の一部を本府省業務調整手当に配分している。地公の官民較差を解消させよう」と課題を述べた。

「『つまり交渉を行い、決着をはかる』と強調し

県本部は11月8日、17確定闘争勝利！総決起集会を県庁前で開き49単組663人が参加。5人が決意表明を行い、確定闘争やマ場に向けて意思統一を行った。官民較差の解消と、国会情勢が不透明な中、労使交渉による決着が今確定の課題となる。

が、前日の県市町振興課交渉内容を受けて情勢報告国会が不透明な中、振興課は「給与法案が成立後の差額支給」というが、労使交渉の原則は否定できない。『つまり交渉を行い、決着をはかる』と強調し

た。また、臨時・非常勤等職員に関する法改正にも言及、「各単組で統一要求書を提出し、①労使合意②処遇改善という基本姿勢の確立」と力を込めた。

決意表明で国保労組の麻生勇樹さんは、「国保財政見直しで労働条件の変更も予想される。市町の仲間と一緒に取り組みを進める」、神戸市従の山本由美子さんは、「今確定闘争では扶養手当の見直しが提案されている。神戸市労連は本日が交渉やマ場、粘り強くだたかう」、川西病院労組の村上裕紀さんは「川西北部の地域医療を守る取り組みを住民と一緒に進める。経営形態変更に伴う労働条件について当局を追及する」、高砂市職の石野功さんは「スト処分撤回と地域手当支給率改善のたたかいを粘り強く行う」、篠山市職の酒井幸幸さんは「合併後、人員削減、賃金カットが行われてきた。カットは今年3月でようやく復元した。次は人員確保に取り組み」とそれぞれが課題と意気込

みをつとめた。また、臨時・非常勤等職員に関する法改正にも言及、「各単組で統一要求書を提出し、①労使合意②処遇改善という基本姿勢の確立」と力を込めた。

決意表明で国保労組の麻生勇樹さんは、「国保財政見直しで労働条件の変更も予想される。市町の仲間と一緒に取り組みを進める」、神戸市従の山本由美子さんは、「今確定闘争では扶養手当の見直しが提案されている。神戸市労連は本日が交渉やマ場、粘り強くだたかう」、川西病院労組の村上裕紀さんは「川西北部の地域医療を守る取り組みを住民と一緒に進める。経営形態変更に伴う労働条件について当局を追及する」、高砂市職の石野功さんは「スト処分撤回と地域手当支給率改善のたたかいを粘り強く行う」、篠山市職の酒井幸幸さんは「合併後、人員削減、賃金カットが行われてきた。カットは今年3月でようやく復元した。次は人員確保に取り組み」とそれぞれが課題と意気込

決意表明は6人が行い、神戸交通労組の花田健次さんは、「財政難を理由に賃金カットが行われている。青年部で実態アンケートを取り組む予定。その結果を訴えていきたい」と述べた。臨職評の山本三千子さんは、「5月の法改正は私は

青年部女性部は、県本部決起集会の午前、生田文化会館で決起集会を実施した。33単組109人が参加。あいさつに立った藤原潤子女性部長は、「一人働の給与改定は400円程度。しかし組合が要求交渉を行わなければ賃上げはできない」と組合の必要性を強調した。集会基調では、確定闘争期に県内8カ所で学習会を行い、統一闘争に結集することを確認した。

11月1日に行った青年部市町振興課交渉を上田裕司青年部書記長が報告。中途採用者の処遇改善を中心に訴えた結果、県からは「社

会人採用の前歴換算は10割が妥当との見解を引き出した。各単組で実態を点検し改善に取り組み」と呼びかけた。

決意表明は6人が行い、神戸交通労組の花田健次さんは、「財政難を理由に賃金カットが行われている。青年部で実態アンケートを取り組む予定。その結果を訴えていきたい」と述べた。臨職評の山本三千子さんは、「5月の法改正は私は

賃上げを勝ち取ろう

神戸交通 青年部でアンケート



力強くデモ行進する参加者

市町振興課は、「各団体労使の自主的な交渉を基本とする」としながらも、「国の動きをにらみつつ、国の先行することのないよう助言する」とし、本府省業務調整手当及改定原資相当分については、「他の手当

での解消（埋め合わせ）をとは助言できない」とした。また、会計年度任用職員制度については「各市町の担当課長会議で説明はしている。独自で各市町の調査結果集約は考えていないが、誠実に労使で協議することは助言する」とした。

あれから何年経ったろう。身重の妻は会社に行き詰り、怒鳴り込みに行き詰り、勤めていた会社で同僚が亡くなり、激しく憤る妻。胎教の重要性を説いている時とのギャップを感じながら冷静に眺めていたことを思い出す。同僚は入院を勧められながら「決算中だから」と働き続け、病に倒れた。「会社に殺されたようなもの」と自宅を訪ね、「死んだのは自分だったかもしれない」と同僚宅を訪れた妻に「同じように赤ちゃんを授かりたかった」と嘆く母親。昨年県内で過労死等と認められた事例は36件。これまで何人犠牲になっただろう。懸命に仕事をするのは当然だ。ただ「懸ける」とは辞書に「失敗した時はそれを失う覚悟で事に当たる」とある。覚悟だけいい。働き方改革を進める首相は病気で一度は政権を退いた。首相が突然辞めても国は揺るがなかった。みんなでもう少し休もうよ。

労使交渉で決着はかる

県は「給与法成立後」を強調

2017確定決起集会

年内差額支給求める

県本部は11月7日、県市町振興課に対し、人事院勧告による官民較差の是正（本府省業務調整手当遡及改定原資相当分）について及び会計年度任用職員制度などを中心に、市町振興課の考え方、市町への助言のあり方などについて交渉を行った。

市町振興課は、「各団体労使の自主的な交渉を基本とする」としながらも、「国の動きをにらみつつ、国の先行することのないよう助言する」とし、本府省業務調整手当及改定原資相当分については、「他の手当

適切な助言を求める交渉団

あれから何年経ったろう。身重の妻は会社に行き詰り、怒鳴り込みに行き詰り、勤めていた会社で同僚が亡くなり、激しく憤る妻。胎教の重要性を説いている時とのギャップを感じながら冷静に眺めていたことを思い出す。同僚は入院を勧められながら「決算中だから」と働き続け、病に倒れた。「会社に殺されたようなもの」と自宅を訪ね、「死んだのは自分だったかもしれない」と同僚宅を訪れた妻に「同じように赤ちゃんを授かりたかった」と嘆く母親。昨年県内で過労死等と認められた事例は36件。これまで何人犠牲になっただろう。懸命に仕事をするのは当然だ。ただ「懸ける」とは辞書に「失敗した時はそれを失う覚悟で事に当たる」とある。覚悟だけいい。働き方改革を進める首相は病気で一度は政権を退いた。首相が突然辞めても国は揺るがなかった。みんなでもう少し休もうよ。



吉田ノボ

当面の日程

- 1月16日 県本部単組代表者会議
(ひょうご共済会館)
- 16日 2018年県本部新春旗ひらき
(ラッセホール)

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1510号

2017. 12. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

2017賃金確定 単組妥結状況

スト回避し大綱妥結

退職手当は切り離し協議へ

県本部は、11月15日に第1波、22日に第2波統一行動日を配置し、人勧に基づく給料表改定一時金の引き上げ改定と年内差額支給、退職金の引き下げを行わないことを重点に各単組で交渉が実施された。

神戸市労連(市職労・市交)は11月8日のヤマ場交渉で①子の扶養手当を段階的に1万2千円に引き上げ、配偶者分の見直しは経過措置期間を延長②給料表の改定、一時金の0・1月分の引き上げ③介護休暇と育児休業制度の改善④賃貸の住居手当の引き上げなど、最終回答を引き出し妥結した。

県職労は2時間ストライキを配置し、11月27日に最終交渉を実施。給料表の改定と一時金については勧告どおり改定し、更に今年度の限りの水準調整として改定後の給料表に一律800円を上乗せした。また、地域手当を+0・15%(1級地は9・4%、2級地は6・4%、3級地は4・4%に改定)、子に係る扶養手当+2千円

を1年前倒しし1万円に、独自給料カットについては今年度末で解消。現給保障については3年間で段階的に廃止することとした。

県職労と神戸市労連以外(加古川市職労・高砂市職・三木市職)がストライキを配置し交渉を実施したものの、国の給付法改定が不明確であったため、第2波へは7単組(宝塚市職労・三田市職労・明石市職労・水戸・加古川市職労・高砂市職・三木市職)と伊丹市労

連がストを配置した。

阪神淡路ブロックでは猪名川が12月議会へは間に合わず3月議会での提案。川西では一時金改定はするものの給料表は改定なしで妥結。その他単組は12月議会提案、年内差額支給で妥結した。また、12月1日現在、播磨ブロックでは明石高砂・加古川・三木など18単組で年内差額支給を確認したものの町職を中心に8単組が継続協議となり、但馬丹波ブロックでは、丹波が当局から3月議会への議案提出を提案され、豊岡病院と新温泉が協議中、その他単組は12月議会提案を予定している。

退職手当組合へ申し入れ

国同様の措置は求めない 要求書と署名を提出



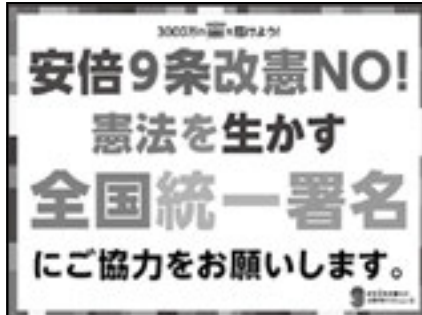
山下議長より要求書を手渡す

兵庫県内19市12町で構成する退職手当組合(退手組合)に対し、県本部退職手当共闘会議(退手共闘)は、11月14日に①労働組合との交渉・協議を行うこと②旨と同様の措置を求めない旨の要求書と、組合員の約8割を集約した署名を提出し申し入れを実施した。

退手共闘の山下忠之議長は「退手組合加盟の自治体はラスも低く、国家公務員同様の退職手当の水準にはない。真摯な交渉をお願いしたい」と要請したのに対し、大塩民生退手組合からは「要求書・署名をお預かりした。議長の見解も考慮しながら、協議をさせていただきたい」とし、歩み寄り協議する考えを示した。

しこり

日本でスマートフォンが普及して7年ぐらになるが、今や電車に乗っても1車両のほぼ8割がいじっている。そして、自分は乗り物の中でスマホをいじるともなく酔ってしまうので人間ウォッチングしている。ゲームしている人、SNSをしている人、動画を観ている人、様々だが、スマホの普及により生活がガラリと変化した。スマホに完全に支配されてしまった。そういう人、子どもの頃、未来の人間の体型が予想されていたが、頭が大きく、体と手足が細くなるということだったようだ。しかし、その予想は外れたようだ。スマホのおかげで、頭をあまり使わないし、運動不足で手足は細くなるが、体幹だけメタボリックで大きくなるという傾向にある。何年か後には平均寿命が100歳になるといわれているが、元気で長生きするためには、たまにはスマホから解放されたいものだ。(しら)



安倍政権に憲法改悪をさせないため、全国で3000万筆を集める署名運動がはじまっています。

自治労は、組合員1人5筆が目標です。家族や知人に声をかけましょう。

□ 集約日 4月3日(火)



パネルディスカッションの様子

県本部自治研集會は自治研センターと協賛して、11月23日にラッセホールで開催し、50人が参加した。木谷晋市自治研センター

自治研集會

生活するための交通政策が重要

地域づくりは交通の確保から

理事長と大野義政県本部委員長が主催者を代表してあいさつし、この交通研究に至った経緯などを話した後、隅田龍副委員長が、「今回の交通政策の提案を参考に各自自治体でも取り組んでほしい。また、交通政策に限らず他の課題でも自治研として取り組んでほしい」と基調提起した。

加地幸夫生活支援交通研究会次席研究員からは報告書の説明を行い、生活で

る地域づくりは交通の確保からということと淡路市や宍粟市の事例報告があった。

パネルディスカッションでは、北川博巳主席研究員をコーディネーターに、パネリストに小島修二兵庫退職者連合副会長、竹内宏神姫バス株バス事業部計画課地域公共交通担当課長西嶋浩志明石市交通政策係たこバス企画調整担当の4人がそれぞれの立場から課題や企画、実践について語



県本部消防セミナー

より良い消防サービスの 実現には労使協議が重要

県本部は、11月25日に消防職員の自主組織「全国消防職員協議会」(全消防)の活動をする県本部消防セミナーを開催した。

消防職員の団結権については、連合によるILO提訴以降10度の勧告が出されているが、政府はまだ団結権を認めない。

セミナーでは、全消防の竹内洋司事務局長から①パワハラメントの現状②消防職員委員会制度の限界③団結権回復の取り組みについて講演を受けた。総務



全消防より現状報告を受ける

省に設置されたハラスメント対策ワーキンググループへの組織内議員を通じて意見反映や、職員の提出した意見を審議する委員会制度が記名提出を求め、審議を受けても改善が努力義務に

とどまるため交渉に代わる「協議」が重要であるとした。また、団結権回復に向けたPSI(国際公務労連)大会参加の報告を受けた。

分散会では、消防本部の参加者と単組役員が意見交換を行った。全消防が組織された職場では、本人希望に沿って年休取得できる状況等が報告され、より良い消防サービスの実現には「協議」と労働者視点が必要であるとして、交流強化し協議会の組織化をめざすことを確認した。

三木市職員組合の66人(以下組合側)が、三木市公平委員会に地公法46条に基づく措置要求をしたところ、これを却下する判定を受けたため、「判定の取り消し」を求めた訴訟について、11月29日神戸地裁は、組合側の主張を認めた。

三木市は、2015年4月に独自の給与制度見直し(改悪)を行った。組合は賃金が下げられた職員に対

公平委の却下は違法

三木市に誠実な解決求める

神戸地裁

し、現給保障などの経過措置を求めているが、三木市当局はこれにに応じようとせず、組合合意なく議会で強行可決した。

このため、組合側は、三木市公平委員会に「現給保障が激減緩和措置を講じるよう措置要求を行ったが、公平委員会は、措置要求は条例の制定や改廃を議会に要求するものでこれに介入する権限はない」として却下していた。

判決では、「給与条例改正案を議会に提出するよう市長に勧告すること」を求めているものであり、却下した判定は違法と判断した。

今後は三木市公平委員会が審理を行い、給与減額の回復に向けた勧告を求めるとともに三木市当局には、判決を真摯に受け止め、組合との協議を通じて誠実に解決すること強く望む。

囲碁・三谷さん 将棋・野場さんが優勝

第37回囲碁
将棋大会

退職者会が初参加

県本部の第37回囲碁将棋大会が12月1日、共済会館で行われ、囲碁の部、本因坊で三谷幸司さん(高砂市職)、将棋の部、名人位で野場敢滋さん(宍粟市職)が優勝した。



囲碁・将棋ともに決勝戦は昨年と同じ組み合わせとなった。4連覇した三谷さん(写真上)、3連覇した野場さん(下)。

今大会には、退職者会が初めて参加、23単組5単会81人が熱戦を繰り広げた。また、参加者が減少傾向にあった囲碁の部には、太子町職から若手組合員5人が参戦し、大会を盛り上げた。

本因坊の決勝は、昨年と同様、三谷さんと高橋正行さん(県職)の組み合わせに、「攻めを意識してたかった」という三谷さんが序盤から優勢に進め、4連覇を果たした。「4連覇は率直に嬉しい。囲碁の部の参加者が減少しているのが寂しい」とコメントした。

名人位の決勝も昨年と同様の組み合わせでたかわけ、北垣康雄さん(神戸市職)に勝った野場さんが3連覇を果たした。「自治労の大会は持ち時間が長い。プロの棋風研究」と考えて指すことを意識して練習している」と強さの秘訣を語った。

太子町職は、囲碁の部Aクラスで木原由理さんが見事優勝。「職場で声をかけ、20人で囲碁部を立ち上げた」といふ。

将棋名人位
優勝 野場敢滋 (宍粟市職)
準優勝 北垣康雄 (神戸市職)
3位 斎藤亮(宝塚市職)

来年に向け全体の力量をあげたい」と抱負を述べた。結果は以下の通り。

囲碁本因坊
優勝 三谷幸司(高砂市職)
準優勝 高橋正行(県職)
3位 松崎隆徳 (伊丹市職)

親睦を一層深める 臨職評が退職者会を結成



初代表の森口さん(中央)

県本部臨職評の退職者会が、11月15日に県本部会議室で結成総会を開催し、O・B・O 24人が参加した。この退職者会は今年2月に全日本自治体退職者会兵庫県本部の呼びかけで有志が集まり結成に向けて協議を重ね、今日に至った。

結成準備会を代表して森口知子さんは「地公法や地

方自治法の改正で、これまで勝ち取ってきた労働条件が引き下げられないかと現役世代が悩んでいる。これまでの経験を基に退職者会としてアドバイスできればと考えている。本日を契機に会員の親睦を一層深めるとともに、現役世代との交流も図っていききたい」とあいさつした。

その後、森口さんを初代表とする役員体制と規約を確認し、レセプションでは参加者が昔話に花を咲かせ、懇親を深めた。

団体生命共済

あなたの加入が 組織加入につながります

組織加入単組になて 広げよう! たすけあいの輪!

◀ 組織加入単組なら ▶
持病があったり、入院中の組合員も 新規に加入できます

組織加入単組

自治労組合員の80%以上*が 団体生命共済に加入している組合

例えば...

入院中の組合員も 一律加入共済契約 (=60歳までの最低保障型) に加入できる!

*組合員の80%以上が加入している「組織加入県」では、都道府県内のすべての自治労組合を組織加入単組とみなします。

ZENROSAI NEWS

5117F213

ご不明な点があれば、まずは 所属の組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

全労済自治労共済本部資料より引用



加地幸夫さん

神戸交通労組出身。県本部都市公共交通評議会の事務局長

公共交通は みんなのライフライン

持続可能なみんなの 地域公共交通の実現へ

公共交通の政策や実践は、これから地方自治体が担う時代となり、連携計画づくりや地域公共交通連携計画づくりをした上で、まちづくりや他の政策と一体となって構築していかなければならない。その将来像を今回、県本部自治研センターの加地幸夫生活支援交通研究会次席研究員に聞いた。

昨年11月23日、県本部自治研研究会で「みんなのライフライン」としての公共交通の現状と課題、今後の取り組みがテーマで、兵庫地方自治研究センターが立ち上げた「生活支援交通研究会」が1年半にわたり調査・研究した内容を報告させていただいた。

今、日常生活の移動はマ

イカーが主流となっており、それに合わせたインフラ整備や経済活動などが行われこれに起因して、公共交通は減少もしくは衰退してきている状況だ。しかし、超高齢化社会を迎え、高齢者はマイカー利用から公共交通利用へのニーズが高まり、先述した公共交通の衰

退が「地域に住み続けられるかどうか」という問題になっている。

自治体は、住民生活を豊かにするためにあらゆる施策を行うことが求められているとすれば、公共交通施策についても事業者任せにすることなく、まちづくりの主要施策として捉えるべきではないかと考えている。国は交通政策基本法や関連する法律をもって、公

共交通の活性化及び再生について自治体が主体的に関与しマネジメントしていくこととしている。一方で、表題のとおり「みんなの地域公共交通」を構築していくためには、自治体だけでなく、地域住民の参画を積極的に行うことが必要とされている。加えて交通事業者としてのノウハウを加えていく、まさに地域として連携していくことが重要と思われる。

自治体の積極的な 関与が求められている

公共交通事業は、単純に移動にかかるものだけでなく、外出機会が増えることで健康が増進されたり、マイカーからの転換で環境に寄与したり、公共交通を便利にすることで中心市街地が活性化するなど、多くの効果が認められる（クロスセクター効果）。このように福祉・医療・環境・まちづくりなど多くの便益

を考慮し、今後は地方行政の重要事項として認識され、いくことを願っている。

現在においても、各自治体においては公共交通担当部署が創設され、公共交通に関わる専任の担当者が置かれはじめていて、今後、人材育成を含めこのような専任部署が拡充していくよう自治体に求めている。



神戸まつりパレードの様子



昨年11月に開催した自治研集会

書き損じはがきと古本で国際貢献をしよう

ベトナム、ラオス、カンボジアなどで国際貢献活動を展開する「エファジャパン」を自治労は支援しています。

書き損じはがきと古本で、あなたもエファの活動を支援できます。

エファの活動内容など、詳細は以下のURLで

<http://www.efa-japan.org>

都市公共交通評議会とは

兵庫は2単組で構成

都市公共交通評議会とは、全国の自治体直営のバス、地下鉄、路面電車の乗務部門や駅部門をはじめ、車両や施設のメンテナンス部門、事務部門などに従事する約2万5千人で構成。兵庫県本部では神戸交通労組伊丹交通労組の2単組で評議会を組織している。

伊丹交通労働組合

伊丹交通では、都市交時代から取り組んできた「安全・安心・信頼の一声運動」そして、本都市交評として今年度から取り組んでいる「くらしをささえる地域公共交通キャンペーン」に合わせ、4月と10月には月4回、その他は毎月1回、JRと阪急伊丹駅のバスターミナルで、お客さまや市民などにティッシュ配布とあいさつ運動（写真）を実施しています。これらは、組合員のボランティアで行っており、お客さまサービス向上及び公共交通利用促進に寄与するものとしてこれからも続けていきます。

神戸交通労働組合

神戸市営交通事業が100周年を迎え、今年度は様々な取り組みを実施しています。組合も多くのイベントに積極的に参画しています。その中でも、昨年11月12日の日曜日、市バス車両工場にて開催された「市バス車両工場フェスティバル」において、車両支部の若手が中心となって製作したミニバス写真を披露しました。このミニバスは軽自動車ベースにすべて手作り。子どもたちを乗せて工場内を周遊させ好評でした。





国内では14年ぶりに新設されたスキー場として注目を集めている。姫路から約1時間というアクセス条件のため気軽に来場でき、家族でも楽しめるよう施設も充実している

峰山高原リゾート ホワイトピーク

14年ぶりにスキー場新設

神河町の活性化へ期待高まる

昨年末の12月16日、神河町が新スキー場「峰山高原リゾート ホワイトピーク」をオープンした。国内では14年ぶりのスキー場新設で、全国の注目を集めている。神戸・大阪からも約2時間というアクセス条件をいかし、初年度は5万人以上の来場を見込んでいる。人口が1万1000人強の同町は、「地域創生の一大プロジェクト。観光から定住へ、人の流れをつくりたい」と胸を膨らませる。

ホワイトピークがオープンしたのは、雪彦峰山県立自然公園の中、峰山高原、同地にある町営ホテル「リラクシア」の指定管理者である(株)マックアースが、62基、中級者向けのBコース(1170m)、中級者向けのAコース(837m)がある。15台の人工降雪機を配備し、ゲレンデコンディショニングは心配無用だ。ナイター設備も完備している。

上級者向けのCコース(937m)がある。15台の人工降雪機を配備し、ゲレンデコンディショニングは心配無用だ。ナイター設備も完備している。

「日本のゲレンデは欧米

と比べ、設備が古い」と関係者は指摘する。ホワイトピークは、「スマート・ゲートシステム」を導入し、リフトやロッカーの利用が快適に。

県内には15カ所のスキー場があるが、六甲山を除くと県北西部に集中している。近年では、ちくさ高原など家族で楽しめる比較的小規模なスキー場の利用者が増えている。こうしたデータを背景に、ホワイトピークは「都市近郊のファミリー・入門者向けスキー場」をコンセプトに、3世代が楽しめる施設になっている。

キッズパークや「かまくら」をイメージしたBAR、レストランも市川町の「タズミの卵」を使ったロコモコなど、メニューも充実している。



人口減少に直面する神河町にとって、町の活性化は喫緊の課題だ。豊かな自然環境が残る同町は、峰山高原や砥峰高原が映画等のロケ地になり、年間観光客が60万人を推移している。

今回のスキー場開設で、新たな観光客への期待も膨らむ。ゲレンデと隣接するリラクシアは、冬季の利用者が少なく経営が安定しないことが課題だったが、その改善も期待できる。11月には「道の駅 銀の馬車道 神河」同町吉屋がオープンしたが、神河町全体への人の流れをつくり出したい。

臨時駐車場、シャトルバス 町も全力でバックアップ

「地域創生の一大プロジェクト」。町もスキー場の



地域振興課の児島さん

成功に準備を進めてきた。スキー場の計画は過去からあったが、県立公園内という点もあり、なかなか許可が下りなかった。(株)

マックアースのノウハウと、山名宗悟町長、上野英一県議のもと築いてきた県との関係も大きい。また、スキー場へ税金を投じることから「採算は取れるのか」と、心配する声も強かった。住民の声を丁寧に聞く山名町長の政治姿勢をはじめ、職員が根拠を示した説明をすることで住民の了承を得ることもできた。



かまくらをイメージしたBAR



山名町長 気軽に遊びに来て下さい

11月の町長選挙では、大変お世話になりました。自治労のみなさまのご支援にお礼申し上げます。この度、「地方創生の一大プロジェクト」と位置付け、峰山高原にスキー場を新設しました。姫路からは1時間で来場できる地条件、手ぶらで来場していただけます。街の服装のまま、「ちょっと滑りに行かか」という感覚で遊びに来て下さい。

町では、利用者が安全にゲレンデにたどり着けるよう、除雪車を充実した。姫路から約1時間、神戸・大阪から約2時間というアクセス条件をいやすため、町はJR寺前駅前に臨時駐車場を確保し、シャトルバス(片道500円)も運行する。地域振興課の児島浩司さんは、「地元の雇用創出や定住促進で地域を元気にしたい。一度神河町に来て、町を知って欲しい」と述べた。

私たちも自治労とともに頑張ります

組織内首長・議員
加西市長 西村和博
稲美町長 古谷博
神河町長 山名宗悟
兵庫県議会議員 黒田英一
兵庫県議会議員 上野みさお
宝塚市議会議員 久保宗一
猪名川町議会議員 永井俊彦
明石市議会議員 松崎雅彦
加古川市議会議員 村井正信
西脇市議会議員 大畑利明
宍粟市議会議員 中村茂
新温泉町議会議員 阪本晴良
丹波市議会議員 前川豊市
兵庫3区衆議院担当 伊藤和幸
前神戸市議会議員 山口みさえ
前芦屋市議会議員

共済県支部
事務局長代行 牧野達成
職員 藤島正明
高木さつき
飯田美佳
自治研センター
理事長 木谷晋市
副理事長 森田光広
理事 網島雅彦
理事 大野誠之
理事 宮本信弥
理事 塩見利澄
清水幸治
高山水司
芝野博久
米澤正紀
小和敏晴
奥井博巳
山中重恵
事務局員 研究員
事務局長 山本小恵

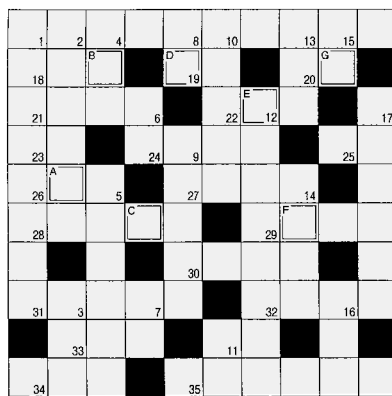
新春クイズにチャレンジを

職場・家庭で楽しもう 1月15日締め切り

自治ひよこ「新春クロスワードクイズ」に挑戦して下さい。クイズを解きA～Gまでの文字をなぞって現れた言葉をお答え下さい。正解者から抽選で7人に1000円商品券、15人に1000円の図書カードを贈呈します。1月15日(月)までに県本部「教宣部」宛にはがき、FAX、Eメールで応募下さい。(宛先は本紙1面を参照)①答え②名前③組合名④住所 景品の届け先を明記して下さい。連名での応募、複数回答は無効となります。当選者は2月15日号で掲載します。なお、はがきを利用した応募は、はがき料金が変更されており、62円はがきを使用してください。

- 8 ものふ、○○道
- 9 ○三ヶを日本語で言うところ
- 10 スポーツ選手が薬物を使用する不正行為
- 11 自撰、麻雀用語
- 12 ある事が終わったあとに良くない印象、Bad fate
- 13 東南アジアの国、羅宇
- 14 凹凸がなく、きめが細かい様子
- 15 熱帯の川にすむトカゲ
- 16 大気圏の最下層を構成している気体
- 17 クロバーの別名
〔ヨコのカキ〕
- 1 生花の色素を抜き、特殊な染料を吸わせて作る加工花
- 11 細長く伸びて物にからまつける莖
- 18 歌舞伎俳優の社会
- 19 海
- 20 角としばがある、人の
- 1 料金前払い式の磁気カード
- 2 江戸時代、婚姻を解消する際に渡す書状
- 3 ↑表地
- 4 残ります。慣用読みは「めんやうこ」
- 5 インジアン
- 6 世間を広まると。また、広めること
- 7 細長く集合した繊維、織物などの材料
- 〔タテのカキ〕

- 21 鉛筆
- 22 形をした日本の妖怪
- 23 体の一部に穴をあけて身につける装身具
- 24 医療 医学に関する事柄
- 25 コンピューターで使う文字のデザイン
- 26 「フランダースの犬」の主人公
- 27 ウナギを食べる風習
- 28 トカゲの仲間。ガラバ
- 29 ゴス諸島にはウミ○○○
- 30 ○が生息
- 31 形をした日本の妖怪
- 32 体の一部に穴をあけて身につける装身具
- 33 医療 医学に関する事柄
- 34 コンピューターで使う文字のデザイン
- 35 「フランダースの犬」の主人公
- 36 ウナギを食べる風習
- 37 トカゲの仲間。ガラバ
- 38 ゴス諸島にはウミ○○○
- 39 ○が生息
- 40 形をした日本の妖怪
- 41 体の一部に穴をあけて身につける装身具
- 42 医療 医学に関する事柄
- 43 コンピューターで使う文字のデザイン
- 44 「フランダースの犬」の主人公
- 45 ウナギを食べる風習
- 46 トカゲの仲間。ガラバ
- 47 ゴス諸島にはウミ○○○
- 48 ○が生息



岸まきこ

力あつめ、前へ。

- なかま・職場・地域を守り、自治労を創り、育て、広げよう。
- あらゆる格差の是正、全体の底上げを実現しよう。
- 安心と信頼の地域公共サービスを確立しよう。

岸 まさこ プロフィール

1976年北海道若見沢市(旧栗沢町)生まれ。94年北海道若見沢高等学校商業科卒業後、旧栗沢町役場入職(現若見沢市)。2004年自治労北海道空知地方本部女性部長、07年同書記次長、1年同副執行委員長、11年同書記長。2013年自治労中央本部法政労基部長、15年同組織対策部長。現在、自治労秋田中央執行委員(組織対策担当)。

喰か(み)言犬は呼び難し
 けんかしてゐる犬はいく
 呼んでも来ないやうにい
 なかに夢中になつていま
 人は、他人から忠告を受
 けても卒く耳に入らない。

◇

犬一代に狸たぬき一匹
 犬が狸のよふ大きな獲
 物をとるのは、一生に一
 くらゐといふと、良し、良
 いチャンスにはなかなかに
 会えないところだといふ。

吠ゆ 一匹の犬が何かの影におびえてほえると、周りの犬がその声につられて一斉に吠えることから、誰かがいい加減なことを言い出すと、多くの人がよく確かめずにそれを言いふらすことをいう。

兎(うさぎ)を見て犬を放つ
ウサギを見つけてから犬
を放して追わせても遅くは
ない。事の成り行きを見極
めてから対策を講じても遅
くないので、簡単にあきら
めるという教え。

犬兎(けんとう)の争い

犬が兎を追いかけて山を駆け回るうち、どちらも疲れて死んでしまい、その二つの獲物を農夫が自分のものにしようとしたという寓話(ぐうわ)から、両者が争うことで弱ってしまうと、利益を第三者にとられてしまうこと、

煩惱の犬は追えども去らず
犬は追つてもつきまとつ
てくるように、心の迷いや
悩み、欲望などがいくら
払つても頭から離れないこ
と。

戌 イヌ(戌)
のことわざ
故事・用語

わが門で吠(ほ)えぬ犬なし
自分の家の前では弱い犬
でもほえ立てる。弱い者が
自分の家の中だけで威張つ
ていること。

犬骨折つて鷹(たか)の餌食
犬が苦勞して追い出した
獲物も鷹に取られてしま
う。苦勞して手に入れか
けたものを他人に奪われて
しまうことのたとえ。

総合共済

团体生命共済

長期共済

税制適格年金

親子共済

全労済の**住まい共済**

●新火災共済・●新自然災害共済

じちろう **マイカー共済**

自賠責共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

※ 契約にあたってはパンフレットをご覧ください

全労済自治労共済本部資料より引用

共済特集号

自治労兵庫県本部共済推進委員会
全労済自治労共済本部兵庫支部

自治しゅご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1512号

2018. 1. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

(全労済自治労共済本部資料より引用)

じちろう団体生命共済がより良い制度へリニューアル!

自治労共済本部第16回代表者会議(2016年7月27日)で団体生命共済の制度改定を進めることが確認され、自治労各県本部・各単組からの意見をふまえ、自治労兵庫県本部2017年度第3回共済推進委員会(2017年4月17日)で兵庫県本部としての考え方を確認し、自治労兵庫県本部第68回定期大会(2017年9月30日)において団体生命共済次期制度改定が承認されました。(※「がん保障特約」は付帯を見送りました)

一人でも多くの組合員が、じちろう共済の助け合いの輪の中に参加することで、組合員とその家族の安心をより確かなものにできます。組合員の皆さんにとって、低廉な掛金による可処分所得の向上とニーズに沿ったムラムタのない保障が期待できます。また、組合が共済活動に取り組むことは、世話役活動による組織の強化につながります。

制度改定が実施される団体生命共済をはじめ、すべての組合員の皆さんによる積極的なじちろう共済利用をめざします。

【実施時期】 2018年7月発効以降、
順次継続更新月から適用実施します。

県職労・尼崎市職労以外の単組	2018年7月発効～
県職労	2018年11月発効～
尼崎市職労	2019年6月発効～

制度改定の4つのポイント

ポイント1

医療保障の選択肢が拡大!

入院保障が
充実!

組合員・配偶者・子どもの
入院日額最低額を

3,000円にUP!

ポイント2

61歳以上の掛金負担を軽減!

再任用・再雇用者の
継続加入が
しやすくなります!

- ☑61歳以上の
死亡保障の掛金引き下げ!
- ☑61歳以上のメニューに掛金負担の
軽い死亡保障300万円型を新設!

ポイント3

団体生命共済終了後の
保障ニーズに応じて

退職者の
保障体系の充実!

- ☑退職者団体生命共済を新設!
- ☑早期退職者の地域共済への
移行要件の緩和!

ポイント4

30歳までの組合員限定!

コンパクトな
若年層型が誕生!

これならはじめやすい!

掛金月額 1,670円

ポイント

1

入院保障が充実!

対象者 全員

☑組合員と配偶者・子どもの入院日額の最低額を3,000円

医療費の自己負担の増加や入院諸費用等の継続的な引き上げによる準備として、また、55歳未満の早期退職者が総合医療共済へ移行するための枠組みの確保、さらには、退職者団体生命共済へ移行する際の補償額を確保する観点も踏まえ、入院共済金は2,000円から3,000円に引き上げます。

☑高額保障ニーズに対応

組合員・配偶者の入院保障
12,000円、15,000円の新設
※61～65歳の配偶者(15,000円設定はありません)



メニュー抜粋
組合員本人型
(～60歳)

				主な保障				その他の保障	
型	掛金(月額)			死亡・ 重度障がい	事故死亡	入院(日額)	通院(日額)		手術 所定の手術に対して、 いずれかの金額
	～40歳	41～50歳	51～60歳						
D	2,520円⇒2,900円			600万円	1,200万円	3,000円 ↑ 2,000円 ※5大成人病 での連続5日 以上の入院 は、5日目から 倍額給付	1,500円 ↑ 1,000円	12万・6万・3万円 ↑ 8万・4万・2万円	災害障害共済金・ 傷病障害共済金・ 疾病診断共済金・ ドナー共済金・ 診断書料補助金
F	2,800円⇒3,180円	2,940円⇒3,320円	3,280円⇒3,660円	800万円	1,600万円				
H	3,080円⇒3,460円	3,360円⇒3,740円	4,040円⇒4,420円	1,000万円	2,000万円				
J	3,780円⇒4,160円	4,410円⇒4,790円	5,940円⇒6,320円	1,500万円	3,000万円				
K	4,480円⇒4,860円	5,460円⇒5,840円	7,840円⇒8,220円	2,000万円	4,000万円				
L	5,180円⇒5,560円	6,510円⇒6,890円	9,740円⇒10,120円	2,500万円	5,000万円				
M	5,880円⇒6,260円	7,560円⇒7,940円	11,640円⇒12,020円	3,000万円	6,000万円				
P	6,880円⇒7,260円	9,260円⇒9,640円	15,040円⇒15,420円	4,000万円	7,000万円				
R	7,880円⇒8,260円	10,960円⇒11,340円	18,440円⇒18,820円	5,000万円	8,000万円	ポイント 入院日額、通院日額、手術の保障額が それぞれアップし、保障が充実します。			

+

メニュー抜粋
組合員本人医療コース
(～60歳)

- 保障額には型に付帯される
医療保障を含みます
- 08コースと10コースは、
選択できる型の範囲が拡大しました
- 入院日額1万円超の12コースと
15コースを新設しました

			主な保障		
コース	掛金(月額)	選択できる型	入院(日額)	通院(日額)	手術 所定の手術に対して、 いずれかの金額
	～60歳				
03	型に付帯される医療保障に吸収されるので廃止となります。				
05	1,140円⇒760円	D型～R型	5,000円	2,500円	20万・10万・5万円
08	2,280円⇒1,900円	F型～R型⇒D型～R型	8,000円	4,000円	32万・16万・8万円
10	3,040円⇒2,660円	H型～R型⇒D型～R型	10,000円	5,000円	40万・20万・10万円
新設 12	3,420円	D型～R型	12,000円	6,000円	48万・24万・12万円
新設 15	4,560円	F型～R型	15,000円	7,500円	60万・30万・15万円



※組織討論案で示された「がん保障特約」は、兵庫県本部は付帯を見送りました。

ポイント
2

再任用・再雇用者の継続加入がしやすくなります!

対象者 61～65歳の組合員+配偶者

☑ 61～65歳の死亡保障の掛金の引き下げなど

- ・再任用・再雇用者が継続加入しやすくなるため、61～65歳の基本契約(死亡保障)の掛金を引き下げます。
- ・61～65歳用メニューに保障額の小さい**死亡300万円型**を設定します。

再雇用でも
継続加入!ポイント
3

退職者の保障体系の充実!

対象者 団体生命共済が終了する退職者

☑ 退職者団体生命共済を新設

長期共済未加入の団体生命共済加入者のための「退職者団体生命共済」を新設し、退職後の保障体系に追加します。

制度の概要

- ① 在職中に団体生命共済に加入している55歳以上65歳以下の組合員と配偶者の退職後の受け皿制度です。
- ② 保障内容は、死亡・重度障がい、入院、疾病障がい、臓器提供手術のみとなります。
- ③ 健康状態に関わらず、団体生命共済既加入額(死亡保障と入院保障)を限度として移行できます。
- ④ 共済期間は1年で、最長80歳まで継続できます。
- ⑤ 掛金は月払で、口座振替となります。

在職中の契約	退職後の移行制度	
	現 行	改定後
団体生命共済	なし	退職者団体生命共済(月払) (前職退職者団体生命共済)
団体生命共済 + 長期共済	長期共済 退職後共済 (一括払)	長期共済 退職後共済(一括払) または 退職者団体生命共済(月払) (前職退職者団体生命共済)

健康状態に関わらず
移行可能!最長80歳まで
継続できる!ポイント
4

コンパクトな若年層型が誕生!

対象者 30歳までの組合員

- ・通常メニューに加え、単組単位で新たに「若年層型」を設定できるようにします。(※事前に取り扱いを決定した単組のみ利用可)
- ・若年層型はコンパクトな保障内容で低廉な掛金の制度となります。
- ・30歳以下の組合員は若年層型が通常メニューのいずれかに加入可能で、契約満了時(31歳更新時)には一律型へ切り替えとなります。

(1) 若年層型

掛金 (月額)	死亡・ 重度障がい	不慮の事故 死亡	不慮の事故 身体障がい	不慮の事故 入院(日額)	不慮の事故 通院(日額)	病氣入院 (日額)	病氣 退院後通院 (日額)	手術	傷病障がい・ 疾病診断	臓器提供 手術	診断書料 補助
1,670円	200万円	400万円	200万～8万円	3,000円	1,500円	3,000円	1,500円	12万・6万・3万円	50万円	10万円	5,000円

※成人病入院特約は付帯しない ※「不慮の事故死亡400万円」は、「死亡・重度障がい200万円」を含む

(2) 若年層型の新規加入要件

- ① 加入年齢は発効日現在30歳以下の組合員とします。(30歳以下の組合員は若年層型または通常メニューのいずれかに加入できる)
- ② 加入時の健康告知は、通常メニューの一律型と同様の取り扱いとなります。

(3) 若年層型から一律型への切り替え

- ① 契約満了時(31歳更新時)は、健康状態に関わらず、一律型に切り替わります。
- ② 任意のタイミングで、若年層型から一律型に型上げる場合の健康告知は、通常メニューの一律型と同様の取り扱いとなります。

(4) その他

- ① 若年層型の推進方針
推進上、原則として通常メニューの既加入者は若年層型に型下げできないこととします。
- ② 長期共済・税制適格年金の取り扱い
長期共済・税制適格年金を利用することができます。
- ③ 配偶者・子どもが団体生命共済に加入する場合
配偶者・子どもが団体生命共済に加入する場合には、通常メニューに切り替えることとします。

これなら
はじめるすい!

団体生命共済の推進方針

1 労働運動としての共済推進活動の確実な実行

自治労の本部・県本部・単組の共済推進委員会を基軸として、共済県支部・全労済各県本部と共同して組織強化と共済運動の一体的な展開を進めます。

2 若年層への加入推進で全体の加入率アップへ

新規採用者の80%以上加入をめざします。10年間で自治労職域全体の加入率を自治労組合員の60%に引き上げることを目標にします。

3 中堅層への推進で共済への理解の拡大を

継続募集やスポット募集をとおして、団体生命共済と長期共済のセットによる「生涯にわたる総合保障」の仕組みについて、組織的な理解の拡大をはかります。

4 再任用・再雇用者への推進

61～65歳の再任用・再雇用期間中も、引き続き団体生命共済と長期共済に継続加入することを基本とします。

5 退職者への推進

「団体生命共済+長期共済」加入者は従来からの基軸制度である退職後共済に、「団体生命共済のみ」加入者は新設の退職者団体生命共済に移行することを基本とします。

組合員の皆様へ

日頃からのじちろう共済へのご協力に感謝します。

さて、『じちろう団体生命共済』は、自治労のスケールメリットを最大限に活かした生命・医療保障です。

公務職場の特色をふまえた制度設計に加え、制度改定時には、組織討議や機関会議を通じて組合員の声が直接届く「組合員が主役の助け合い」を基本に運営されています。

非営利事業であるじちろう共済の掛金や剰余金は、保障はもちろん、加入者への割り戻し金や単組への事務手数料など、組合員と労働組合のために使われています。

組合員しか手にとることのできない「多くの仲間のつながりで支え合う」じちろう共済を、ぜひあなたもご利用いただき、将来の安心と安全を手にとってください。

自治労兵庫県本部 共済推進委員会
推進委員長 大野 義政

詳しくは、じちろうセット共済パンフレットをご覧ください。

当面の日程

- 9日 県本部第203回中央委員会（県民会館）
 10日 県本部2018春開討論集（フルーツプラザパーク）
 16～17日 県本部全評2018年水道集・下水道部会
 第21回交流会（ひょうご共済会館）
 17日 なくせ官製ワーキングプア！臨時・非常勤等職員の
 雇用安定と処遇改善を求める決起集会
 （生田文化会館）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1513号

2018. 2. 1

月2回（1日、15日）発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

労働運動の姿見せよう

旗開きに 200人 大野委員長が抱負

県本部は1月16日、ラッセルホールで新春旗開きを開催し、組合員、連合傘下の各労組、政党関係者、共闘団体など約200人が参加した。

あいさつに立った大野政義委員長は、①安倍改憲を阻止するたかひの強化と参院選挙での岸まきこ勝利②「働き方改革」と称する労働法制改悪反対の取り組み③法改正に伴う臨職組織の課題に触れ、「課題は山積しているが、いきいき

自治体で働く仲間と一緒に足元を固める1年にしたい」と述べ、乾杯した後、参加者は歓談した。



県本部を代表してあいさつを行う大野委員長



取り組み課題について全体で確認

「臨時・嘱託等の任用根拠が」により、20年4月からは会計年度任用職員という位置づけとなる。各単組では現在の臨時・嘱託の状況把握を行い、給料表の作成など当局交渉が重要となっている。この機会に未組織の臨時・嘱託の組織化も合わせて取り組み強化をお願いしたい。反行革・予算要求闘争では、積み残し課題の前進をめざそう。最後に、共済活動の推進については、加入拡大をお願いする」と

要請し、基本となる給料表を交渉で詰めてほしい」と

県本部は1月16日、ひょうご共済会館で単組代表者会議を開催し、①会計年度任用職員制度導入に伴う取り組み②反行革・予算要求統一闘争の取り組み③「じろう共済下半期の取り組みについて、意思統一するとともに、各課題について問題点や取り組み方針を確認した。

大野政義県本部委員長は「不明確であったが、法改正

計年度任用職員という位置

あいさつを行った。

協議事項では「会計年度任用職員について」服部圭司県本部副委員長が、「会計年度任用職員への移行に際しては、職員団体との協議を踏まえて給料水準等の決定が求められており、18年中には任用や勤務条件について労使合意を図っていく必要がある」と説明し、「今回の法改正は処遇の改善を図るためのものであり、現行の勤務実態に即した対応を行い、不利益が生じる事なく適正な勤務条件の確保を交渉で詰めてほしい」と

県本部としての給料指標を示す

県本部単代会議

臨時・嘱託の現状把握を

会計年度任用職員
制度導入に向け

等の説明を行った。

質疑では、月額時間額の給料表の位置づけや、県本部が示した給料表が現在の賃金額より低い等の質問が出され、「提示した給料表はあくまで基準であり、現行水準を引き下げることなく交渉で単組の状況を確認し

「じろう共済の下半期の取り組みについて」森哲二県本部組織部長は「共済は組合員が無理・無駄のない保障を割安な掛け金で安心した生活を過ごすこと

できる制度だが、兵庫は団体生命共済の加入率が悪い。7月発効からは新制度となり、継続募集スポーツ募集に向けて、説明会や個別保障相談会の設定、単組執行部学習会を開催してほしい」と要請した。

今日も通勤電車の車窓から海を眺めながら仕事に行く。ほぼ毎日見ているその海に季節を感じ。年明け一番

清々しい気分になる。少し日がたつと、ネットを被った小舟を多く見る。養殖海苔の引き上げだ。それが終わるころ、3月解禁のイカナゴ漁だ。5月の連休時には、明石海峡大橋を数珠つ

なきの車が見える。夜はライトアップできいだ。夏は須磨海岸に多くの海の家が建ち並ぶ。夏休みの終わりに、海の家を撤退だ。いつもの海の顔に戻る。秋から寒くなつてくると、波が尖がってくる。人の心も寒くなり、狭い明石海峡を大きな客船や貨物船とが行き交う中、小さな舟を見かけて自分に見立てる。波に飲み込まれようという。そこまで自分を貫けるか。そうでなく、波をうまく避けて泳げるか。今年の海はやさしいのか。それは自分次第だ。⑤

非正規労働者の組織化へ 処遇改善と一体の取り組みを

本部春開
討論集会

自治労本部の春開討論集会が12月13・14日に東京都開催され①非正規労働者の処遇改善と組織化②賃金・労働条件の改善③質の高い公共サービスなど春開方針について議論がされた。

自治労本部の川本淳委員長は、「改正地方法改正地方自治法の施行を前に、自治体では改正法に対応する条例化のための協議を18年中に行う必要があり、そこには当事者の声や反映することが不可欠。臨時・非常勤等職員の処遇改善と組織化の取り組みを一体的に進めてほしい」と述べた。

また、分散会では、都道府県職労大都市単組役員と大都市以外の市町村単組役員に分かれて実施され、法改正は非正規労働者の組織化のチャンスと捉えるべき」「自治労が先頭に立つて長時間労働の縮減に取り組みべき」など多くの発言があった。

自治労は春開期に要求書を提出し、年間闘争をスタートする。そして本部は、たたかひの節々にストライキを含む統一闘争を配置する。批准投票は、年間を通じて1波につき2時間を上限とするスト指令権を自治労本部に委譲することについて、組合員の承認を求める行為であり、組合員の団結と決意を示すため、組合員全員投票で批准投票を成功させよう。

批准投票の成功を

2/15(木)午後7時までに県本部必着

自治労は春開期に要求書を提出し、年間闘争をスタートする。そして本部は、たたかひの節々にストライキを含む統一闘争を配置する。批准投票は、年間を通じて1波につき2時間を上限とするスト指令権を自治労本部に委譲することについて、組合員の承認を求める行為であり、組合員の団結と決意を示すため、組合員全員投票で批准投票を成功させよう。

今日も通勤電車の車窓から海を眺めながら仕事に行く。ほぼ毎日見ているその海に季節を感じ。年明け一番清々しい気分になる。少し日がたつと、ネットを被った小舟を多く見る。養殖海苔の引き上げだ。それが終わるころ、3月解禁のイカナゴ漁だ。5月の連休時には、明石海峡大橋を数珠つなきの車が見える。夜はライトアップできいだ。夏は須磨海岸に多くの海の家が建ち並ぶ。夏休みの終わりに、海の家を撤退だ。いつもの海の顔に戻る。秋から寒くなつてくると、波が尖がってくる。人の心も寒くなり、狭い明石海峡を大きな客船や貨物船とが行き交う中、小さな舟を見かけて自分に見立てる。波に飲み込まれようという。そこまで自分を貫けるか。そうでなく、波をうまく避けて泳げるか。今年の海はやさしいのか。それは自分次第だ。⑤

いまいち座

高いハードル



大植 賢（豊岡市職労）

2018春闘 討議資料

3月16日 全国統一行動日

自治ひょうこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1514号

2018. 2. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

実態からはじめよう

青年部 本部の佐藤部長が講演



改善事例を紹介する佐藤さん

自治労本部の佐藤良太青年部長が1月7日、県本部青年部幹事会に出席したことを機に、単組青年女性部にも呼びかけ公開学習会を開催した。

「仕事で使う名刺を自費でつくっている人」佐藤青年部長が尋ねると、半数ほどの参加者が手をあげた。「ハンコは？」と続けると大半が挙手した。組合運動は、改善すべき実態からはじめなければならぬと、「去年やっていった」と、目的を失った取り組みになつていないかと投げかけた。

北海道庁の社会福祉課で働いていた佐藤さんは、職場の仲間と話し合い超勤が支給されない実態を改善させた事例を紹介、「超勤を支給させたことも成果だが、仲間と団結が深まることが大切」と強調した。最後に、「青年部のうちに何でも話し合い、できることを精いっぱい実践しよう」とまとめた。

県本部は、この間の積み残し課題の前進に向け、1月26日に統一行動日を設定し、6単組(伊丹市職労三田市職労加古川市職労高砂市職三木市職加西市職)がストライキを配置した。

反行革予算要求闘争は、昨年6月の人員確保闘争からスタートした一連のたたかいに決着をつけるため、積み残し課題の前進に向けて交渉が行われた。

阪神淡路ブロックでは、スト配置単組以外でも交渉が実施され、三田が重点職場の人員確保について、増員の確認。当局提案の時差出勤制度は、半年間の試行を経て、改めて交渉。南あわじは宿直業務の廃止と超勤削減に取り組むことを確認。淡路が会計年度任用職

員制度導入について労使協議することを確認し、この間の労使合意事項の誠実な履行を改めて求めることとした。また、伊丹は職場要求について、一定の改善を引き出し妥結。会計年度任用職員制度については、委員会が研究協議を続けることとした。

播磨ブロックでは、加古川と三木が現給保障を、高砂が時間外労働と休暇制度をあげた。「ハンコは？」と続けると大半が挙手した。組合運動は、改善すべき実態からはじめなければならぬと、「去年やっていった」と、目的を失った取り組みになつていないかと投げかけた。

反行革・予算要求 統一行動

増員を確認し妥結

6単組がストライキを配置

町職単組交流会で情報交換

非正規の処遇改善と組織化を重点課題に

町職単組交流会が佐用町立笹ヶ丘荘で、1月19・20日に9単組25人が参加して開催された。北川寿一町職連協議長(稲美町職)は「既に多くの単組で賃金確定交渉は妥結済みだが、積み残し課題等お互い情報交換し、次の交渉に活かしていこう」とあいさつを行った。

これから本格化する会計年度任用職員への対応について、県本部の森哲二組織部長から、非正規職員の現状と法改正による課題について説明を受け、今後、各町職においても非正規職員の処遇改善や組織化については、重点課題とし取り組みを確認した。

特別報告として稲美町職より、秋の確定交渉において、長年要求し続けていた課題における前進部分について報告があった。

その後、出席単組から17秋季年末闘争の交渉結果や独自課題についての報告があり、独自課題について振休の取り扱いや直直の廃止、7級制導入の検討、4級号給継ぎ足しなど様々な要求課題が出された。



お互いの情報を交換

裁判闘争への支援を要請

本部中央委員会

春闘方針など確認



発言する大岡中央委員

自治労本部第154回中央委員会が1月29・30日に東京で開かれ、春闘方針を中心に4つの議案すべてが承認された。

冒頭、川本淳委員長は「春闘が本格化。賃金改善と非正規の均等待遇への取り組みを進んでいる。働き方改革関連法案が国会審議されるが、職場からの真の働き方改革を進める。改憲阻止へ立憲民主を軸に協力政党と連携し、安倍政治打倒

状況を課題に対して多くの補強意見が出され、兵庫県本部からは大岡久典中央委員(明石市職労)が、明石アスベスト曝露の公務災害認定訴訟と三木公平委員会措置要求の不当審査棄却裁判闘争への支援を訴えた。

特に石綿疾患は労災と比べ公務災害認定水準の低さの問題と、震災でのアスベスト曝露が公務職場で今後増える可能性から取り組み強化を訴えた。

2月9日、冬季五輪大会が平昌で開催された。制裁包囲網の弱体化を狙う北朝鮮。北朝鮮を米国との各協議に引き出したい韓国。さまざまな政治的思惑も絡んだ大会となった。こうした思惑とは別に、アスリートたちの最高のパフォーマンスに期待がかかる。ソチ五輪金メダルフィギュアスケートの羽生結弦選手。世界記録連発のスピードスケート女子バシユート。WC500メートル連覇中の小平奈緒選手。WC連覇中のスキー複合の渡部暁斗選手。他にも多くの選手に期待がかかる。五輪開催には課題もある。莫大な開催費用。スポンサー頼みの体質。ナショナルリズムによる金メダル合戦とドーピング問題。それでもマスコミ宣伝で関心は高まる。オリンピックの目的は、人間の尊厳を保つことに重きを置く平和な社会の確立を推奨することにある(五輪憲章より)。

(誠)

いまいち座

ギャップ「戦争と平和」



大西 英剛

4 会計年度任用職員への対応

- ①要求書提出ゾーン
遅くとも2月末まで
- ②春闘キャンペーン
ポケットティッシュ
- ③統一交渉ゾーン
- ④全国統一行動日
29分時間内食い込

201

- (1) 非正規労働者と
「地方公務員法及び
年4月施行を前に、
は遅くとも19年2月
るとされている。地
臨時・非常勤等職員
必要がある。
- (2) 賃金・労働条件
①すべての労働者の
「春闘＝1年の賃金
労使確認し、「要求
の定着をはかる。
- ②長時間労働、不払い
職場実態の把握や
見直しなど、労働者
③人員確保競争の推
採用予定人数が埋ま
員確保の重要性を共
(3) 質の高い公共サ
地域に根差した質
民と連携して政策提
して設定。①地域共
整備、③セーフティ

各自治体は、正規職員の採用抑制と多様な住民ニーズの対応のため、地方公務員法の任用根拠を無視した形態の非正規職員を採用し、その数は増加し続けてきた。そして、当局の任用権濫用による雇用止めや劣悪な労働条件が蔓延してきた。

県本部は、1990年に臨時職員連絡協議会を設置し運動をスタートさせ、当事者の立ち上がりや正規職員組合との連携などねばり強いたたかひの中で賃金、労働条件の改善に取り組み、雇用の安定を勝ち取ってきた。労働組合の有無によって雇用・労働条件の差は明らかになっているが、全体としては未だ組織率は低く、劣悪な条件のままとなっており、その改善は急がれる。

こうした中、17年5月17日に地方公務員法及び地方自治法の改正(施行日20年4月1日)により、一般職の会計年度任用職員制度が創設され、任用、服務規律等の整備をはかるとともに、特別職非常勤職員及び臨時任用職員の厳格化を行い、会計年度任用職員制度への必要な移行をはかることとされた。その内容は、賃金水準や労働条件の改善につながる観点からは評価

できる内容もあるが、任用についてはこれまでとおり最長1年とされていることなどから、雇用の安定の観点から不満と言わざるを得ない。また、制度移行時の労働条件切り下げへの不安をいだかせる内容となっており慎重な取り組みが必要となっている。

20年4月の新制度の実施にむけ、全自治体での雇用安定と処遇改善を勝ち取っていくためにも、臨時・非常勤等職員の未組織単組での取り組みの開始と組織化単組における積極的な組織拡大が求められる。

【新制度移行にむけた組織化】
①全単組での臨時・非常勤の組織化組織拡大の推進
臨時・非常勤等職員を対象にした学習会を実施するなど制度周知と組合加入にむけた取り組みを進める。
②労働組合の存在感を示し意見を反映させるためにも過半数の確保が重要であり、かつ36協定等の労使協定の締結が可能となる労基法上の過半数組合の確保をめざし、すべての臨時・非常勤等職員の組織化を進める。
【労使協議の推進】
①総務省が各自治体に示したスケジュールでは、19年2～3月議会における条例化が必要であるとしており、

18年中には、任用や勤務条件については、任用や勤務条件について労使合意をはかる必要がある。各単組は、18賃金決定闘争期の合意をめざし、自治体当局との協議を進めていく。
②協議内容の混乱が生じないためにも同一自治体内に複数の単組がある場合は、合同で対策委員会を設置し労使協議を行うなど実情に合わせた協議体制とすることは、制度設計にあたっては、総務省が示した臨時・非常勤等職員の任用根拠及び勤務時間の調査を必ず実施せざることを、その結果を労使で共有し協議を進める。
③臨時・非常勤等職員の多くは、新制度に基づいて任用されることから、新制度に向けた協議では、当事者である臨時・非常勤等職員の声は不可欠であり、当事者の意見交換やアンケートなどを実施し、要求書に反映させるとともに当事者の交渉参加を進める。
【雇用安定と処遇改善】
今回の法改正は、臨時・非常勤等職員の処遇改善を目的としており、雇用安定と処遇改善は当然のことであり、各単組は全力をあげて以下の取り組みを進める。
①新規の採用にあたっては、選考採用(面接書類選考等)とすること。

と臨時・非常勤等職員を含むすべての職員の定期昇給確保(2%程度)を基本要素として、労働期、確定要求を見据えた賃金改善をはかることとし、臨時・非常勤等職員を含めて定昇の取り組みを進める。
②雇用保障制度を確立すること。特に、再度の任用に制限を設けている自治体については、地公公平等取扱いの原則に基づき廃止すること。
③フルタイム・パートタイムの勤務の振り分けにあたっては、現行の勤務実態に即した対応すること。
④制度移行にあたって賃金等の取り扱いについては、「会計年度任用職員制度導入に伴う賃金決定等について」県本部方針を基本に各単組の実態に合わせた制度設計を行うこと。
⑤法改正以上の賃金・労働条件を確立している先行組合は、現行水準以上を確保すること。

なお、総務省も「会計年度任用職員制度への必要な移行について抑制をはかることは、適正な任用・勤務条件の確保という法改正の趣旨に添わないものです」としており、既得権利の確保は当然のこととして労使協議を進めること。

5 格差是正と公正なワークルールの確立



公共サービス民間労組と全国一般労組の共通を進め、雇用形態や公契約条例など共通する運動課題の認識の共有化課題の解決をめざす。そのため、労働契約法などの春闘学習会や交流会の具体化を進める。地場賃金相場の形成と底上げ、大企業との格差是正をめざすために、連合の中小共同の春闘決着をめざす。【公共サービス民間労組】
【全国一般中小民間労組】
賃上げ要求は定昇分を含む

金実態調査における実在者中央値に準じて算出。賃金到達目標を達成するためには昇給・昇給運用を改めることが必須である。そのために、春の段階から県本部は、各単組の賃金運用実態と本部作成のモデルラインとの比較表を基に全ての単組の到達状況を明らかにする。また、ラ

する基本要素を提出し、交渉・協議の結果については書面協定または労働協約を締結する。この要求書を最低限のものとして、これまでの運動や労使関係を背景に項目の追加、当局の態度を更に明確にする協定(確認)書の締結を積極的に検討追求する。さらに、「自治体単組の要求モデル」を参考に要求書を提出し、合意した内容については書面協定または労働協約を締結する。

単組は組合員個々の賃金を把握するとともに昇給・昇給ライン(賃金カー

管理職制度の導入動向の点検に取り組み、特に民間委託等の「見える化」については、自治体ごと今後の方向性や検討状況の関係情報が必要に応じて当局に対し交渉・協議を求める。

地方自治法99条に基づく議会決議採択および地方交付税法17条の4に基づく交付税算定に関する意見書提出を6月議会での取り組みを追求するとともに、財政分析と交付税算定に関する当局協議を実施する。

め、「1万5000円以上」を基準とし、自治体職員との格差是正をめざす。指定管理者制度の対象となる単組は、本部ガイドラインを参考に自治体単組と連携し、公共サービス基本法の理念の実現に取り組み。労働契約法に基づき有期雇用労働者の無期契約転換ルールの遵守や、改正パート労働法を踏まえて非正規パート労働者の正規との均等待遇をめざす。

【全国一般中小民間労組】
賃上げ要求は定昇分を含む

「正職労働時間が管理されず、サービス残業が横行する職場の是正」として長時間労働は喫緊の課題である。本部のチェックリストを用いた職場実態の点検調査を進め、労働時間の適正管理義務がある当局責任の追及と実態把握できる管理体制の構築、36協定締結を進める。また、調査結果を活用して、人員確保競争では労使交渉に基づく適正な人員配置や業務見直しなど長

時間労働改善への具現化をめざすことで、ワークライフバランスの実現と男女平等の推進につなげる。また、「働き方改革」を働く者のためのものとするために、残業代ゼロ制度創設や裁量労働制の規制緩和を盛り込んだ労働基準法改正案や解雇の規制緩和などの労働者保護ルールの改悪阻止に向けて取り組む。

4月から労働契約法の無期転換ルールの適用が本格化する。また、法の抜け道を利用した運用でルールが形骸化されない取り組みも強化する。

も積極的に参加する。【参議院選挙の取り組み】
来年7月に実施される第25回参議院選挙で、自治労は「岸まきこ」さんを組織内候補として擁立することと決定している。各単組は「岸まきこ」さんの推薦決定を行い、組合員・家族への浸透をはかる。

6 平和運動の推進と政治闘争

改憲改悪反対の取り組み
安倍首相は昨年の憲法記念日に、「新たな憲法9条に自衛隊の存在を書き込み、2020年に新憲法施行をめざす」と述べた。そして先の総選挙で大勝した

ことで、憲法改正の議論を加速化させている。国会は、衆参ともに改憲勢力が3分の2を有していることから、情勢は予断を許さない。自治労は、今国会での改憲発議、国民投票

という状況も想定し、憲法改悪阻止の取り組みを次の通り進める。
①戦争をさせない1000人委員会ひょうごこは、毎月19日に街頭行動を行い、「安全保障関連法の廃止」

【憲法改正反対】などを地域で訴えている。各単組はこの行動に結集する。
②澤地久枝さん、鎌田慧さんら13人の著名人が呼びかける「安倍9条改憲NO」に憲法を生かす全国署名に加入し、署名は憲法改正国民投票を意識し、全国で3000万筆をめざす。県

本部は1人5筆を目標に取り組み。
③5月3日の憲法記念日に、神戸市東遊園地で「戦争させない、9条壊すな!」53兵庫憲法集会」が1万人規模で開催される。自治労は1000人参加、全単組の賛同を目標に取り組み。3月1日のブレ集会に

も積極的に参加する。【参議院選挙の取り組み】
来年7月に実施される第25回参議院選挙で、自治労は「岸まきこ」さんを組織内候補として擁立することと決定している。各単組は「岸まきこ」さんの推薦決定を行い、組合員・家族への浸透をはかる。

も積極的に参加する。【参議院選挙の取り組み】
来年7月に実施される第25回参議院選挙で、自治労は「岸まきこ」さんを組織内候補として擁立することと決定している。各単組は「岸まきこ」さんの推薦決定を行い、組合員・家族への浸透をはかる。

力あつめ、前へ。

- なかま・職場・地域を守り、自治労を創り、育て、広げよう。
- あらゆる格差の是正、全体の底上げを実現しよう。
- 安心と信頼の地域公共サービスを確立しよう。

岸 まきこ プロフィール

1976年北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ、94年北海道岩見沢緑陵高等学校商業科卒業後、旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)。2004年自治労北海道空知地方本部女性部長、07年同書記次長、10年同副執行委員長、11年同書記長、2013年自治労中央本部法対労安局長、15年同組織対策局長。現在、自治労特別中央執行委員(組織対策担当)。

岸 まきこ



私は 第25回参議院全国比例区選挙
自治労組織内候補予定者

岸まきこ



とともに、
自治労の活動を
すすめます。

プリザ	ー	ブ	ド	フ	ラ	ワ	ー
リエ	ン	シ	ー	オ	ニ	シ	
ペン	シル	ピ	ア	ス	シ		
イ	ジ	フ	オ	ント	ネ	ロ	
ド	ウ	イ	グ	ア	ナ	ツ	
カ	ウ	ガ	ル	ジ	メ	ジ	メ
ー	イ	モ	ミ	ガ	ラ	ク	
ド	ウ	グ	イ	レ	ワ	カ	ク
ラ	ス	ト	ツ	ル	ウ		
メ	ジ	リ	オ	モ	イ	ツ	キ



会計年度任用職員制度について学習した

臨職評全単組代表者会議・学習合宿を1月27、28日、ひょうご共済会館で開催し、26単組72人が参加した。単組代表者会議では尾西亮太郎県本部書記長と自治労本部の野角裕美子組織拡大局長と投票を呼びかけ、2月10

法改正で処遇はどうなる

会計年度任用職員の課題を学習

長から激励のあいさつを受けた、県本部の活動報告や臨職評の年間行事スケジュールを確認。2月17決起集会への参加の呼びかけや、ストライキ批准投票の趣旨説明と投票を呼びかけ、2月10

自治研レポート募集

10月5、7日にかけて、高知県高知市で第37回自治研集会が開催される。研究会の開催にあたり、①自治や自由民権②地域活性化③地方創生の成果と問題点④こども議会・若者会議等の取り組み⑤都市部、農村部それぞれで発生している事例⑥自治体の紹介と検証⑦自治体交通計画立案の事例⑧共生社会の実現にむけた取り組み事例⑨平和、反戦、反核、

新春クイズ当選者発表

正解は「アニメーション」でした。応募総数204通の中から厳正な抽選の結果、当選者は以下の通りです。

【5,000円商品券】7人

①義積輝之さん(神戸市役)

②森保さん(尼崎市職労)

③細川智佳子さん

(南あわじ市職労)

④花畑吉明さん(姫路市役)

⑤小林義卓さん(香美町職)

⑥太田貴子さん(尼崎市職労)

⑦澤田雅子さん(豊岡病院労組)

【1,000円図書カード】15人

①藤本澄子さん

(芦屋嘱託ユニオン)

②仲基陽一さん(宝塚市職労)

③三代森弘樹さん(神戸市役)

④植田真理さん(穴栗市職労)

⑤関智子さん(尼崎競艇労組)

⑥城賀千鶴さん(宝塚市職労)

⑦田中和子さん(神戸市職労)

⑧宮本修さん(神戸市職労)

⑨上田耕司さん(高砂市職)

⑩村上健太郎(宝塚市職労)

⑪森本良太さん(篠山市職労)

⑫山口保博さん(神戸市役)

⑬北川敦史さん(赤穂市労連)

⑭藤原翼さん(伊丹水労)

⑮辻華子さん(豊岡市職労)

神戸地裁へ提訴

公務災害認定を求める

明石市職員
アスベスト問題

阪神・淡路大震災時にがれき収集業務などに従事し、アスベストばく露により悪性腹膜中皮腫を発症し、亡くなった明石市職員島谷和則さんの妻が、地方公務員災害補償基金に対し公務災害認定を求めて、1月15日に神戸地裁に提訴した。

提訴後に行われた記者会見において位田浩弁護士

障勞評電話相談

3月5日(月)～10日(土)

9:30～17:00

TEL 078-392-0820

FAX 078-392-0920

E-mail k-yamanaka@jichiro-hyogo.jp

じちろうセツ共済

新規加入・保障解除の機会を特別に送付！
ぜひ、この機会に保障 死亡保障 疾病保障 の点検を！

スゴイ共済の
ご案内

2018年2月15日～
2018年3月15日

所属の労働組合事務局

2018年3月15日(木)

団体生命共済
長期共済
税制適格年金
親子共済

全労済自治労共済本部兵庫県支部
TEL: 078-392-0821

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 2日 県本部病院集会（ひょうご共済会館）
3日 連合兵庫春闘総決起集会（メリケンパーク）
3日 県本部都市交評春闘学習会（神戸交通労組）
16日 自治労全国統一行動日

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1515号

2018. 3. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

春闘討論集会講演の要旨

私たちがめざす「働き方改革」とは

講師 在問秀和弁護士



働き方改革とは「同一労働同一賃金」と「労働時間」の2つ。今回の法律案では非正規労働者の不合理な待遇を禁止するなどプラス面もあるが、高度プロフェッショナル制度や裁量労働制

拡大など労働者にとってマイナス面もあり、抱き合わせ商法的な法案だ。現行パート労働法は完全な同一労働同一賃金ではない。過去の裁判例でも裁判官によって判決はまちまちである。今回の法案によって同一労働同一賃金が実現する保障はない。看板倒れと言っても過言ではない。長時間規制についても過労死基準を上限とし、更に労使協定によってこの基準

以上の上限設定が可能であり骨抜き法である。高度プロフェッショナル制度とは「残業代ゼロ・過労死促進法案」である。また裁量労働制は労働時間規制を受けぬままに労働の拡大を狙い。私たちがめざすべき働き方改革とは、労働者の側からのあるべき賃金システムと長時間労働の重要性を改めて考えていく必要がある。

また、基調提案では尾西亮太郎県本部書記長は①非正規労働者とともに進める処遇改善と組織化②賃金、労働条件の改善と職場から

の働き方改革③質の高い公共サービスと社会的公正労働の実現の3つの重点課題について説明し、3月16日の自治労全国統一行動へ全単組が結集するよう呼びか

けた。その後、「私たちがめざす働き方改革」と題して在問秀和弁護士より講演を受け、午後からは課題別の分科会で議論を深めた。

が浮かぶ。争がしたくて志したわけではない。毅然とした母の顔



主催者あいさつをする大野委員長

54単組98人が参加した。冒頭、大野義政委員長は、「18春闘は格差是正、超勤縮減など働き方改革が焦点となる。私たち自治労としては、会計年度任用職員の制度化が大きな課題。当面、非正規の組織化に全力をあげよう」とあいさつした。執行部が経過報告ならび「17現業公企闘争中間総括案」「17賃金確定闘争中間総括案」「18春闘方針案」など6つの議案を提起した。春闘の統一行動は、「臨時・非常勤等の雇用安定」などを指標に3月16日に配置するとして、中央委員からは次のよう

2018春闘勝利をめざし県本部は2月10日、フールツフワーパークで春闘討論集会を開催し、30単組85人が参加した。大野義政県本部委員長は「今年の春闘も官製春闘と言われているが、連合は月例給の引き上げにこだわっている。自治労としても連合に結集するとともに、臨職の雇用条件の改善をはじめ、春闘をたたかうための意思統一を行っていったい」とあいさつを行った。

また、基調提案では尾西亮太郎県本部書記長は①非正規労働者とともに進める処遇改善と組織化②賃金、労働条件の改善と職場から

の働き方改革③質の高い公共サービスと社会的公正労働の実現の3つの重点課題について説明し、3月16日の自治労全国統一行動へ全単組が結集するよう呼びか

けた。その後、「私たちがめざす働き方改革」と題して在問秀和弁護士より講演を受け、午後からは課題別の分科会で議論を深めた。

が浮かぶ。争がしたくて志したわけではない。毅然とした母の顔

第203回中央委員会

会計年度の労働条件で発言も

非正規の組織化を

な発言があった。

「公平委員会に適切な審理をさせ、賃金カットの回復に取り組み。裁判闘争に支援を」（三木市職）、「現業職員の不補充とシルバ

委託が一方的に進められようとしている。労使交渉を求めて頑張る」（新温泉町職）、「会計年度の課題は予算の裏付けが課題。自治労として国への働きかけを強

案は全て承認された。

「行かせません。進学させます」30年以上前の高校3年の時、自衛隊の勧誘を、普段穏やかな母は毅然と断った。「大学もありますが？」行かせません。体力も無く、学力も防衛大に遠く及ばない私は、滑稽なやり取りを隣で聞いていた。就職先も少なく、進学先もない田舎町の高校生宅を訪ね、応募者には故郷の空を飛ぶへりの遊覧飛行の特典がついた。入隊した同級生の多くは除隊したが、浪人後の公務員試験で数人が合流した。災害復旧の活躍に、旧友に思いを馳せた。白く輝きを増した姫路城のお披露目の日、雲ひとつ無い青空をブルーインパルスが飛んだ。久しぶりの電話に防衛省の同級生の声は明るく弾んだ。転勤の度に変わる年賀状の住所も、ようやく落ち着いた。▼安保法、改憲論議で暗雲が立ち込める。戦争がしたくて志したわけではない。毅然とした母の顔

2018春闘討論集会

月例給の引き上げにこだわる 春闘勝利をめざし意思統一



春闘勝利にむけて意思統一した

いまいち座

つぶやき



おやすみ漫

会計年度任用職制度化に向けて①

雇用安定と 処遇改善を勝ち取ろう



自治体で働く非正規職員は地方公務員法で任用根拠が定められているが、17年5月の法改正で新しく「会計年度任用職員」として制



職場改善にむけ実態を交流

青年部・女性部は2月3日、ひょうご共済会館で2018春闘討論集会を開催。16単組37人が参加し、春闘の意義と確定闘争までの課題について学習した。

分散会で職場実態を交流

青年女性春闘討論集会

開会あいさつに立った青年部の喜田啓義副部長は、「春闘の基本を学び、その後の分散会で交流を深めて欲しい」と述べた。「春闘」について講演を切」と強調した。

女性部の前垣志穂書記長が取り組みを提起し、「2月6～15日にかけて県内9カ所で地域別交流会を実施し、職場・単組の改善課題を明らかにしよう」と呼びかけた。

5つの分散会では、軽食をとりながら講演の感想や職場実態を話し合った。

医療と介護の環境改善求める 不採算部門を担う公的病院の存続を要請

衛生医療評
対 交 渉

県本部衛生医療評議会は2月2日、兵庫県の医療と介護の環境改善を求めて、イムとパートでは支払われる手当が異なる。(図参照)

兵庫県と交渉を行った。交渉では陽田龍県本部副委員長から「不採算部門を担う公的病院を存続させる方向で、県としても課題意識を持って、繰入金の実態などを見てもらいたい」と要請したほか、「17年に創設された介護職員の処遇改善加算が労働者の賃金に反映されているのか確認が必要」(配置に資格要件の無い看護補助職員が、安全に勤務するため、健康管理や医療安全に対する研修等が必要)「看護師の特定行為が、医師の負担軽減策になってしまわないような課題の認識



説明をする澤本事務局長 中央

「医療勤務環境改善支援センター」等の課題について意見交換を行った。

また、市立川西病院の指定管理者制度導入に関して、小児科入院数の延べ数などを提示し、川西市北部の地域医療確保問題を訴えた。

契約更新時に妊娠 雇い止めはマタハラ

2月7日 女性部対県交渉

女性部は2月7日、県市町振興課と交渉を行い、子育て支援やハラスメント対策の充実を求めた。



職場実態を訴えた

各種制度の条理化については、昨年度未実施自治体の内、妊婦の通勤緩和は3団体が改善、1カ月未満の育児休業取得者の期末勤続手当の取扱は全自治体が制度化したと報告があった。女性部は未実施団体の改善を引き続き行うよう求めた。

控訴人の請求を棄却する不当判決

小野裁判官争

2月7日、小野市非常勤職員の不当雇止め裁判闘争の判決が、大阪高裁で行われたが、控訴人の請求を棄却する不当判決となった。

事実認定および法律判断を誤った正義を顧みない不当判決であり、自治体の臨時・非常勤等職員の不安定な雇用や社会問題となっているハラスメント行為について全くと言っていいほど無理解であり到底認めることはできない。

県本部は、原告組合員とともに、今裁判闘争は終結するが、自治体で働く臨時・非常勤等職員の雇用安定と職場からのハラスメント行為の一層に向けて、引き続き、たたかいを続けることを確認した。

ZENROSAI NEWS
5116V089

防災&暮らしの総点検を

今こそ備える!!

火災

地震
台風・竜巻

病気のけが

損害賠償

さまざまなリスクに備えませんか？
まずは組合にご連絡ください。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済 自治労共済本部

全日本自治労連合会生活協同組合連合会
全日本自治労連合会生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない福祉の施設として経済活動を行い、組合員の生活の安定と心と体とを育むことを目指しています。出資金をお支払いいただいた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

総合共済

団体生命共済

長期共済

税制適格年金

親子共済

全労済の住みある共済

マイカー共済

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 16日 全国統一行動日
 18日 第13回県本部卓球大会
 (加西市勤労者体育センター)
 23日 組織化重点単組会議 (県本部会議室)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1516号

2018. 3. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

自治労の政策実現へ

岸まきこさんが兵庫入り

2月19・20日にかけて岸まきこさんが兵庫県入りし、各単組へ支持を訴えた。岸さんは「夕張の破たんや市町村合併を経験する中、自治体の役割とは何なのかを考えさせられたと同時に労使交渉では越えられない壁を痛感した。地方自治を守りたいのと思い、自治労の政策実現に向けてがんばりたい」と決意を述べた。県本部は昨年9月30日に開催した定期大会で、2019年に行われる第25回参議院全国比例区選挙に自治労組織内候補予定の「岸まきこ」さんを推薦決定した。岸さんは北海道本部出身で、2013年に本部の法対労安局長に就任して以降組織対策局長などを歴任し、現在特別執行委員として全国を駆けめぐっている。自治労では岸さんのキャッチフレーズを募集している。締め切りは5月16日まで。
<http://kishimakiko.com>



自治労の政策実現にむけ決意を述べる岸さん



芦屋のたたかいを構成詩で披露した

野義政委員長は、「法の谷間にある実態は解消されるが、1年雇用、勤務時間による格差といった問題は残る。均等待遇をめざして取り組もう」と述べた。臨職評の酒井議長は、「処遇改善には過半数以上の組織化が不可欠」と強調し、臨職評が先頭に立って取り組み決意を表明した。開会あいさつに立った大野義政委員長は、「法の谷間にある実態は解消されるが、1年雇用、勤務時間による格差といった問題は残る。均等待遇をめざして取り組もう」と述べた。臨職評の酒井議長は、「処遇改善には過半数以上の組織化が不可欠」と強調し、臨職評が先頭に立って取り組み決意を表明した。

県本部2018現業交流集会が2月23・24日にかけて淡路島津名ハイッで21単組67人の参加のもとで開催された。冒頭主催者を代表して、川面勉現評副議長は「現業

2020年4月に会計年度任用職員制度が実施されることを受け、県本部は2月17日、神戸市内で決起集会を開いた。臨職評の酒井美幸議長は、「日々の仕事に誇りを持ち、処遇改善を勝ち取る。組織化を進めよう」と決意を述べた。24単組、共闘団体から208人が参加。今年度中に制度設計を確認する必要があることから、18確定闘争を集約的に運動を積み上げようと思案統一した。

相原久美子参議院議員がかけつけ特別報告。「非正規の不当な実態を改善させるため、兵庫では子どもを抱えて座り込みなどを行ってきた。法改正は不十分な点もあるが、知恵を出し、運動を強め、課題を突破してほしい」と機を飛ばした。「芦屋非正規3単組のたたかい」と題して、当該労組とひょうごユニオンが構成詩を披露、続いて各地域ブロック臨職評が決意表明を行った。

臨職評
 酒井議長

日々の仕事に自信と誇りを

県本部決起集会

組織化進め処遇改善

2018現業交流集会

2018現業・公企闘争勝利に向けて 要求-交渉-妥結の闘争サイクル確立を

闘争で要求-交渉-妥結の闘争サイクル確立をしっかりと行っていたきたい。また、来年の参議院議員選挙では、自治労組織内候補予定の岸まきこさんを、しっかりと支援していきたいと思っている」とあいさつを行った後、県本部の小原王之副委員長から激励のあいさつを受けた。

スト権確立を宣言

兵庫は73・82%

自治労は2月26日の第2回拡大闘争委員会、スト批准率が74・80%、闘争指針を1年間のたたかいのスタートとして位置づけ、関係が大きく作用し、多くの労働者が今よりも労働に追われ、長時間、高密度の働き方を強いられることとなる。そして挙げ句は、健康も生命も労働者の「裁量」に委ねられることとなるのだ。



2018現業・公企闘争への意思統一を行った



このところ国会で激しい攻防のあった「裁量労働制」導入拡大は、厚労省データの意図的な不適切取り扱いに、憑性の指摘もあり、国会では法案から切り離されることとなった。もともと「高度プロフェッショナル制度」の拡大の姿勢は現時点でも崩しておらず、財界の意向に沿った「働かせ方改革」の姿勢は変わっていない。安倍首相は、「個々の労働者が自由に、自分に合った多様な働き方が可能になる」ということで、労働者のものさしが「時間」から「成果物」になれば、「成果物」に対する「評価」が問題になる。客観性は失われ、使用者と労働者の「力関係」が大きく作用し、多くの労働者が今よりも労働に追われ、長時間、高密度の働き方を強いられることとなる。そして挙げ句は、健康も生命も労働者の「裁量」に委ねられることとなるのだ。

いまいち座

高齢化時代の好例



吉田ノボ

県本部2018春闘討論集会

分科会の報告 ①

2月10日に開催した県本部春闘討論集会では4つの分科会で討論を行った。今回は「より良い地域医療に向けた春闘の取り組み」と「働き方改革とワークルールの考える」分科会を掲載する。

より良い地域医療にむけた春闘の取り組み



厳しい病院実態が出された

「経営改善のための在院日数短縮は、地域の患者数が決まっております。空床が発生するだけで、経営改善に結びついていない。また、医師確保のために導入された医療ロボットも、必要な機器が使い捨てであり、使うほど赤字になる。内部留保

金も減り、銀行からの借入金で運転資金を確保している。『整形外科医が不在という収益が下がり、内部留保はあるが単年度決算では赤字になっている』『赤字続きで内部留保がなく、市からの繰入金のみでやり繰りしている。透析や緩和ケアに力を入れているが、近隣市の病院に患者が流出している』等の実態が報告された。『結果的に阻止したが2年連続人権未実施が提案された』『交代の部署を3交代への提案や、人権の実施も厳しいと言われた等、経営悪化を理由に確定闘争が厳しくなっている状況や、福祉現場からは「気管

切開で人工呼吸器の重度障害を持った子どもなど、市内で預かるのは難しい。地元総合病院の支援強化してほしい」と報告された。県内では指定管理者制度の導入や民間譲渡など、経営形態の見直しも広がっていることを共有した。2018年度診療報酬改定では、7対1看護要件の厳格化や繰入金金の制限など、今以上に厳しくなる中、労働組合も、財政分析や病院在院率について考える必要があることを確認した。あわせて、病院現場で働く非正規労働者の組織化に向けて取り組むことを意思統一した。

「働き方改革とワークルールの考える」をテーマに議論を深めた。はじめに、座長の山下忠之原本部副委員長は、職場のワークルールとして労働法に触れ、さらに公務職場の現状を踏まえ36協定や休日の振替について問題提起をした。続いて、事前に各単組から集めたアンケートをもとに、勤務時間管理や振替、代休、36協定の締結状況について報告を受けた。出退勤の管理は、多くの職場でICカードやPCシ

ステムで行われており、振替代休の管理は個々の職員任せになっている実態などが出された。これらの報告を受け、課題解決に向けた具体的な取り組みとして、明石市の全職場での36協定の締結や、尼崎市職員の保育職場のサビシ残業の実態についてアンケートをもとに当局を追及する取り組みが報告された。分科会での参加者の感想としては「春闘交渉では、振替・代休の運用について当局を追及したい」「時間

また、音声読み上げソフトなどの就労支援機器の存在と確認方法についての周知徹底を要望した。毎年やり取りを行っている重度障害者のダブルカウント制については、自治体においては納付金制度がなく民間企業と同じとは言えないとして撤廃を求めた。更に法定雇用率にとどまらない雇用の推進や、採用における自力通勤の撤廃を強く要請し、採用後の定着支援については、徹底的に行っていくという回答を引き出した。最後に隅田龍県本部副委員長が、次年度以降の交渉継続や雇用・労働環境の整備、合理的配慮及び相互理解の認識を強く要望し、交渉を終えた。

残業の実態などを意見交換した

県本部公営企業評議会は2月16・17日に、ひょうご共済会館において、2018水道集會・下水道部会第21回交流会を開催した。冒頭、藤田直樹下水道部会長は「現実・公企職場は世の中の動きに非常に左右されやすい職場だと思っ

全休会終了後、下水道部会・下水道部会それぞれに分かれて参加者交流会を行い、各単組の共通課題は人員

水道部会では、事前のアンケートを活用し職場での悩みや課題を共有し、模擬労働委員会を行った。下水道部会では事前アンケートを基に、各単組の取り組みや現状報告を行い、現業公企闘争を軸に要求書を作成し交渉を行っている報告がされたが、人員の確保が困難で業務に見合った適正な配置ができていないことが現状の問題点とする

の確保で、人員不足によって業務だけでなく組合活動にも影響を及ぼしていることが報告によって明らかになった。



講演を聞く参加者

非正規雇用の実態把握で一步前進

労働局から努力するとの回答引き出す

障勞評交渉



前向きな回答を引き出した

県本部障害労働者評議会は、2月20日に、昨年11月に提出した「障害者雇用の推進にむけた要求書」に対する回答に基づき、兵庫労働局と交渉を行った。労働局との主要なやり取りとしては、非正規雇用の現状に関して、実態把握は難しいものの、各自自治体に出向いた際に話の中で確認し、実態を明らかにしていくよう努力したいと回答を引き出した。また、音声読み上げソフトなどの就労支援機器の存在と確認方法についての周知徹底を要望した。毎年やり取りを行っている重度障害者のダブルカウント制については、自治体においては納付金制度がなく民間企業と同じとは言えないとして撤廃を求めた。更に法定雇用率にとどまらない雇用の推進や、採用における自力通勤の撤廃を強く要請し、採用後の定着支援については、徹底的に行っていくという回答を引き出した。最後に隅田龍県本部副委員長が、次年度以降の交渉継続や雇用・労働環境の整備、合理的配慮及び相互理解の認識を強く要望し、交渉を終えた。

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。



団体生命共済

団体定期生命共済

そりゃ思い切って遊べるよね！
なにして、じろろの団体生命共済なら
入院がなくても、けがなら通院5日以上で
1日目から保障の対象になるんだもん。
マサカのときはまかせなさい！ だけど...
だからと言って、無茶はダメ！

*けがで入院を伴う通院は、1日目から保障対象になります。



全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 7日 連合兵庫「2018地域フォーラム in 兵庫」
(ホテルクラウンパレス神戸)
- 7日 連合兵庫青年委員会2018春季学習会
(連合兵庫)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1517号

2018. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

岸 まきこ後援会

「岸 まきこ」の キャッチフレーズ 募集します!

●応募資格: どなたでも応募できます。
●応募方法: 岸まきこ後援会ホームページの専用フォームから送信するか、[お名前][所属・職種名][電話番号][キャッチフレーズ]を記入の上、FAXしてください。
●締め切り: 2018年5月16日(日)まで
※応募資格は「岸 まきこ」の政治活動以外の目的には使用しません。

岸 まきこ 後援会ホームページ <http://kishimakiko.com/> 専用FAX 03-3230-2083

県本部は3月13日に井戸敏三兵庫県知事、14日には兵庫県人事委員会の太田和成委員長に申し入れ書を提出し、2018春闘交渉を実施した。

井戸知事へは、地域間格差を縮めるためにも国準拠から県準拠となるよう知事のリーダーシップを発揮するよう要請。太田委員長へは賃金水準引き上げに向けて最大限の努力を払うよう申し入れを行った。

また、14日には知事申し入れを踏まえ、県市町振興課交渉を実施し、格差解消のためには最低ラス100は維持する必要があることから、大きく下回っている。法(趣旨)の趣旨(処遇の改善)を改めて助言してほしい」と要請したのに対し、

団体への助言を求めたが、市町振興課は100とする事の助言への明言を避けた。交渉の重点課題である会計年度任用職員について県本部は「今回の法改定は処遇の改善が前提であるにもかかわらず、会計年度任用職員導入を機会にフルからパートに任用を変えようとしている自治体も出てきている。法の趣旨(処遇の改善)を改めて助言してほしい」と要請したのに対し、

「各市町の状況を把握し、再度趣旨を周知したい。その上で不適切な事例があれば職員団体とさつちり協議するように助言する」と回答を受けるとともに、今後、会計年度任用職員の課題に特化した協議をする事も確認した。



井戸兵庫県知事(左)と太田兵庫県人事委員会委員長(右)に申し入れ書を提出。市町振興課交渉(下)で、適切な助言を求めた。

県市町振興課交渉

不適切な事例へは助言する

会計年度に特化した協議も確認

連合兵庫
決起集会

格差是正をめざす

連合兵庫は3月3日、メリケンパークで約2500人の組合員が結集し、2018春季生活闘争政策、制度要求実現総決起集会を開催した。

連合兵庫の辻芳治会長は「非正規労働者の処遇改善による格差是正、健康で働

き続けられるための働き方改革をめざし、3月14日をヤマ場として、底上げを図っていく」と主催者を代表してあいさつを述べた。

集会では、今春闘の情勢が報告され、立憲民主党の桜井周衆議院議員から国政報告と激励あいさつを受けた。

け、春闘における男女平等参画課題と女性の権利確立をめざした「38国際女性デーアピール」を提案。さらに、「重点政策実現に向けたアピール」と「春季生活闘争政策制度要求実現アピール」を採択し、大丸前までデモ行進を行った。



自治労からは約250人が結集

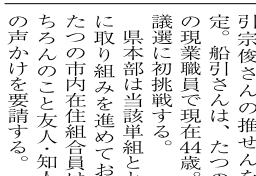
なお、前段には連合兵庫官公部門連絡会集合同開催され、それぞれのスローガン決議を採択し闘争勝利へ向けて意思固めを行った。

職場の声を町村評へ 「地方財政確立」国会請願デモ

全国町村職評議会は2月23日、春闘期の総決起集会を東京よみうりホールで開催。全国から700人、兵庫からも8人が参加した。

開会にあたって山本紀彦議長は、「昨日の総務省交渉では、職場実態を聞かせてもらいたい」と要請があった。町村評に職場実態を寄せてもらいたい。予算確保では、地方自治法99条に基づく意見書を全国で取り組もう」と述べた。

集会後は国会請願デモを行い、「地方財政の確立」などを訴えた。



岸まきこさんから激励を受ける

県本部は3月5日の執行委員会、4月15日告示、22日開票で実施される、たつの市議会議員選挙に、新人でたつの市職組組合員の船引宗俊さんの推せんを決定。船引さんは、たつの市の現業職員で現在44歳。市議選に初挑戦する。

県本部は当該組とともに取り組みを進めており、たつの市内在住組合員はもろろのこと友人・知人への声かけを要請する。

みんなで夢を応援 自治労カップ開幕

大会協賛のお願い

県本部が青少年育成事業として取り組む、野球大会「自治労カップ」が、5月3日尼崎市・ベイコム野球場で開幕。予選を勝ち抜いたチームが、激戦をくりひろげる。子どもたちの夢を応援し、それぞれ地元チームへ熱い支援と大会協賛をお願いします。

いまいち座



松本 真紀子

県本部2018春闘討論集会

分科会の報告 ②

2月10日に開催した県本部春闘討論集会では4つの分科会で討論を行った。残りの「地方財政の確立と地方公務員の賃金を考える」と「会計年度任用職員制度導入に向けた組織拡大を考える」分科会を掲載する。

地方財政の確立と地方公務員の賃金を考える



格差是正を求めて議論を深めた

2017賃金確定闘争を振り返りながら「地方財政の確立と地方公務員の賃金を考える」をテーマに13人が参加した。

服部圭司県本部副委員長から、「公務員賃金の状況」について、50年ぶりに制度改正された2006年の給与構造改革及び2015年の給与制度の総合的見直しにより、人事委員会を有しない地方での給与水準の確保・底上げは困難な状況。地域手当の支給地域と無支給地域での自治体間格差や国家公務員のみ支給されている本府省業務調整手当及び広域異動手当の拡充に伴う国と地方の格差、給与カーブのフラット化による若年層と高齢者間格差など、格差拡大傾向にある状況が説明された。

また、「地方財政の確立」については、地方財政計画の根幹をなす地方交付税において「トップランナー方式」の導入により、合理化が進んだ経費水準を基準に算定基礎が見積もられようとしており、財政保障機能の原理原則論との矛盾が顕著化している。特に人件費では、民間との同一職種での比較をするなど、現業職員やこれに準ずる職員を焦点化を誘導するものであることとは明らかであることから、政府・国会対策の強化、単組交渉でのように対峙していくことが重要であると締めくくった。

11単組30人が参加し、各単組の現状報告や今後の取り組み方針を議論した。兵庫では現在2500人の非正規組合員が結集している。20年4月から会計年度任用職員制度が施行されるため、非正規の組織化が重要課題となっている。今回の参加単組ではすでに組織化に向けて学習会を開催した単組もあれば、組織化の議論がされていない単組もあり、取り組みの温度差が浮き彫りとなった。

参加者からは「正規の組織率は低下している現状で戦争させない、9条壊すな!」

5.3 兵庫憲法集会

5月3日(木・祝)

14時開会

神戸・東遊園地

ゲスト

講談師 神田香織

全単組から参加しよう



法改正を機に組織化をめざす

長は「非正規の組織化に向けて残された時間は多くない。制度改正を機会に非正規の仲間を増やしてほしい。不安定な職場の同僚を安定した労働条件にするためにも、組合として積極的に組織化を進めてほしい」と述べ、分科会を終了した。



医療を巡る情勢を確認し、職場実態を交流した

県本部衛生医療評議会は3月2日に、ひょうご共済会館で病院集会所を開催し、県内各病院から74人の組合員が参加した。

藤田勝也衛生医療評議長は「医療現場は過酷な労働環境にあり、離職率も高い。定年まで安心して働ける職場づくりをめざそう」とあいさつを行った。

その後、自治労本部衛生医療評議会の福井淳事務局長からは、「最近の衛生医療評議会を巡る情勢」と題して講演を受け、本部衛生医療評議会主催の連続講座の報告と、たつの市民病院の運営形態変更の動きに対する取り組みについて報告がされた。

分散会は①超勤・当直・拘束に対する意見交換②病院財政分析③運営形態変更に対する取り組みについて行った。参加者からは「地域医療構想の理解が深まった」「他の職場実態が聞けて良かった」等の感想が出され、学習と交流を深めた。

いさつ、本部都市交評評議会は、2018春闘学習会を3月3日に開催し、主催者を代表し五百旗頭英裕議長は、「くらしを支える地域公共交通キャンペーンの基本的な考え方や到達目標などを学び、今後の県本部の取り組みに生かそう」とあいさつした。

減案を合意したものの、08年度から新採職員の賃金20%削減を18年4月から10%還元とともに、全職種での新規採用再開を勝ち取れた報告がされた。

病院集会

地域医療構想の理解深める

安心して働ける職場づくりを

キャンペーンに向けて意思統一
神戸交通で新規採用再開

都市公評

じちろうマイカー共済は「標準型」から

自動車総合補償共済

じちろう共済
Jichirokyosai

自治労共済生協組合員用のおトクな掛金で提供中

特約や割引、車両損害補償の組み合わせでニーズに応えます



ココがポイント!
●長期間、無事故の優良ドライバーに有利!
最大22等級 .64%割引
●割安な職域掛金と15%の団体割引
●24時間365日安心のサポート体制

※2019年1月までの団体割引率を記載しています。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください

全労協 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合

ご契約にあたっては「じちろうマイカー共済パンフレット」をご覧ください。
全労協は、営利を目的としない協会の組織として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員にすれば、各種共済をご利用いただけます。

ZENROSAI NEWS

5117A308

団体割引
15%

全労協自治労共済本部資料より引用

岸 まきこ後援会

「岸 まきこ」の キャッチフレーズ 募集します!

●応募資格: どなたでも応募できます。
●応募方法: 岸まきこ後援会ホームページの専用フォームから送信するか、[お名前] [所属・年齢] [電話番号] [キャッチフレーズ]を記入の上、FAXしてください。
●締め切り: 2018年5月16日(日)まで
※応募資格は「岸 まきこ」の政治活動以外の目的には使用しません。

岸 まきこ 後援会ホームページ 専用FAX
http://kishimakiko.com/ 03-3230-2083

神戸市職労が2連覇

県本部 第13回卓球大会



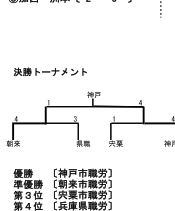
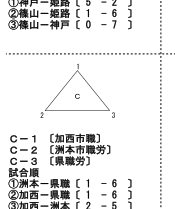
熱戦を繰り広げた決勝戦の様子

チームの若返りはかり、総合力アップ

県本部第13回卓球大会が3月18日、加西市勤労者体育センターで開かれ、神戸市職労が2連覇を果たした。山本昌広監督は「チームの若返りを課題にしてき

たが、去年と比べ男女ともに若手が1人増えた。総合力を引き上げることができた」と勝因を分析した。大会にはブロック予選を勝ち抜いた12チームが出場。A〜Dまでの4リーグで予選を行い、勝ち抜いた県職労、神戸市職労、宍粟市職労、朝来市職労で決勝トーナメントをたたかった。

7試合中4試合を先取した時点で勝ちとなるルールでたたかれ、神戸は昨年準優勝の宍粟を4-1で、朝来は県職労を4-1でそれぞれ破り、決勝戦へ駒を進めた。高階智恵監督は、「悔しさが残る。ミスを少なくすることが課題」と振り返った。



県本部公共サービス市民労組協議会は、3月21日に「介護」をテーマに春闘学習会を開催した。学習会では、「高齢社会をよくする女性の会大阪」の植本真砂子さんを講師に迎え、「介護をめぐる情勢どうなる?」という地域「のくらし」として講演を受けた。

植本さんは、家族形態の変遷、介護難民、介護離職、介護離職等の状況を多角的に解説し、新年度施行の改正介護保険法の課題と議論経過の論点について指摘し、

度の詳細についての質問や、運動課題などについて意見交換を行い、福祉系単組に加え、他業種も参加した学習会は、「介護」を社会問題として共有する取り組みとなった。

調整率は国どおり実施日は4月1日
退職手当

17年12月15日に国家公務員の退職手当に関する条例の一部改正され、18年1月1日より、現行の調整率が100分の87から100分の83.7へ引き下げられた。これを受け兵庫県内でも交渉が実施され、県職労が17年12月11日、19市12町で構成する退職手当組が18年2月15日、神戸市労連が18年2月15日、調整率を国同様に引き下げるものを実施時期は国と異なり18年4月1日とし、県内その他団体においても同様に調整した。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部 全日本自治労労働者共済生活協同組合

ご不明な点が
あれば、
まずは組合に
ご連絡
ください。

総合共済 団体生命共済 長期共済 税制適格年金 親子共済 全労済の住まい共済 マイカー共済

がんばる
あなたの
新生活を
応援します

在職中の保障に加えて
積み立て型の共済もあります

ZENROSAI NEWS
5114V352

※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

保障のことなら
全労済

全労済は、定利を目的とした保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とよりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済の住まい共済 マイカー共済

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1519号

2018. 5. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 1～2日 県本部書記会議研修会
(北野プラザ六甲荘)
2日 県本部平和・人権・環境を考える集い
(神戸市勤労会館)
10日 県本部保育を考えるつどい
(生田文化会館ほか)
16日、20日 県本部野球大会 (淡路市内野球場)

県本部ナースアクション

日時 5月27日(日)
14:00～16:30
場所 神戸市「兵庫県私学会館」
※15時から街頭行動(ティッシュ配布)
街頭行動は雨天決行

平和・人権・環境を考える集い

日時 6月2日(土)
13:30～17:00
場所 「神戸市勤労会館」
講演 対話を通して共生社会へ
～差別解消法を生かすために～
講師 松波めぐみさん
(大阪市立大学)
講演後は分科会を行います

県本部保育を考えるつどい

日時 6月10日(日)
10:00～16:00
場所 神戸市「生田文化会館」
講演 発達障害の子ども達の基礎理解と
具体的な関わり方
講師 竹田契一さん
(大阪医科大学 LD センター顧問)
午後からは3会場で分科会を行います

人員確保・男女平等 夏期一時金闘争

現業・公企闘争の第1次交渉ゾーンに位置づけ

業務量に見合った人員配置を

県本部は、人員確保・男女平等産別統一闘争について6月2日に1時間ストを、夏期一時金闘争は、6月9日に29分時間内食い込み集会を配置する。各単組は要求交渉・妥結の闘争サイクルの確立に向け取り組みをすすめる。

「正規職員数の現状」
地方公務員の総数は22年連続して減少しているが、一般行政部門では15年から増加に転じ、現業部門においては直営職場で新規採用が再開されつつあるが全体数は減少が続いている。

「非正規職員の正規化」
自治体ではこの間、正規職員が削減される一方で、非正規職員への置き換えが進められてきたが、20年施行の地公法改正を好機と捉え、改めて臨時・非常勤等職員の配置状況・業務内容を点検し、正規職員が行うべき業務についている職員

の正規化をめざす。

「定年退職者の雇用確保」
政府が公務員の定年を65歳までに引き上げるための検討を開始したことから、公務労働と連携し、定年延長の早期実現を求める。なお、定年延長実現までの間は、フルタイムを基本とし、再任用制度を確立し、再任用を希望する定年退職者全員の雇用確保を求める。

「障害者雇用の達成」
18年4月から障害者雇用促進法に基づく法定雇用率が、地方自治体で2.5%、民間で2.2%に引き上げられており、障害者雇用率の

把握とその達成に取り組む。

「男女平等統一闘争」
自治労は、男女平等課題を自治労運動すべてに関わる課題と捉え、人員確保闘争とあわせて「雇用主要要求による男女平等の実現」「地方・国への政策要求による男女平等の法制度・社会環境の整備」「労働組合における男女平等参画」の実現をめざす。

「現業・公企闘争第1次交渉ゾーンとしての取り組み」
県本部は本年から人員確保・男女平等統一闘争の第1波として位置づけており、現業・公企評議

人員確保・男女平等 産別統一行動日程

5月15日(火) 要求書提出
5月25日(金) 回答指定日
5月25日(金)～31日(木) 統一闘争強化期間
5月31日(木) 統一交渉日
6月1日(金) 統一行動日
(1hスト)

夏期一時金闘争日程

5月23日(水) 要求書提出
5月30日(水) 回答指定日
5月30日(水)～6月7日(木) 交渉ゾーン
6月8日(金) 統一行動日
(早朝29分時間内集会)

働く者のための 働き方改革をすすめよう

第89回メーデー

4月28日、第89回兵庫県メーデー神戸中央大会が「平和と人権を守り、あらゆる差別をなくそう」働く者のた

め働き方改革をすすめるための仲間と結果しよう」をスローガンに、神戸市の

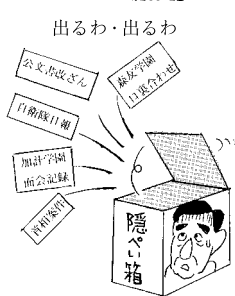
大倉山公園野球場で8千人



8千人が大倉山公園野球場に結集した

いまいち座

出るわ・出るわ



大西 英剛

が結果し開催された。辻労実行委員長の主催者あいさつに続き井戸敏三兵庫県知事・久元喜造神戸市長、政界からは立憲民主党の桜井周衆議院議員からあいさつを受け、メーデー宣言採択後、東西2コースに分かれデモ行進した。

を改革することである(誠)

「岸 まきこ」とともに

自治労の政策要求を
実現しよう!

「岸 まきこ後援会」
会員募集中!

しこ

「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は喜劇として。」5月5日は、この名言で有名なカール・マルクスの生誕200年。マルクスは、資本主義のメカニズムを分析し、「資本主義経済における競争の中で、資本家のもとには資本が蓄積され、一方で失業者は増え、失業者には窮乏が蓄積される」とした。2016年度の日本の企業内部留保は、406兆円と過去最高を更新した。その一方で貧困率は15%を推移し、生活保護受給者数200万人を超えた。格差は拡大し続けている。マルクスの共産主義理論に共鳴し、多くの社会主義国家が成立したが、理想の社会をめざしたはずのソ連をはじめとする社会主義国家は崩壊していった。社会主義は問われている。マルクスの分析は今も生きている。哲学者は、世界をいろいろ解釈しただけである。大事なことはそれを変革することである(誠)

自治労カップ少年野球大会

総勢100チームが熱戦 29単組、6団体が協賛

県本部結成60周年記念事業として今年で5回目をむかえる自治労カップ少年野球大会が5月3〜5日、尼崎市で開催された。開会式には、県内予選を勝ち抜いた総勢100チーム2千人が市立尼崎高校吹奏楽部の演奏で入場行進。観客席には、あふれんばかりの3千人が詰めかけた。また、運営する兵庫県軟式野球連盟審判団には、自治労組合員や役員OBの姿もあった。5日の決勝戦は、少年野



入場行進の様子。自治労カップを手渡す尾西書記長。

球大会は、神戸代表・兵庫中学校が、三木代表・自由が丘中学校を2対1で破り優勝。学童軟式野球大会4年生以下は、神戸代表本



集会参加者全員でプラカードを掲げた

憲法記念日の5月3日、主権者を代表してあいさつに立った羽柴修弁護士（弁護士9条の会）は、安

立憲主義無視、政治の私物化

安倍政権が秘密保護法や安保関連法といった法律を立憲主義、民主主義を無視して進めてきた経過にふれ、今

安倍政権を退陣へ

5・3兵庫憲法集会

里山環境保全活動 約4時間、伐採作業 阪淡ブロック水道部会

3月24日、宝塚市武田尾で阪神淡路ブロック水道部会の里山環境保全活動を行い、部会幹事など15人が参加した。



間、伐採や植栽など、3班に分かれて行い、里山と水環境の関係を再認識した。

3月17日、家族も含め4単組9人が参加し、阪神淡路ブロックの初企画「ブロック武庫川ハイイク」を開催した。



西宮名塩から武田尾まで歩いた

武田尾ハイキング 阪淡ブロック 家族参加で初企画



西宮名塩から武田尾まで歩いた

県本部 政策実現会議

トップランナー方式に財政効果なし 各級議員が意見交換

会計年度任用職員制度、地方財政の充実に向けた意見書の採択など、県本部の政策実現会議を4月19日、ラッセホールで開催。県本部推薦の県議や神戸市議など各級議員ら27人が参加し意見交換を行った。

奈良女子大学名誉教授、澤井勝さんが講演で、地方交付税制度の概要と目的について解説。過去10年間の地方財政計画の推移にふれ、人件費10ポイント減は、正規職員の削減と、行政需要拡大による非正規職員の増加が要因とした。

任期満了に伴う、たつの市議会議員選挙が4月15日に告示され、定数22人に対し28人が立候補した。

任期満了に伴う、たつの市議会議員選挙が4月15日に告示され、定数22人に対し28人が立候補した。

特別な条例がない限り
禁錮刑以上で公務員は自動的に失職

交通事故で執行猶予が付いた場合も同じです。
失職となれば日々の収入はなくなり、退職金も受け取れない可能性があります。

じろうマイカー共済は
起訴前の弁護士費用を支払う特約を
在職者に標準付帯

見積もり依頼受付中 組合経由の申し込みで 団体割引 掛金15%OFF

※2019年1月までの団体割引率を記載しています。

ZENROSAINNEWS
5117A342

じろう
マイカー共済

自動車総合補償共済

ご不明な点があれば、
まずは組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。お資金をお支いいたたい組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ご契約にあたっては、パンフレットをご覧ください。

自治ひろこ

1520号

2018. 6. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎 編集人／秦 信昭

当面の日程

- 8日 夏期一時金統一行動日
10日 県本部保育を考えるつどい(生田文化会館ほか)
16日、20日 県本部野球大会(淡路市内)
22日 県本部中央委員会(県民会館)
23日 県本部女子バレーボール大会(宍粟市内)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

職場の声で改善へ

人員確保闘争に向け意思統一

反行革・組織集会

県本部は反行革・組織集会を5月11・12日にかけて加西市内で開催。当面する人員確保闘争の意思統一や組織の活性化について議論を深めた。



当面する課題の前進にむけ意思統一を行った

講演要旨 困ったときは組合に相談 良い職場をみんなで作ろう

「組織の活性化と強化に向けて」ということだが、自治労は単組の集合体、単組が元気になるように県本部、本部が活性化することはない。

組合員が何かあったとき、まずは「組合に相談しよう」と思える単組づくりが必要である。そのためには組合員の相談窓口を設けたり、労安活動を丁寧にするなど



鬼木誠総合公共民間局長

「組織の活性化と強化に向けて」ということだが、自治労は単組の集合体、単組が元気になるように県本部、本部が活性化することはない。また賃金も重要だが、最近業務内容や人員不足改善を求める声が強い。そう

した実態を把握し、自分たちの要求を全体で取り組むことで組織が活性化される。私が所属する福岡県職労では、「働く者を抜きに職場のルールを決めない」ということで職場協定書を結んできた。

革新知事のもと労使関係が安定していた時期、協定書に甘えて日常活動をおろそかにしたことがあった。知事選挙で敗れた結果、職場協定は一方的に破棄され、「良好」だった管理職との関係も一気に崩れた。

職員がいきいきと働くためには緊張感のある労使関係が必要。「労使対等」という管理職は職制であり、力関係が崩れると職場の民主主義を壊しかねない。日常的な組合活動の中で、労使対等は保てる。

組合の組織活動は幅広く、少数では運営できない。組合員だけが苦勞するのではなく、みんながよい職場をつくる運動を追求しよう。



いまいち座

私も二刀流です...



おやすみ漫

5年間のたたかいに終止符 退職前に処分取り消し

高砂不当処分撤回闘争

高砂市職員の不当処分撤回闘争は公平委員会の取消裁決を受け勝利した。

支援した5年間の取り組みでは、決起集会や公平委員会審査傍聴支援など様々なことを行ってきたが、3月14日に2度目の取消裁決、同日19日に市長から元委員長に面談での謝罪を受けて闘争を終結した。

5月8日に県本部、播磨ブロックも同席した闘争総括会議が開かれ、元委員長は「主張が認められ、退職前に処分取り消しと謝罪を受けられてホッとした」と安堵の表情を浮かべた。

取消は、手続き瑕疵の一点で判断されたが「ストの懲戒基準の定めも過去30年間処分例がない。公平かつ平等の観点から慎重かつ十分な審議必要」「前回

も指摘したが、今回も行わず瑕疵は甚だ重大」と要件を欠いて違法と判断された。スト行為のみで処分を判断したこと否定的見解が出たことは評価できる。発端は13年の特例措置での国公給与平均7.8%削減を国が地方にも要請し、高砂市が独自に基本給一律7.5%カットを提案。組合の譲歩姿勢に、歩み寄る姿勢もなく6月議会強行提案を決めた当局へ抗議ストを行なったことによる。

闘争の目的は、一個人の処分撤回に留まらず、何より組織で決定したストに対し一個人への不当な処分を甘受すれば、今後の戦術配置に大きな障壁となる懸念の

退職前に処分取り消し

総括会議の様子

「県の信頼を損ねる発言があり非常に残念」。愛媛県の中村時広知事は、「加計学園」問題めぐり5月10日の参事会招致での柳瀬元首相秘書官の発言を受けてこう述べた。柳瀬氏は当初、加計学園関係者と面会したかどうか「記憶はない」としていたが、その後に愛媛県から出された面会記録に耐えかねて、一転、面会を認めたかたちだ。しかし、愛媛県や今治市の職員と会った認識はないと重ねて説明した。県職員は子どもの使えない」との中村知事の発言は、真実を語ろうとしない柳瀬氏や安倍首相に対する憤りであろう。愛媛県は「3年前の2月末、加計理事長が安倍総理大臣と面談し、獣医学部の構想を説明した」となどを記載されている新たな文書を国会に提出した。「うそは他人を巻き込むことになる」と中村知事の頑張りからエールを送りたい。

「労働時間を考える」「人員確保闘争に向けて」「臨時・非常勤等職員の組織化と処遇改善」の3つで分科会を行った。

第28期労働学校受講生募集

単組新役員や青年部役員、労働組合の基礎を学びたい組合員を対象に、第28期労働学校を下記の日程で1日開催します。参加希望の方は組合書記局を通じてお申し込みください。

日時 7月6日(金) 10時30分～17時
場所 ひょうご経済会館 5階「つつじ」
参加費 1人2,000円 (昼食代1,000円、夕食懇親会費1,000円)
講義①「ここが変だよ職場の常識」
講義②「私たちと政治」
講義③「支出を抑えてゆとりある生活を(共済のメリット)」



「県の信頼を損ねる発言があり非常に残念」。愛媛県の中村時広知事は、「加計学園」問題めぐり5月10日の参事会招致での柳瀬元首相秘書官の発言を受けてこう述べた。柳瀬氏は当初、加計学園関係者と面会したかどうか「記憶はない」としていたが、その後に愛媛県から出された面会記録に耐えかねて、一転、面会を認めたかたちだ。しかし、愛媛県や今治市の職員と会った認識はないと重ねて説明した。県職員は子どもの使えない」との中村知事の発言は、真実を語ろうとしない柳瀬氏や安倍首相に対する憤りであろう。愛媛県は「3年前の2月末、加計理事長が安倍総理大臣と面談し、獣医学部の構想を説明した」となどを記載されている新たな文書を国会に提出した。「うそは他人を巻き込むことになる」と中村知事の頑張りからエールを送りたい。

第25回参議院全国比例区選挙
自治労組織内候補予定者

「岸 まきこ」



とともに **格差のない
持続可能な社会を
実現しよう!**

岸 まきこ(岸 真紀子)プロフィール

1976年北海道岩見沢市(旧東沢町)生まれ。94年北海道岩見沢緑陵高等学校商業科卒業後、岩見沢町役場入職(現岩見沢市)。2004年自治労北海道空知地方本部女性部長、07年同書記次長、10年同副執行委員長、11年同書記長。2013年自治労中央本部対労安局長、15年同組織対策局長。現在、自治労特別中央執行委員(組織対策担当)。

2日間、ガッツリ交流

第2回青年女性 大交流会やぶ ゲームやバンドを楽しむ



13単組72人が2日間の交流で親睦を深めた

5月19、20日に第2回ひょうご青年女性大交流会をあのべ自然学校(養父市大屋町)で実施、72人が参加した。

初日は安井智士青年部長のあいさつを皮切りに、参加者はアイスブレイクをし

ながらお互いの距離を縮めていった。その後のウォークラリーでは、クイズやゲームの点数を競いながら3キロを超えるコースを歩き、全員無事にゴール。上位3チームには「当地スイーツや地酒がプレゼントされた。夕食では季節外れの寒波に見舞われBQで暖を取

まが集団は5月12日、第31回例会を開催した。裾野を広げる取り組みとして、今年も県本部まが

生活感溢れるまんが「いまいち座」描き手で座談会

まんが集団例会



過去の作品の思いを説明した

コンクールを開催することを確認。テーマは「スポー」ツ」と(似顔絵(大野委員長、岸まきこさん)。

また今年には自治労本部のまんがコンクールが「路みち」をテーマに実施されることから、その呼びかけも確認した。

後半は、自治ひょうご「いまいち座」に1コマまんがを描いているメンバーで座談会を実施。大植賢代表が

進行を努め、松本真紀子さん、吉田ノボさん、おやすみ漫さんとやりとりした。「テーマは何ですか」との問いに、大植さんは「職場での自分の姿」、松本さんは「挑戦」、おやすみ漫さんは「日常の生活から溢れるもの」、吉田ノボさんは「自治労のまんが集団という意識が強い」と話した。

自治ひょうごに掲載したカットの振り返りも行い、作成者が背景や思いを説明。細かなこだわりもあり、「そういうところ」との声もあがった。

会計年度任用職員制度

非正規の組織化を

自治ひょうご3月1日号で、会計年度任用職員制度が20年4月に制度化されることを掲載した。

県本部が昨年6月に実施した調査では、兵庫県内各自治体には現在約2万人の臨時・非常勤等職員が働いており、そのうち自治労組合員として組織化されてい

るのは1割程度の約2300人となっているのが現状だ。今回の制度改正は、非正規職員の処遇を改善させるためのものであり、最低でも現行の労働条件を基本に、今年度中には勤務労働条件について交渉を行い、労使合意を進めて行か

なければならない。各単組では、臨時・非常勤等職員に、移行時が一番雇用や処遇が不安定になることを伝え、未加入者への組合加入を要請し、組織化を行うとともに、当事者の意見交換やアンケートなどを実施し、要求書に反映させよう。

無投票で三選 任期満了に伴う、稲美町長選挙が5月8日に告示され、県本部は現職で組織内の古谷博さんを執行委員会に推せんを決定。

今回の選挙へは古谷さん以外の立候補はなく、無投票で三選を果たした。

訂正とお詫び
自治ひょうご1519号1面リード部分と発行日の記載に誤りがありました。
【誤】県本部は、人員確保・男女平等差別統一闘争について6月2日に11時間ストを、夏季一時金闘争は、6月9日に29分……
【正】県本部は、人員確保・男女平等差別統一闘争について6月1日に11時間ストを、夏季一時金闘争は、6月8日に29分……
【誤】2018.6.1 ⇒ 【正】2018.5.15

新入組合員の皆さん

ただ今 **申し込み受付中**です!

社会人としての備えの第一歩は**団体生命共済**から。
組合員だから利用できる**生命と医療の保障**です。

長期共済 積み立て型の長期共済もあります。

団体生命共済

団体定期生命共済

手続きは組合で
新入組合員の方は
継続募集期間外でも
申し込みます。

全労済 自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

全労済は、恩恵を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と喜びを暮らしに提供しています。出資金をお支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 16、20日 県本部野球大会（淡路市）
- 22日 県本部中央委員会（県民会館）
- 23日 県本部女子バレーボール大会（宍粟市）
- 26日 県本部労働安全衛生集会（ひょうご共済会館）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1521号

2018. 6. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭



今日は障害者差別解消法ができた背景と、合理的配慮とは何かについて講演をしたい。

講演要旨

対話を通して共生社会へ （差別解消法を生かすために）

大阪府立大学 ほか非常勤講師 松波めぐみ

16年7月に相模原市の入所施設で46人が殺傷された。この事件は世間一般では事件の分りにくさから風化している。
「障害者不幸をつくりだす」という容疑者の偏った考えは、何ら珍しいものではない。家族に責任を押しつけ、地域から排除してきた私たちのあり方を見直し

ていかなければならない。また、今年1月末に知的障害のある女性が本人の同意なしに35年前に強制不妊手術を受けたとして、国を相手に裁判を起こした。この問題には究極の人権侵害でもあるにもかかわらず、世間の反応は鈍く、私たちの人権意識が問われている。国連条約に基づき、日本では16年4月に差別解消法を施行。障害のある人は保護するという考えから権利の主体へと変わった。障害

があるから仕方ないで片づけられていた社会のあり方こそが問題であり、障害者の意見を取り入れ、障害者の社会モデルが定着した。合理的配慮とは、障害のある人が社会生活で困った時に、「こうしてほしい」と意思表明することをきっかけに、環境の調整をすること。そして自治体職員、合理的配慮について、一人ひとりと対話し、対話の中で妥協点を見つける努力をお願いしたい。



あいさつをする川本委員長

問題・参議院選挙「岸まきこ」勝利の取り組みなど当面する課題へ決意を述べた。
経過報告では、公立病院のたかひいや豪雪被害による財源不足での人件費削減反対の取り組みなど14県本部が発言。議案では、会計年度任用職員制度での組織化の取り組みと処遇改善の財源を中心に、参議院必勝に向けた政治課題、36協定など長時間労働削減など幅



吉田ノボ

当事者との対話が重要

平和・人権 障害者差別解消法を学ぶ 環境の集い



今回の集いでは手話通訳も取り入れた

「人権」をメインテーマに6月2日、県本部は第21回平和と人権環境を考える集いを神戸市勤労会館で開き、共闘団体を含む103人が参加した。記念講演は松波めぐみさん（大阪府立大学講師）から、障害者差別解消法成立の背景や地域の課題について学んだ。
開会あいさつで大野義政委員長は、「開会セクハラ事件。さらに大臣が『はめられた』と発言。国の中枢を担う者の対応ではない」と人権感覚が崩れている日本社会の状況に触れた。記念講演で松波さんは、差別解消法成立（13年）の背景として、国連の障害者

これを受けた差別解消法では、①不当な差別的取り扱い②合理的配慮を提供しないことを禁止しており、「重要なのは対話。当事者抜きに勝手な判断をすることは禁物」と強調した。
講演後は、「差別解消法の具体化に向けて」「対日外国人・難民のこころの支援」「福祉体験事業」の3つに分かれ議論を深めた。（分科会内容は次号に掲載）

岸まきこの勝利へ 当面の闘争方針確認

本部中央委員会

自治労本部第155回中央委員会が5月24・25日、東京で開催され、当面の闘争方針や参議院選挙闘争推進など5つの議案は賛成多数で承認された。

第28期労働学校受講生募集

単組新役員や青年部役員、労働組合の基礎を学びたい組合員を対象に、第28期労働学校を下記の日程で1日開催します。参加希望の方は組合書記局を通じて申し込みください。

- 日時 7月6日(金) 10時30分～17時
- 場所 ひょうご共済会館 5階「つつじ」
- 参加費 1人2,000円
(昼食代1,000円、夕食懇親会費1,000円)
- 講義① 「ここが変だよ職場の常識」
- 講義② 「私たちと政治」
- 講義③ 「支出を抑えてゆとりある生活を共済のメリット」

広い課題に30県本部が発言した。

岸まきこ

格差のない
持続可能な社会を
実現しよう!

自民党は、第25回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」さん（現職中央執行委員・総務対策部長）の擁立を決定しました。

岸まきこ（現 議員）プロフィール

1976年北海道札幌市中央区生まれ。94年北海道立札幌高等学校卒業。卒業後、東京大学法学部2類入学。2004年参議院議員選挙北海道第2区から参議院議員に就任。15年参議院議員に再選。2013年参議院中央執行委員・総務対策部長。15年参議院議員に再選。現在、参議院中央執行委員・総務対策部長。

コンビニや飲食店で働く外国人は珍しくなくなりました。流暢な日本語での対応に、日本語しか話せないおじさんは感心する▼叔母は50年以上前に米国人と半ば駆け落ち同然で国際結婚した。駆け落ちの事を「ラナウェイト」苦笑いしながら話す。恋は語学や海外移住に有効だったかもしれない。日本でアルバイトに就いたり永住する外国人にとって、日本は魅力的なのだろうか。それとも単に母国よりマシな理由があるのだろうか▼商社に勤める友人は、「インド人と中国人の同僚が周囲の日本人社員に気遣って、英語だけでなく、日本語で会話をしてくれている」と恐縮していた。時代とともに言葉も住む人も変わるのだから▼この国のニュースを見れば、連日政権の見苦しい言い訳や聞き直りばかり。逃げ切れると思っ

地域医療を支える人材の確保を

ナースアクション 元町駅周辺で街頭アピール



県本部衛生医療評議会は5月27日に私学会館で、県本部2018ナースアクションを開催し、16単組81人が参加した。また今回は、兵庫の取り組みを学ぼうと、

①元町駅前では住民へアピールする参加者 ②全体集会后は各単組の状況を確認 ③講演をする福井事務局長

山形、新潟、群馬の各県本部の衛生医療評議会事務局長と組合員の参加もあった。主催者を代表して県本部衛生医療評議会の藤田勝也議長は、「単組の取り組み

だけでは解決できない難しい問題がある。県本部に結集して全体で取り組もう」とあいさつ。また、県本部を代表して尾西亮太郎書記長から、「臨時非常勤の課題を病院職場でも考えていこう。運営形態の問題にも精いっぱい取り組む」とのあいさつを受けた。

続いて、自治労本部衛生医療評議会の福井淳事務局長から、看護職を取り巻く課題、運営形態をめぐる全国状況などの講演を受けた。その後川西病院労組、三田市職労(三田市民病院労組)、伊丹病院労組、たつの市職の各単組から、運営形態を巡る状況や取り組みについて報告を受けた。澤本明事務局長は基調提起の中で、「厳しい状況の中で、川西病院では引き続き交渉強化が行われており、今日参加してくれていることが一番嬉しい。また、今年4月に人事院が出した、夜間看護等手当の増

額に取り組みよう」と今後の取り組みについて述べた。全体集会后は全員で元町駅東改札口と大丸周辺に分散し、地域医療を支える人材の確保に、労働組合が大きな役割を果たすことを訴えて、ポケットティッシュを配布し、街頭アピールを行った。

組合側の主張を認め 市側の控訴棄却

三木裁判闘争大阪高裁判決

5月25日、大阪高裁は、三木市職の組合員66人が提訴した「措置要求判定取消請求事件」について、職員側の主張を認めた昨年11月



判決後の全体集会の様子

29日の神戸地裁判決を支持し、市側の控訴を退けた。当然の判決といえるが、給与減額によって生活が破壊されている組合員にとっては勇気を与えるものである。判決の中でも明らかにされているが、本措置要求を却下した三木市公平委員会の判断は、地方公務員法

部落差別どう伝える

若者パネラーにディスカッション

人権教育ひょうご

2016年に部落差別解消推進法が成立し、学校教育で部落差別をどのように教えていくかが課題の1つとなっている。こうした情勢を受け人権教育ひょうごは、5月27日に開催した総会で「若者が向き合う部落問題」と題したパネルディスカッションを実施。自治労県本部からは青年部の喜田啓義副部長がパネラーとして出席した。



青年部の喜田副部長

喜田さんは、「道徳の授業で触れたが、内容までは覚えていない。社会に出るとさらに触れる機会は減った」と振り返った。兵庫県教職員組合の頼田幸平さんは、「教員も部落問題を知らない人が少なくない」と、伝える側の悩みを打ち明けた。全体に共通していたのが学校教育の記憶が薄いということ。一方、ネットでは間違った情報が氾濫しており、これからの人権教育の課題が浮き彫りになった。解放同盟の池本和宏さんは「差別意識は社会や家庭で伝えられていく。学校で正しい認識に触れることが大切」と述べた。

「県本部運動の課題と書記の任務」と題して、山下忠之副委員長が問題提起。自ら運動に参画するという能動的な姿勢の中から「刺激や達成感が生まれる」と強調した。

2日目は、ワークショップ形式で「書記労働者の実態」などを話し合った。

団体生命共済 + 長期共済

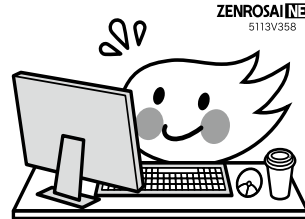
団体定期生命共済

在職中：新団体年金共済

退職後：新団体年金共済 個人年金共済 個人長期生命共済 終身生命共済

在職中から退職後の一生涯の保障を

自治労共済生協組合員だから利用できる共済です。



ZENROSANNEWS
5113V358

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治労労働者共済生活協同組合

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

ご契約にあたっては
パンフレットをご覧ください。

全労済は、安楽を目的とした保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

自治ひろこ

1522号

2018. 7. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

当面の日程

- 6日 県本部第28期労働学校(ひょうご共済会館)
13～15日 第21回自治労青年女性中央大交流集会
(山梨県)
16日 戦争をさせない1000人委員会・ひょうご学習会
(ラッセホール)
21日 2018県本部福祉集会(県民会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

県本部まんがコンクール

作品募集中

大笑は2万円分の商品券

【募集要項】

テーマ
スポーツ
似顔絵(大野委員長、岸まきこ)
締め切り
8月31日(金)県本部「教宣部」まで
笑金(いづれも商品券)
大笑2万円、おもしろ笑5千円、
いまいち笑3千円
詳細は組合事務所に問い合わせを。



尼崎競艇のたたかいを報告する植田中央委員

県本部中央委員会

会計年度のヤマ場確認

処分撤回など、たたかいは共有

県本部は第204回中央委員会を6月22日、県民会館で開き、会計年度任用職員制度導入の妥結基準やヤマ場日程などを確認した。参加中央委員からは、処分撤回など、たたかいは教訓が持ち寄られた。冒頭あいさつで人勧期の「委員長は「定年延長に言及取り組みに触れた大野義政」すると思われ。動きに注

視していきたい」と述べた。経過報告に対しては「公平委員会を相手にたたかいた裁判は、高裁でも勝訴した。賃金カットに対し労組が激変緩和措置を要求することは当然との事例を残せた。賃金復元をめざして労使交渉を強化していきたい」(三木市職)、「震災アスベスト裁判への支援を(明石市職労)との発言があり、拍手で承認された。議案は、「18春闘中間総括案」(当面の闘争方針案)など5つ。会計年度任用制度については、ヤマ場を18確定闘争時と19予算要求闘争時とし、妥結基準として

「正規職員と均衡権衡(給料表の適用、前歴換算)など7点を提起した。質疑では、「13年のストで出された処分を取り消すことができた。市長の謝罪もあり、今後良好な労使関係を築いていきたい」(高砂市職)、「夏期一時金交渉で当局は「昨年並」との回答に終始。「決裂」と交渉の席を立つてしまった。県本部を交えた折衝・交渉の中でプラス回答を引き出すことができた」(尼崎競艇労組)など発言があった。

反核リレー前段に
被爆体験に学ぶ
平和友好祭

7月9日の第34回反核平和の火リレースタートに先がけ、平和友好祭実行委員会では、6月22日、「被爆体験にまなび、核兵器のない社会へ」と題した学習会を実施した。

近年、リレーが走るだけに終わっていることや、国連の核兵器禁止条約採択といった情勢を受け、原点に返った取り組みとして実施された。

伊丹市原爆被爆者の会の小泉雄次さんと鹿島孝治さんから話を伺った。

小泉さんは広島、鹿島さんは長崎で被爆、2人とも当時小学校2年生だった。当時小学校2年生だった。「フラッシュのように真つ白になり、気づいた時には吹き飛ばされていた」と振り返った鹿島さんは、運動場は死体の火葬場となった情景を説明。短歌で情景を語る小泉さんは「三軒すっぽり入る大穴に鉤で死体投げ込む兵士」と当時の様子を詠んだ。

夏期闘争結果

定年退職を上回る採用を確認

県本部人員確保男女平等差別統一闘争では、6月1日に6単組(伊丹・西宮・水・高砂・加古川・三木)が1時間ストを配置、夏期一時金闘争では、6月8日に明石が1時間ストを5単組(伊丹・宝塚・西宮・水・加古川)が29分時間内食い込み集会を配置し

た。阪神淡路ブロックでは、三田が定年退職以上の正規採用を確認、淡路が現業職での正規採用の検討を確認、南あわじは幼保部独自で人員・職場要求交渉を実施し、職場の定数を訴えた。

夏期一時金では、尼崎嘱託労組が17人勧の積み残し

0・04月分を、芦屋非正規3単組で嘱託0・05月と臨時職員1日分のアップを勝ち取った。

播磨ブロックでは、姫路・加西・高砂・明石・加古川が、定年退職予定者を上回る採用を確認した。

また、夏期一時金については、加西で課長補佐係

県本部福祉集会 7月21日(土) 13時30分～17時 参加費無料

第1部 (13時30分～15時) 県民会館・県民ホール 定員360名

Guest NPO 法人「抱撲」理事長 奥田 知志さん

テーマ 「人が人として自分らしく生きられる社会へ」
～ソーシャルインクルージョンの現場を通して～

第2部 分散会(15時15分～17時) 県民会館内各会議室

- ①自治体福祉行政組合員交流会、②介護職・福祉施設交流会、③社会福祉協議会職員交流会

【講師プロフィール】

1963年生まれ。関西学院神学部修士課程、西南学院大学神学部専攻科をそれぞれ卒業。九州大学大学院博士課程後期単位取得。1990年、東八幡キリスト教会牧師として赴任。同時に、学生時代から始めた「ホームレス支援」をボランティアとしてだけでなく、教会の課題として継続し、北九州市でNPO法人「抱撲」(旧北九州ホームレス支援機構)の理事長としての重責も担う。その他、社会福祉法人グリーンコープ副理事長、共生地域創造財団理事長、国の審議会等の役職も歴任。NHKのドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」にも2度取り上げられ、著作も多数と広範囲に活動を広げている。



いまいち座

中央省庁 カイザンジャー



松本 貴紀子

しこり

最近、ご飯論法なるものが話題になっている▼
Q「朝ごはんは食べなかったんですか」A「ご飯は食べませんでした(パンは食べました)がそれは黙っておきます」
Q「何も食べなかったんですか」A「何も聞かれました、どこまでを食事の範囲に入れるかは、必ずしも明確ではありませんので」▼といったやりとりだが、要するに論点をすりかえられて、ひたすら時間だけが経過する論法だ。これに似たやり取りが、国会での森友加計答弁にはじまって、働きかせ方改革の答弁、さらには日大アメフトの元監督とコーチの記者会見だ。そして、組合の交渉の場でも当局の答弁としてこのようなやり取りが横行してきているように思う▼公立病院の存続も、運営は民間に変わっても名前は市民病院と残るからいいじゃないかといったことも、この論法に該当するのではなかろうか。(どら)



①会場は264人で埋めつくされた
②発達障害について講演をする竹田講師
③岸まきこさん



保育を取り巻く環境は、待機児童解消等を理由として、質の低下を招くことを顧みず、様々な規制緩和とともに、保育サービスの拡大等が行われてきたが、現場では劣悪な労働環境は改善されず、非正規労働者の拡大にもかかわらず人材不足の状況となっている。こうした状況のもと、6

月10日に「きらめく笑顔、輝く保育」「明るい未来を担う子育てを」をスローガンに、県本部第35回保育を考えるつどいを神戸市内で開催し、25単組264人が結集した。

また、来賓として大野義政県本部委員長、兵庫県人権保障研究協議会の藤野貴代子副会長から連帯のあいさつを受けた後、大阪医科大学L2センターの竹田契一さんから「発達障害の子ども達の基礎理解と具体的な関わり方」について記念講演を受け、発達障害は教育問題である、医療では対応できないとされ、保護者とのコミュニケーション、関係機関との連携の重要性が強調された。また、最も保育者にとって大事なことは子どもに寄り添うことだとまとめられた。

第21回平和・人権・環境の集い 分科会紹介 (上)

職員向け手話通訳を配置 差別解消法の実現に向けて

第1分科会は「差別解消法の実現に向けて」話した。

尼崎市職員の玉城勝太郎さんより全国で初めて聴覚障害職員向け手話通訳士の配置を実現した取り組みについて報告を受けた。健常者にとって何気ない連絡事項も、聞くことが困難な聴覚障害者は話す相手の口元や表情、身振り手振りなどから総合的に判断していた実態に対し、健常者と変わらない労働環境の整備を図るため取り組みを展開した経緯を報告した。

神戸市からは河合良宣さんと武田弘さんが、障害者懇談会の活動報告や独自要求などの取り組みを報告した。

部落解放同盟からは、16年に施行された部落差別解消推進法の評価と課題を報告。「法律ができたからといって部落差別が無くなる。施策を効果的に推進するため自治体および各種団体が連携を深め継続した取り組みが重要」と述べた。



玉城さん

捉え方は国によって異なる 滞日外国人のこころの支援

第2分科会はHIIA労組が中心となって、外国人住民・多文化共生を考えた。精神保健福祉士の原口美佐代さんに「滞日外国人・難民のこころの支援」の話を聞いた。まずは一般的な精神疾患について、原因や症状別に分類し、代表的な疾患について学んだ。日本に在住する外国人の現状の全体像を学んだあと、事例をあげて外国人特有のこころの支援について説明を受けた。

特にこころの支援については、その人の文化の中に「概念」がないものを説明するのは難しいということ。例えば「うつ病」という概念がない文化で暮らしてきた人には、「うつ病」の病識を持つことは難しいといわれる。精神疾患は国によって捕らえ方が違い、その違いが社会からの孤立や誤解を生んでしまうことも多々ある。

原口さんの「多文化共生はどちらかを全面的に受け入れるだけでなく、受け入れるプロセス(折り合いをつける)を共有していくこと」という言葉はとても力になった。



原口さん

保育を考えるつどい

職場改善へ実践深める 非正規の組織化が重要

職場改善へ実践深める

に、決意を表明した。午後からは、①生きる力を育む食とは②正規・非正規の職場改善について③特別支援の問題④子ども園・幼稚園職場交流会⑤子ども子育て支援⑥体操遊びの実技研修としてワークショップが持たれ、それぞれ議論実践を深めた。

新規採用者の組織化を受け、各地域ブロックでは新入組合員交流会を実施し、単組間交流を深めた。

16日、洲本市内で実施、3単組29人が参加した。県本部の安井智士青年部長による講演のあと、グループワークを行った。話しやすいように保育士の班をつくる工夫をし、8月開催予定の淡路地区青年女性交流会の参考にしようという話に上がる企画について話し合った。「島の魅力を感じながらの交流」世代を超えて楽しめる」等

楽しい企画出し合う

阪淡・播磨ブロックが新組交流会



阪神淡路の様子

様々な視点の企画案が出され大いに盛り上がった。播磨ブロックは6月16日、神戸市で交流会を行い32人が参加した。ブロックの佐田貴政青年女性部長は「他単組との交流を楽しんでもらいたい」とあいさつした。

日頃の疲れを癒やそうと、ヨガ体験を実施。初の試みは大変好評であった。頭がすっきりしたところで、県本部の深井優翔青年部常任委員が新入組合員向けの講演学習を行った。

2日目は、「もし自分たちがブロック青年部の企画運営をしたら？」というテーマで分散会を行った。

もしもが起きるその前に…入って安心!

住まいと家財のための 新自然災害共済

ZENROSAINNEWS
5115B118

CHECK ①「新自然災害共済」は、「新火災共済」に付帯して利用いただけます。

CHECK ②「新自然災害共済」には「大型タイプ」「標準タイプ」があります。いずれかのタイプをご選択ください。

CHECK ③賃貸住宅にお住まいの方も、大切な家財のために、ご利用をおすすめします。

ご不明な点が
あれば、
まずは組合に
ご連絡
ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治労労働者共済生活協同組合

ご契約に
あたっては
パンフレットを
ご覧ください

全労済の住みある共済

新火災共済・新自然災害共済

火災・盗難・地震・水災・自然災害共済・個人賠償責任共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

自治ひろこ

1523号

2018. 7. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 21日 県本部福祉集会 (県民会館)
26日 人勤期中央行動 (東京)
27~29日 県本部沖縄視察団 (沖縄県)
27~29日 全国保育集会 (大阪国際会議場)
30~31日 近畿地連スポーツ大会 (滋賀県)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

県本部2018 労働安全衛生集会

全ての職場で36協定締結を

7月は労働安全衛生強化月間

県本部は6月26日、ひょうご共済会館で、安全で快適な職場環境改善にむけ、全単組で安全衛生活動に取り組みため「長時間労働・過重労働」をメインテーマに、労働安全衛生集会を開催した。



働き方について講演する戎さん

開会冒頭で隅田龍男労働安全衛生推進委員長は、「36協定締結職場は再度点検していただき、少なくとも上限規制である月45時間・年360時間を守り全ての職場で36協定締結を進めていただくようお願いしたい。また、7月が強化月間となっているが基本的には毎月委員会を開催し、職場の課題解決に取り組みでいただきたい」とあいさつした。

続いて、吉岡正輝事務局長より集会基調と今年度の取り組み課題について提起が行われた。

また「明石震災アスベスト

ト公務災害認定闘争」について明石市職労の吉田秀夫さんより現状報告を受け、

更なる支援の呼びかけが行われた。
記念講演では阪神淡路プ

会計年度任用職員制度 賃金担当者会議

今年度中の決着へ

県本部は、会計年度任用職員制度に関する賃金担当者会議を6月29日、ひょうご共済会館で開催し、48単組から87人が参加した。

冒頭、大野義政県本部委員長は「今回の制度導入については、雇用形態による格差の解消が重要であり、今年度中をヤマ場として全単組で臨戦の処遇改善と組

織化にむけた取り組みを要請する」とあいさつした。会議では服部圭司県本部副委員長より、①総務省調査を踏まえて統一要求書の提出②統一交渉ゾーンの設定③6月から9月末に署名活動を行う等、県本部方針を提起した。また、組織化に向けて赤穂市職労の山田善達書記長より「3月下旬

に350人の臨時パート職員へアンケートを配布。191人から回答を回収し、60人が参加し組合説明会を開催した。今後は7月に組合加入に向けて取り組み

む」と報告を受けた。午後からは、単組規模別に分科会を開催し、移行に関する切り替えについて、議論を行った。

会計年度については、今年度中の決着に向け、第1次を11月、第2次を来年1月に設定し決着を図る。

平和・人権・環境を考える集い 差別発言に対する 対応の不備を反省

6月2日に開催した「平和・人権・環境を考える集い」の分科会質疑で、参加者から「被差別部落には暴力団事務所がありこわいところ。在日には韓国系、北朝鮮系があり韓国系は迷惑している」という差別を助長する発言があった。

この発言に対して、当日の対応が不十分であり、県本部は7月2日の執行委員会で事実関係を報告、対応の不十分さを反省するとともに、差別の解消に向けて取り組むことを確認、共有した。また、「差別発言に対する対応」を組織内外に明らかにし、参加者、関係者にお詫び申し上げる。

「平和・人権・環境を考える集い」での差別発言に関する対応について

自治労兵庫県本部の主催で、2018年6月2日に開催した、「平和・人権・環境を考える集い」の第1分科会「差別解消法の具体化に向けて」において、「部落差別の解消に関する法律とは」と題する部落解放同盟兵庫県連合会の報告に関する質疑の中で、参加者から差別を助長するとも受け取れる発言があった。

発言の要旨は、「被差別部落には暴力団の事務所があり、治安が悪く、怖いところとの意識が強い、暴力団を追い出さない限り部落差別はなくなる」というものである。その後、別の参加者からこの差別発言に対し誤った認識をただす発言があったが、再度「在日には、韓国系と北朝鮮系があり、北朝鮮のせいで韓国系は迷惑している」という内容の発言を重ねた。その時点で、会場から「もうやめろ」との発言もなされた。この分科会の司会者や担当役員らが、この差別発言に対し、「部落差別を無くす」と暴力団事務所の存在は関係ない、韓国籍、朝鮮籍の住民については個人に責任がなく、差別される側の人には責任はない。このような誤った認識が差別を助長することにつながる」と、発言者に誤りを指摘し分科会を終了するべきところであったが、「一つの発言として承る」とし分科会を終了した。

自治労兵庫県本部は、本日の執行委員会において、この事実について報告し、自治労兵庫県本部役員が、今後、このような対応を行うことが無いよう、部落差別をはじめとする差別の解消に向け、研修、学習を重ね、自らを研鑽していくことを確認し、共有した。また、この事実と対応について、組合員及び関係団体に対し報告すること、および、発言した当事者への対応については部落解放同盟兵庫県連合会と協議しつつ対応することについても確認した。

自治労兵庫県本部は、この集会の主催者として、この差別発言に対する対応について、深く反省するとともに、分科会参加者に不快な思いや、心を傷つけられる思いを感じさせたことにに対し、お詫び申し上げる。

2018年7月2日

自治労兵庫県本部
執行委員長 大野義政

核兵器の廃絶求め 反核リレーが発発

7月31日、神戸市役所到着

34回目の反核平和の火リレーが7月9日に始まり、県庁前での出発式では、平和友好実行委員長の上田裕司さん(県本部青年部書記長)は核兵器廃絶を訴え、平和の火リレーを多くの県民に広めていこう

とあいさつ。続いて、尾西亮太郎県本部書記長をはじめ、政党内閣関係者から、被爆国である日本が核兵器廃絶に取り組むことの重要性、そして平和への思いを伝え続けていくことの大切さなど、激励の言葉が述べられた。

平和の火は神戸市役所へゴールする7月31日まで県内各地を走る。



7月9日、県庁前をスタート

とあいさつ。続いて、尾西亮太郎県本部書記長をはじめ、親戚や友人、疎遠になっている友人も安否の連絡をくれた。いざと言う時がある、これには感謝である。今回の大雨は自身の周りには大きな被害はなかったが、うらた。報道では各地で土砂崩れや川の氾濫で行方不明や死者も出ている。ご冥福をお祈りしたい。

職場環境の問題点や解決方法などを話し合った。

いまいち座

まんがコンクール作品募集中!



大植 賢(豊岡市職労)

平和・人権・環境を
考える集い 分科会紹介(下)

ノンステップバスを体験 神戸市交通局でフィールドワーク



車いすでの乗車体験の様子

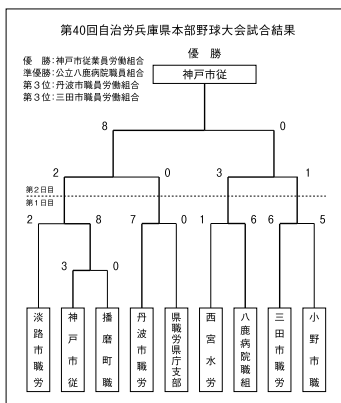
第3分科会は、神戸市交通局の福祉事業を体験するフィールドワークとして実施され、14単組から23人が参加した。神戸市交通局は、神戸市内の小学校に市バスの車両を持ち込み、車両の比較、車いす体験などを通じて、福祉について学ぶ機会を提供しているが、今回は、集いの参加者を対象に運転手の方からノンステップバスの導入の経過や機能、色デザイン等について説明を受けた。

全国の路線バスは、高齢者・障害者に対応したほぼ同じ規格のノンステップバスが導入されているが、高齢者・障害者の疑似体験を行った。

その他にも非常口からの



力投する津田投手



県本部は、第40回野球大会を淡路市と尼崎市で開催し、神戸市役が9回目の優勝を果たした。山下高広監督は「ピッチャーの奮闘と、つなぐ打線が勝利に結びついた」と笑みを浮かべた。

八鹿病院と迎えた決勝戦。2回裏、市役の森岡が2塁打で先制点をあげる。打線が続き、この回に5点を入れた。

投げては、ベテランの津田投手が緩急を使い分け、八鹿を無失点に抑えた。市役は3回裏にも稲継の内野安打などで3点を追加。試合は8対0で5回を勝ち抜いた9チームが出場。淡路市職労の協力のもと、大会1日目（6月15日）は淡路市内で開催。2日目（20日）は雨天で順延し、準決勝と決勝は21日に会場を尼崎市内に移して実施した。

神戸市役圧巻のV 八鹿病院は初の準優勝

県本部野球大会

県本部女子バレーボール大会

豊岡病院労組が接戦制す 悲願の初優勝に輝く

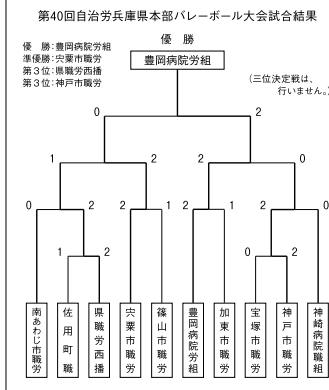
40回の節目となる県本部女子バレーボール大会が、6月23日に宝塚市スポニックパーク一宮体育館で行われ、豊岡病院労組が初優勝、準優勝は宝塚市職労、3位は神戸市職労、県職労西播となった。豊岡病院労組は7月30日に滋賀で開催される近畿地連大会に兵庫代表として出場する。

大会は各ブロック予選を勝ち上がった8チームに、前年度優勝チームと地元開催代表チームの2チームを加えた10チームが参加。予選からフルセットにもつれ込む接戦の好試合が多く展開される中、準決勝に駒を進めたのは県職、宝塚、豊岡病院、神戸の4チーム。



初優勝した豊岡病院チーム

拾って繋ぐ堅守チーム同士となった決勝は、前年同様、初優勝をかけた戦いとなり、1点を争う展開となった。豊岡病院が第1セットを21対17、勝利を決した第2セットは宝塚が追いついてデュースに持ち込んだものの24対22で宝塚を振り切った。



岸まきこ
力あつめ、
前へ

持続可能な社会を創って
いこう!

岸まきこは、元・日本テレビ放送網株式会社社員。現在は、社会貢献活動に取り組んでいます。

資金づくりに「失敗」はありますか？

ワタシ、たく
失敗しないので

将来の資金のために

長期共済 税制適格年金

●年金は「決まった額を受け取れる」から安心です。●あなたはコツコツ積み立てるだけでOK。
●「いつまでにか貯めたい」という目標から、毎月の積立計画が立てられます。

長期共済で積み立て、退職後に10年確定年金(年額48万円)を選択した場合

ZENROSAI NEWS 5116G199

例
月払4口1.2万円
×
30年積み立て
＝
70.6万円
掛金累計 432万円

積立金 502.6万円

必要原資額 458.8万円

プラス 21.2万円
受取総額 480万円
年額48万円×10年

在職中(積み立て) 移行 退職後(年金受取期間)

積立金・必要原資額は2016年10月現在の予定利率等に基づき試算したものです。積立期間が短期間(月払:5年未満、年払:4年未満)のとき、積立金は掛金累計を7割が目指します。税制適格年金は、積立金全額を年金給付の原資に充当していただきます。

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
ご不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない「保障の生協」として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 3日 県本部衛生医療評定期総会（ひょうご共済会館）
 3～4日 県本部現評総会・各種集會（シーサイドホテル舞子ビル）
 8日 県本部都市交評総会（県本部会議室）
 10日 県本部拡大青年部・女性部長会議（神戸市教育会館）
 17日 県本部労働学校（ひょうご共済会館）
 23～24日 自治労定期大会（岐阜市）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1524号

2018. 8. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

職場の問題を客観的に認識

自治労青年女性 参加者の感想を紹介
 中央大交流集會

7月13～15日、山梨県で自治労青年女性第21回中央大交流集會が開催され、兵庫からも11人が参加した。全国から1500人が集い、職種別分散会や文化交流を行った。兵庫から参加した2人に感想を寄せてもらった。

今回初めて中央交に参加した。きっかけは、3月に東京で開催された講座に参加したことで、もっと多くの運動や職場実態について知りたいと思ったからだ。

1日目の文化交流会では、近畿地連を代表して兵庫県本部が「反合理化ってなんやねん」というテーマで構成詩を発表した。こ



兵庫からの参加者

の劇を通して、「当局の都合」に対して、「おかしい」と気づき、反合理化の声をあげる必要性を感じた。

2日目の職種別分散会では、全国の同じ職種の方々との自分の職場実態について話し合い、合理化がどのようになっているかを議論した。同じ不満を抱えている仲間が全国にもいるのだ

たつ市職 森岡典子
 この度初めて中央交に参加し、全国各地の仲間と様々な情報交換ができた。なかでも、職種別の分散会が自分と同様の職種の組合員が交流できる機会であり、本市と他の自治体の職場環境の違い等に、驚きや発見を見いだせる有意義な時間を過ごすことができた。

私は生活保護のケースワーカー業務を主に担当しているが、分散会の参加者は全員ケースワーカーであり、業務上の悩み等を共有

と思うと少しホッとした。組合運動にすく力を入れている単組があり、その事例等を聞いて、自分の単組でもっと運動を取り組みたいという意欲がわいた。

する場としてはまたない機会であった。

私たちが抱える仕事の悩みは、一見自分の能力や自分の自治体だけの問題であるように感じがちである。しかし、今回の交流会を通して、全国の的にも問題は共通しているのだと認識することができた。

多くの方に中央交に参加していただき、日頃の悩み等を吐き出すとともに、自分の職場が抱える問題点を客観的に認識する機会として活用していただけたらと思う。

広く手をつなぎ 平和憲法を守ろう

7月16日 フォーラムひょうご総会



大西 英剛

安倍政権の憲法改悪の動きが強まる中、フォーラム平和と人権環境ひょうごは7月16日に総会を開き、戦争をさせない1000人委員会など、市民と連帯した取り組みを強めることを確認した。

開会にあたり川原芳和共同代表は「平和と民主主義、教育をないがしろにする安倍政権に対し、広く手をつないで行動しよう」とあいさつ。議案は満場一致で承認された。

総会後は、中央平和フォーラムの勝島一博事務局長を招き、学習会を実施（主催は1000人委員会）。安保関連法以降、市民連合の発足、野党共闘へと運動が広がってきた経過に触れた勝島さんは、「しかし国会の現状は衆参両院で改憲勢力が3分の2を占めており、油断はできない。主体的な取り組みを各地域で展開することが大切」と檄を飛ばした。

（誠）



県人事委員会へ最大限の努力を要請

2018人勤期間闘争

勧告の翌日に統一行動日を配置

6月20日、公務員連絡会は、人事院総裁に「人事院勧告に関わる要求書」を提出。7月26日には日比谷大音楽堂で全国から3千人が結集し、決起集會を実施。早期勧告を求めるとともに、交渉支援行動を行った。

18人勤期をめぐるのは、民間の賃上げ状況を踏まえ、月例給、一時金の引上げ、告の実現、定年の引上げ、長時間労働の是正をはじめとする「働き方改革」の推進が重要課題となっている。18春闘での民間結果は定

昇賃金カーブ維持分に加え、ベアが1606円（6月7日現在）と5年連続昨年を上回る賃上げが実現した。また、中小組合の健闘がめざましく、「賃上げ分」の率は大手を上回るなど、賃上げの流れは、非正規労働者も含め、社会全体に力強く継続している。

また、造幣局及び国立印刷局の賃金も、5年連続で昨年を上回る0.38%相当額の引上げとする調停案受諾で決着している。

兵庫県においては、7月3日に県本部と県職労の連名による申入書を県人事委員会の太田和成委員長に手渡し、「賃金水準の確保、諸手当の改善」「長時間労働の是正」「雇用と年金の確実な接続」「臨時職員等の賃金労働条件の改善」など、県人事委員会勧告に向けた最大限の努力をするよう要請した。

人事院勧告は8月上旬の見通し。勧告内容は8月15日号の自治ひょうごで特集し、詳細を掲載する予定。



しこ

第196回通常国会は、7月22日閉会した。自民党など与党の数の力によりまた一つ悪法が成立した。「高度プロフェッショナル制度」

この制度は1日8時間、1週40時間という労働者がつくり上げてきた労働法の大原則を根本から破壊した。2005年、日本経団連が発表した「ホワイトカラーエグゼンプションに関する提言」では、「残業代ゼロ」は「年収400万円以上のホワイトカラー労働者が対象だった」労働側の反発もあり、これまで押しとどまってきたが「残業時間の上限規制」「同一労働同一賃金」などとセットで数の力で押し切った。

「高プロ」の年収要件が1075万円とは法律上には書かれていない（省令に委任）。厚生労働大臣が勝手に語ったように「小さく生んで大きく育てる」（制度をつくれればその後はどうにでもなる）ことは絶対にさせてはならない。（誠）

県本部福祉集会

抱樸の奥田
さんが講演

互助会組織で最後の看取りまで

課題克服にむけ横のつながり強化を

県本部福祉集会を7月21日、県民会館で開催し、約70人が参加した。

集会は第1部として北九州市でホームレス支援を中心に行うNPO法人「抱

「樸」の奥田知志理事長より「人が人として自分らしく生きられる社会へ」と題し

流した。介護・福祉施設分科会では「国民年金だけでは特養に入所できる金額を

賄えない。また、雇用破壊が将来の社会保障制度の破壊にもつながる。職場環境

事異動がされておらず、メンタル不調の職員も多い。福祉に携わる組合員が、そ

薬効果なく7月7日、ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

金の陣 124

124万
20年
治劳共
本日治体労働者共

自治体福祉行政分科会では「ケースワーカーは対人援助の職種であり専門的知識が必要だが、計画的な人

全日本自治体退職者会
庫県本部の原三郎事務局長
は、この間、体調不良によ
り自宅療養中でしたが、投

毎月払へ
1万円に

効率性
プラ
口数とコー
一部分のみ
生活協同組合連合会 全労済
育本部 経済事業
生活協同組合 暮らしを
て組合
今学済自治

の改善にむけて、社会福祉評や衛生医療評、更には公民間協が連携し、横のつながりを構築していかなければならない」と意見集約を行った。

それぞれの立場における課題を共有できた」と総括し、分科会を終えた。

退職者会の
原事務局長が逝去

! **かしこく
積み立てよう!**

ZENROSAI NEWS
5116G219



に
す！

払込方法にかかわらず、積立金の
解約・払い戻しはできません。

富利を目的としない保障の生協として共
済、組合員の皆さまの安心とゆとりある
生活に資しています。出資金をお支払いいただ
ければ、各種共済をご利用いただけます。

共済本部資料より引用



抱樸の活動を中心に講演する奥田さん

んは、高齢で単身の人はアパートに同居できにくい。このため地域での活動として当事者を含め約2500人で互助会を組織し、最後の看取りまで、会で面倒を見てみる」とし、抱擁では「いのちに意味があり、生きることに意味がある、出会う（意味がある）」との基本的スタンスが紹介された。

第2部は、2つの分科会を開催し、各職場実態を交

1人で悩

新人組

但馬丹波・ロック青年女性部主催の新人組合員交流学習会が6月29・30日、新温泉町で開催され、9単組69人が参加した。

はじめに「じちろう共済」について渡辺健共済兵庫県支部事務局長より制度説明

まず仲間づ み員が学習と交

くりを
流深める

但馬丹波 B
青年女性部

全体集約で上田裕司プロック青女部書記次長は「一人で悩まず、相談できる仲間づくりをしてほしい。働きやすい環境を作るために、組合に結集してほしい」とまとめた。

その後、団結大縄跳びで

親睦を深め、最後に衣川翔太ブロック青女部長の「団結がんばろう」で2日間の日程を終了した。



恒例となった団結大縄跳び

長期共済 **税制適格年**

自衛隊・消防団員共済
労働者共済 個人共済 個人共済生保員 経理生保員
前団体年金共済

10万円を随時払すると**20**年で
(から1万円単位で利用できます。)

104万円 5年 110万円 10年 117万円 15年 20年

UP! UP! UP!

に契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。

全自

播磨・ロックでは、現業評議会が7月4日、加古川市新クリーンセンターで職場点検活動を実施。施設の概要説明を受けた後、点検を実施した。

「消火器などの表示がな
く、安全面の配慮がないの
では」との指摘に対し、「以
前さみビット内への転落事
故大事に至らず」があり
再発防止対策会議などを労
働安全衛生委員会で実施
し、1階のプラットホーム
内の作業は、ゼブラソー
ンに入らないことで対応

また、消防訓練、避難訓練、ヒヤリ・ハット研修など、安全対策を積極的に実施してゐる」と説明がなされた。

また、衛生医療評議会が、7月24日に加東市民病院で職場点検活動を実施。施設は新しくないが、丁寧に使用してあり、整理整頓よく室内は非常に清潔」との感想が多かった。特に、オレオレシジュール(緊急事態のお知らせ)の対応は、高評価だった。なお、女性職員のお当直室や仮眠室は充実しているのに対し、男性職員の

施設が少なく、直ちに改善すべきとの指摘をした。同行の管理者からは「細かな指摘も含め、今後組合との協議の上で改善していく」と回答がされた。



クリーンセンター点検の様子

播磨 B	加古川クリーン C と加東市民病院の職場点検活動を実施
点検成果は現業公企闘争などで職場改善につなげることを確認	
	阪淡 B



危険箇所を占検中

職員数、勤務シフト、施設概要、そして三田市上下水道部の安全衛生の取り組みとして、月間定例会の本庁と安全衛生委員会、浄水場から労使二名の委員を出していること、安全衛生ニュースの発行、特定業務従事者等の健康診断などの説明を受けた。

続いて、浄水場内の沈殿池、活性炭炭ろ過池、薬注室事務所などの説明を受けた。から施設を巡視した。

巡視を終えた後、施設側の安全衛生についての意見交

換と討議を行った。

参加者が「巡回で気が付いた点として、整理整頓されている」「集中管理室やポンプ室の室内注意喚起はあるか」「頭上の注意喚起はあるか」「ヘルメット着用も」「防犯設備は十分か」「水質検査等が劇薬の外に採格のものは」「一葉工業の取に薬品の表記があるか」といふ一など評価や質問が出された。

この取組の成果は現業公企闘争などを通じて、各職場環境の改善につなげることを確認、終了した。

余裕資金は、退職後のために

ご存知ですか？

例えば **10**

便利な掛金 **随時払**

(10)

払込方法

(月払または半年払契約がある方が利用できます)

随時払は、月払などと異なり、定期的に払い込むことができます。余裕資金ができたときに使える積立金を積み増しできる払込方法です。

人好評!

100万円

払い込み

※2016年10月現在の予定
 予定利率等は将来変更するものではありません。
 金・解約返戻金が損益金

人事院勧告特集号

この「自治ひょうご」は、人事院勧告の特集号となります。勧告内容について不明点がありましたら、自治労兵庫県本部までお問い合わせ下さい。



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.iichiro-hyogo.jp/ E-mail: ihyogo@iichiro-hyogo.jp

2018. 8. 15

月2回(1日・15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

2018人勸

定年65歳へ段階的引き上げ

給与水準は60歳前の7割に

8月10日、人事院(国会と内閣に対して)「国家公務員給与を平均〇・二％引き上げ、勤労手当についても〇・〇五％引き上げるなど」5年連続となる引き上げ勧告を行った。行政職俸給表(一)については、初任給を15000円、若年層についても〇・〇〇〇〇〇〇程度引き上げるとし、再任用職員を含むすべての号俵を改定、4000円を基本に引き上げるとした。

また、公務員の定年を引き上げるための意見の申出では、検討の経緯を示した上で、公務効率の低下が懸念されることや職員的生活への不安が高まるおそれがあるとし、定年を段階的に65歳に引き上げることが必要とした。具体的な措置としては、役職定年制、定年前の再任用短時間勤務制の導入などを上げ、給与水準については60歳前の7割とした。

公務員人事管理に関する報告では、国民の信頼回復に向けた取り組み、人材の確保と育成などの方向性が示され、働き方改革と勤務環境の整備等では、超過勤務命令の上限を人事院規則で定める長時間労働の是正をはかることや、ハラスメントの防止対策、非常勤職員の適切な処遇の確保などについて報告を行った。

公務員連絡会は同日人事院勧告等の完全実施と給与法の早期成立をめざすとともに、地方確定闘争の取り組みにおいて全力を尽くすとの声明を出した。以下、勧告と申出の全文、報告の骨子。

5年連続のプラス勧告 月例給・勤勉手当ともに微増

平成30年8月10日
衆議院議長 大島理森殿
参議院議長 伊達忠一殿

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
人事院総裁 一宮なほみ

人事院は、国家公務員法一般職の職員の給与に関する法律等の規定に基づき、

一般職の職員の給与について別紙第1のとおり報告する。あわせて、公務員人事管理について別紙第3のとおり報告する。

俸給表が適当であるかどうかについて報告を行う責務を課している。

ること（民間準拠）を基本としてゐる。民間準拠を基
め、役職段階、勤務地域、
学歴、年齢等の要素を踏ま
えてその水準が定まってい
本とするのは、国家公務員

1 公務員給与を取り巻く
諸情勢
(2めに続く)

声 明

1. 人事院は、本日、月例給を0.16%、655円引き上げ、一時金の支給月数を0.05月分引上げに関する給与と関する勧告・報告と公務における働き方改革をはじめとした公務員人事管理に関する報告、国家公務員の定年の引上げに関する意見の申出を行った。
2. 公務員連絡会は、6月20日に人事院に要求を提出し、以降、幹事クラス交渉委員による職員団体審議官交渉、全国から3,000名を結集した7.26中央行動を背景として書記長クラス交渉委員による職員福祉、給与局長交渉を行うなど、人事院との交渉・協議を最終盤までねばり強く取り組んできた。

本年の人勤期における重要課題は、民間企業の賃上げの結果を踏まえ、公務員全体の月給給与及び一時金の引上げを勧告させるとともに、政府全体の重要課題として進められている「働き方改革」について、とりわけ時間外（超過）勤務の上限規制を民間に遅れることなく措置させること、そして雇用と年金の接続に関わって、政府からの検討要請という機を捉えて、公務員の定年引上げの着実・確実かつ早期具体化に向けた措置を行わせることであった。

3. 給与の改定動向については、民間における賃上げ等の動向を反映し、月例給・一時金ともに5年連続の引上げ、支給月額増となり、組合員の期待にも1年度連続の賃上げとなった。月例給与の配分は、再任用者を含む俸給月額を幅広く引上げており、較差が小さい中すべての公務員に配慮した措置と理解するが、一時金の引上げを5年連続で勤労手当に充てたことは、育児・介護に携わる職員や非常勤職員等への配慮を欠くものといわざるを得ない。昨年の非常勤職員給与決定方針改正で勤労手当の支給が明記されており、その順守を求めたいものである。

公務における超過勤務時間については、これまでは超勤縮減指針による上限日当時間の設定に止まっていたが、民間における時間外労働の上限規制を踏まえ、命ずることのできる上限時間を人事院規則で定めることは評価する。しかしながら、大規模な災害への対応はともかく、重要な法令の立案、国際交渉その他の重要性・緊急性が高い業務について、各省各庁の長の判断に基づく例外を設けることは問題である。職員の健康安全はもとよりワーク・ライフ・バランスが確保されるためには、なによりも長時間労働が是正されなければならず、上限時間の実効性確保が課題となる。わかれわかれ自身、職場でしっかりと取り組む決意であるが、労働基本権制約のもとで職員の利益を保護するという人事院の使命に基づく関与を強く求めるものである。

非常勤職員の待遇について、同一労働同一賃金の原則を一層推進するため、改正された非常勤職員給与決定指針の順守はもとより、今回措置される慶弔休暇の適用等に加えて、一層の改善が必要だ。

公務員の定年を引上げるための意見の申出は、その給与水準や役職定年制については、われわれの要求を十分に満たすものとはなっていないが、あくまで現時点の環境条件のものにおける人事院の判断として受けとめる。2011年の意見の申出の取扱いは踏まえたとき、今回の意見の申出が著実に確実に実施されることが何よりも重要であり、人事院が早期実施を実現するまで、その責任を最後までしっかりと果たしていくことを求める。

4. 以上のように、本年の勧告・報告、意見の申出はわれわれの要求にあまねく応えたものとはいえないが、労働基本権制約のもと、公務員連合会は、政府に対して、給与改定を権制約通り早期完全実施することを求める。また、長時間労働の是正、意見の申出に基づき定年引上げの着実かつ確実な早期実施を求めて取組を強化していく。

公務員連絡会は、勧告等の完全実施と、すべての公務員労働者の労働諸条件の改善、これから本格化する地方自治体や独立行政法人、政府関係法人等の取組において、全力を尽くすものである。

2018年8月10日

公務員労働組合連絡会

「めんより続く」 (1) 民間における最近の資金・雇用情勢等 「毎月労働力統計調査」(厚生労働省、事業所規模30人以上)によると、本年4月のパート・アルバイト労働者を除く一般労働者の所定内給与及び所定外給付は、それぞれ昨年4月に比し0.7%の増加、0.8%の減少となっている。 本年4月の消費者物価指数(総務省、全国)は、昨年4月に比し0.6%上昇している。また「家計調査(総務省、全国)によると、本年4月の勤労世帯の消費支出は、昨年4月に比べ目下1.5%、実質で0.7%の増加となっている。 本院は、従来より、国民一般の標準的な生活水準を求め、標準生計費を算定している。具体的には、1人世帯においては、全国家消費実態調査(総務省)を、2人以上世帯においては「家計調査」をそれぞれ基準として、毎年4月における世帯別の標準生計費を算定しており、本年においては、1人世帯が11万6930円、2人世帯が15万0690円、3人世帯が18万6500円、4人世帯が22万2500円となっている。 「労働力調査(総務省)によると、本年4月の完全失業者(全国)は、昨年4月から0.3ポイント低下して2.0%季節調整後となっている。また、本年1月・3月期の雇用者は342.3万人(雇用者全体の61.8%)、非正規の従業員が217.7万人(同38.2%)となっている。 (注) 一般職雇入れ状況(厚生労働省)によると、本年4月の有期求人は昨年1月から0.1ポイント調整され1.69倍、季節調整後倍率は1.5倍となっている。		「本年4月の新規求人倍率は昨年4月の0.20ポイント上昇して2.37倍(季節調整後)となっている」 (参考資料4 生計費関係) (参考資料5 労働費関係) (参考資料6 給与関係) 行政執行法人の旧現業の給与改定 行政執行法人のうち、かつての国営であった独立行政法人造路局及び独立行政法人国立印刷局の職員給与改定については、中央官制官舎に対し「勤労の労働者に対する給与」が適用され、本年4月から基本内賃金を1.5%、4.03%相当額の増額をもちき上げることと内容とする調停案を労資双方が受諾して決着した。 (3) 有識者の意見 ……(略)…… 2 本年の国家公務員給与と民間給与の実態 (1) 国家公務員給与の状況 本院は、「平成30年國家公務員給与等実態調査」を、公務員給与と一般職職員の給与に関する法律(職員の給与に関する法律)が適用される常勤職員の給与支給状況等について全数調査を行った。 民間給与との比較を行う行政職俸給表(一)適用職員(14,009.3名)の平均給与43.55%の平均給与年額は41万940円となっており、総務省職員(2,672,882人、同41.1%)の平均給与43.17万7330円となっている。 (注) 平均給与月額とは、俸給、地域手当、俸給の特別調停額、管理職手当、扶養手当、住居手当等所定支給給与である超過勤務手当等及び実質賃金率を算出したものである。	
「本年4月の勤労世帯の消費支出は、昨年4月に比べ目下1.5%、実質で0.7%の増加となっている」 本院は、従来より、国民一般の標準的な生活水準を求め、標準生計費を算定している。具体的には、1人世帯においては、全国家消費実態調査(総務省)を、2人以上世帯においては「家計調査」をそれぞれ基準として、毎年4月における世帯別の標準生計費を算定しており、本年においては、1人世帯が11万6930円、2人世帯が15万0690円、3人世帯が18万6500円、4人世帯が22万2500円となっている。 「労働力調査(総務省)によると、本年4月の完全失業者(全国)は、昨年4月から0.3ポイント低下して2.0%季節調整後となっている。また、本年1月・3月期の雇用者は342.3万人(雇用者全体の61.8%)、非正規の従業員が217.7万人(同38.2%)となっている。 (注) 一般職雇入れ状況(厚生労働省)によると、本年4月の有期求人は昨年1月から0.1ポイント調整され1.69倍、季節調整後倍率は1.5倍となっている。		の通勤手当等の手当を除く)の全ての給与の平均月額をいう。 (参考資料1 国家公務員給与関係関係) (2) 民間給与の状況 本院は、企業規模50人以上かつ、事業所規模50人以上の全国の民間事業所約5万8400(母集団事業所)のうち、層化無作為抽出法によって抽出した約1万5000の事業所を対象に、「平成30年職別民間給与実態調査」を実施した。 この調査は、公務の行政職俸給表(一)と類似すると思われる事務・技術関係職の職種の約48万人と、研究員、医師等54職種の約5万人について、本年4月分に支払われた給与月額及び当該従業員の役職階級、学歴、年齢等を実地に詳細に調査するとともに、各民間企業における給与改定の状況等を調査している。また、民間企業における昨年冬と本年夏の特別給付の状況等も把握するため、昨年8月から本年7月までの直近1年間の支給実績についても調査を行った。 本年の調査完了率は、民間事業所の理解を得て、88.2%に達しており、調査結果は広く民間事業所の給与の状況を反映したものといえる。 イ 調査の実施結果 本年の「職別民間給与実態調査」により把握した民間給与の状況は、次のとおりである。 (ア) 年初給の状況 企業体として見た場合に、新規採用者の採用方法に別れる割合は、大半で40.3%(昨年48.2%)、同年の4月分の給与(公	
「本年4月の勤労世帯の消費支出は、昨年4月に比べ目下1.5%、実質で0.7%の増加となっている」 本院は、従来より、国民一般の標準的な生活水準を求め、標準生計費を算定している。具体的には、1人世帯においては、全国家消費実態調査(総務省)を、2人以上世帯においては「家計調査」をそれぞれ基準として、毎年4月における世帯別の標準生計費を算定しており、本年においては、1人世帯が11万6930円、2人世帯が15万0690円、3人世帯が18万6500円、4人世帯が22万2500円となっている。 「労働力調査(総務省)によると、本年4月の完全失業者(全国)は、昨年4月から0.3ポイント低下して2.0%季節調整後となっている。また、本年1月・3月期の雇用者は342.3万人(雇用者全体の61.8%)、非正規の従業員が217.7万人(同38.2%)となっている。 (注) 一般職雇入れ状況(厚生労働省)によると、本年4月の有期求人は昨年1月から0.1ポイント調整され1.69倍、季節調整後倍率は1.5倍となっている。		高校卒で28.1%(同27.1%)となっている。そのうち、初任給については、増額した事業所の割合は、大卒で34.3%(同32.0%)、高校卒で36.8%(同36.9%)、短大卒で35.5%(同37.8%)、高卒で62.7%(同62.7%)となっている。 (イ) 給与改定の状況 民間事業所においては、一般の従業員(役員)については、ベースアップを実施した事業所の割合は0.1%(同0.1%)となっている。 また、別表第2に示すとおり、一般の従業員(役員)について、定額に行われる昇給を実施した事業所の割合は78.1%(昨年87.1%)となっている。昇給額については、昨年と比べて増額となっている事業所の割合は30.1%(同27.2%)、減額となっている事業所の割合は4.1%(同4.2%)となっている。 (参考資料2 民間給与と民間給与との比較) 3 本年の国家公務員給与と民間給与との比較 (1) 月例給 本院は、「国家公務員給与等実態調査」及び「職別民間給与実態調査」の結果に基づき、公務においては一般の行政職俸給表(一)と類似すると思われる職種の「勤労の従業員関係」について、主な給決定要素である役職段階、勤務地域、年齢等を同一とする者との4月分の給与(公	
「本年4月の勤労世帯の消費支出は、昨年4月に比べ目下1.5%、実質で0.7%の増加となっている」 本院は、従来より、国民一般の標準的な生活水準を求め、標準生計費を算定している。具体的には、1人世帯においては、全国家消費実態調査(総務省)を、2人以上世帯においては「家計調査」をそれぞれ基準として、毎年4月における世帯別の標準生計費を算定しており、本年においては、1人世帯が11万6930円、2人世帯が15万0690円、3人世帯が18万6500円、4人世帯が22万2500円となっている。 「労働力調査(総務省)によると、本年4月の完全失業者(全国)は、昨年4月から0.3ポイント低下して2.0%季節調整後となっている。また、本年1月・3月期の雇用者は342.3万人(雇用者全体の61.8%)、非正規の従業員が217.7万人(同38.2%)となっている。 (注) 一般職雇入れ状況(厚生労働省)によると、本年4月の有期求人は昨年1月から0.1ポイント調整され1.69倍、季節調整後倍率は1.5倍となっている。		務にあつては平均給与月額の内閣にあつては所定内給与の月額を減じた額を対比させ、国家公務員の人数の多いウエイトを用いて精算比較(スワイズ法)を行ってきた。 本年4月分の給与については、官民較差を算出したところ、別表第3に示すとおり、国家公務員給与が民間給与を1人当たり平均655円(0.16%)下回っていた。 (2) 特別給 本院は、民間における特別給の支給割合(目数)を算出し、これを国家公務員給与の期末手当・勤労立の年間平均支給月数(日数)と比較したところ、0.05月単位で較差を定行っている。 本年の「職別民間給与実態調査」の結果、昨年1年間の平均支給月数は、民間給与の期末手当・勤労手当	
「本年4月の勤労世帯の消費支出は、昨年4月に比べ目下1.5%、実質で0.7%の増加となっている」 本院は、従来より、国民一般の標準的な生活水準を求め、標準生計費を算定している。具体的には、1人世帯においては、全国家消費実態調査(総務省)を、2人以上世帯においては「家計調査」をそれぞれ基準として、毎年4月における世帯別の標準生計費を算定しており、本年においては、1人世帯が11万6930円、2人世帯が15万0690円、3人世帯が18万6500円、4人世帯が22万2500円となっている。 「労働力調査(総務省)によると、本年4月の完全失業者(全国)は、昨年4月から0.3ポイント低下して2.0%季節調整後となっている。また、本年1月・3月期の雇用者は342.3万人(雇用者全体の61.8%)、非正規の従業員が217.7万人(同38.2%)となっている。 (注) 一般職雇入れ状況(厚生労働省)によると、本年4月の有期求人は昨年1月から0.1ポイント調整され1.69倍、季節調整後倍率は1.5倍となっている。		「本年4月の勤労世帯の消費支出は、昨年4月に比べ目下1.5%、実質で0.7%の増加となっている」 本院は、従来より、国民一般の標準的な生活水準を求め、標準生計費を算定している。具体的には、1人世帯においては、全国家消費実態調査(総務省)を、2人以上世帯においては「家計調査」をそれぞれ基準として、毎年4月における世帯別の標準生計費を算定しており、本年においては、1人世帯が11万6930円、2人世帯が15万0690円、3人世帯が18万6500円、4人世帯が22万2500円となっている。 「労働力調査(総務省)によると、本年4月の完全失業者(全国)は、昨年4月から0.3ポイント低下して2.0%季節調整後となっている。また、本年1月・3月期の雇用者は342.3万人(雇用者全体の61.8%)、非正規の従業員が217.7万人(同38.2%)となっている。 (注) 一般職雇入れ状況(厚生労働省)によると、本年4月の有期求人は昨年1月から0.1ポイント調整され1.69倍、季節調整後倍率は1.5倍となっている。	

別表第2 民間における定期昇給の実施状況
(平成30年職種別民間給与実態調査)

項 目 役職段階	定期昇給 制度あり	定期昇給 実施	増 額 減 額 変化なし			定期昇給 中止	定期昇給 制度なし
			増 額	減 額	変化なし		
係 員	88.4	87.1	30.1	4.1	52.9	1.3	11.6
課 長 級	82.4	81.0	27.4	4.2	49.4	1.4	17.6

(注) 定期昇給の有無が不明、定期昇給の実施が未定及びベースアップと定期昇給を分離することができない事業所を除いて集計した。

別表第4 民間における特別給の支給状況

区 分		事務・技術等 従業員	技能・労務等 従業員
平均所定内給与月額	下半期（A 1） 上半期（A 2）	円 379,753 381,147	円 280,139 281,423
特別給の支給額	下半期（B 1） 上半期（B 2）	円 832,466 866,023	円 529,480 528,454
特別給の支給割合	下半期（ $\frac{B1}{A1}$ ） 上半期（ $\frac{B2}{A2}$ ）	月分 2.19 2.27	月分 1.89 1.88
年 間 の 平 均		4.46月分	

(注) 1 下半期とは平成29年8月から平成30年1月まで、上半期とは同年2月から7月までの期間をいう。

2 年間の平均は、特別給の支給割合を国家公務員の人員構成に合わせて求めたものである。

備 考 国家公務員の場合、現行の年間支給月数は、平均で4.40月である。

下等により、公務能率の低下が懸念される状況にある（7めんに続く）

(単位: 百円)

6級										7級										8級										9級										10級									
年度	月	現行		改正		年度	月	現行		改正		年度	月	現行		改正		年度	月	現行		改正		年度	月	現行		改正		年度	月	現行		改正															
		原額	増減	原額	増減			原額	増減	原額	増減			原額	増減	原額	増減			原額	増減	原額	増減			原額	増減	原額	増減			原額	増減	原額	増減	原額	増減	原額	増減	原額	増減								
0.1	1	3,185	22	3,192	22	7	0.1	1	3,623	26	3,629	26	6	0.2	1	4,077	24	4,081	24	4	0.1	1	4,580	31	4,584	31	4	0.1	1	5,213	29	5,217	29	4	0.1														
0.3	2	3,207	23	3,214	23	7	0.2	2	3,649	25	3,655	24	6	0.2	2	4,101	25	4,105	25	4	0.1	2	4,611	30	4,615	30	4	0.1	2	5,242	31	5,246	31	4	0.1														
0.3	3	3,230	22	3,237	22	7	0.2	3	3,674	26	3,679	26	5	0.1	3	4,126	24	4,130	24	4	0.1	3	4,641	30	4,645	30	4	0.1	3	5,273	31	5,277	31	4	0.1														
0.3	4	3,252	22	3,259	22	7	0.2	4	3,700	19	3,705	19	5	0.1	4	4,150	19	4,154	19	4	0.1	4	4,671	30	4,675	30	4	0.1	4	5,304	31	5,308	31	4	0.1														
0.3	5	3,274	20	3,281	20	7	0.2	5	3,719	25	3,724	25	5	0.1	5	4,169	23	4,173	23	4	0.1	5	4,701	30	4,705	30	4	0.1	5	5,335	23	5,339	23	4	0.1														
0.3	6	3,294	22	3,301	22	7	0.2	6	3,744	23	3,749	23	5	0.1	6	4,192	21	4,196	21	4	0.1	6	4,731	30	4,735	30	4	0.1	6	5,368	25	5,372	25	4	0.1														
0.3	7	3,316	22	3,323	22	7	0.2	7	3,767	25	3,772	25	5	0.1	7	4,213	22	4,217	22	4	0.1	7	4,761	31	4,765	31	4	0.1	7	5,388	24	5,392	24	4	0.1														
0.3	8	3,338	20	3,345	19	7	0.2	8	3,792	25	3,797	24	5	0.1	8	4,235	20	4,239	20	4	0.1	8	4,792	27	4,796	27	4	0.1	8	5,407	24	5,411	24	4	0.1														
0.2	9	3,358	22	3,364	22	6	0.2	9	3,817	27	3,821	27	4	0.1	9	4,255	21	4,259	21	4	0.1	9	4,819	31	4,823	31	4	0.1	9	5,431	18	5,435	18	4	0.1														
0.2	10	3,380	20	3,386	20	6	0.2	10	3,844	26	3,848	26	4	0.1	10	4,276	21	4,280	21	4	0.1	10	4,850	30	4,854	30	4	0.1	10	5,449	18	5,453	18	4	0.1														
0.2	11	3,400	22	3,406	22	6	0.2	11	3,870	27	3,874	27	4	0.1	11	4,297	21	4,301	21	4	0.1	11	4,880	31	4,884	31	4	0.1	11	5,467	19	5,471	19	4	0.1														
0.2	12	3,422	18	3,428	18	6	0.2	12	3,897	24	3,901	24	4	0.1	12	4,318	17	4,322	17	4	0.1	12	4,911	27	4,915	27	4	0.1	12	5,486	17	5,490	17	4	0.1														
0.2	13	3,440	20	3,446	20	6	0.2	13	3,921	23	3,925	23	4	0.1	13	4,335	18	4,339	18	4	0.1	13	4,938	23	4,942	23	4	0.1	13	5,503	14	5,507	14	4	0.1														
0.2	14	3,460	21	3,466	20	6	0.2	14	3,944	22	3,948	22	4	0.1	14	4,358	20	4,357	20	4	0.1	14	4,961	23	4,965	23	4	0.1	14	5,517	13	5,521	13	4	0.1														
0.2	15	3,481	20	3,486	20	6	0.2	15	3,966	24	3,970	24	4	0.1	15	4,373	20	4,377	20	4	0.1	15	4,984	23	4,988	23	4	0.1	15	5,530	11	5,534	11	4	0.1														
0.2	16	3,501	17	3,506	17	5	0.1	16	3,990	18	3,994	18	4	0.1	16	4,393	19	4,397	19	4	0.1	16	5,007	21	5,011	21	4	0.1	16	5,541	13	5,545	13	4	0.1														
0.2	17	3,518	20	3,523	20	5	0.1	17	4,008	20	4,012	20	4	0.1	17	4,412	18	4,416	18	4	0.1	17	5,028	14	5,032	14	4	0.1	17	5,554	10	5,558	10	4	0.1														
0.2	18	3,538	18	3,543	18	5	0.1	18	4,028	19	4,032	19	4	0.1	18	4,430	18	4,434	18	4	0.1	18	5,042	15	5,046	15	4	0.1	18	5,564	9	5,568	9	4	0.1														
0.2	19	3,558	19	3,561	19	5	0.1	19	4,047	18	4,051	18	4	0.1	19	4,448	17	4,452	17	4	0.1	19	5,057	14	5,061	14	4	0.1	19	5,573	9	5,577	9	4	0.1														
0.2	20	3,575	20	3,580	19	5	0.1	20	4,065	19	4,069	19	4	0.1	20	4,465	18	4,469	18	4	0.1	20	5,071	12	5,075	12	4	0.1	20	5,582	9	5,586	9	4	0.1														
0.2	21	3,595	19	3,599	19	4	0.1	21	4,084	18	4,088	18	4	0.1	21	4,483	15	4,487	15	4	0.1	21	5,083	14	5,087	14	4	0.1	21	5,591	4	5,595	4	4	0.1														
0.2	22	3,614	20	3,618	20	4	0.1	22	4,102	18	4,106	18	4	0.1	22	4,498	14	4,502	14	4	0.1	22	5,097	15	5,101	15	4	0.1																					
0.1	23	3,634	19	3,638	19	4	0.1	23	4,120	19	4,124	19	4	0.1	23	4,512	15	4,516	15	4	0.1	23	5,112	15	5,116	15	4	0.1																					
0.1	24	3,653	20	3,657	20	4	0.1	24	4,139	18	4,143	18	4	0.1	24	4,527	14	4,531	14	4	0.1	24	5,127	11	5,131	11	4	0.1																					
0.1	25	3,673	19	3,677	19	4	0.1	25	4,157	15	4,161	15	4	0.1	25	4,541	13	4,545	13	4	0.1	25	5,138	11	5,142	11	4	0.1																					
0.1	26	3,692	20	3,696	20	4	0.1	26	4,172	15	4,176	15	4	0.1	26	4,554	13	4,558	13	4	0.1	26	5,149	12	5,153	12	4	0.1																					
0.1	27	3,712	20	3,716	20	4	0.1	27	4,187	16	4,191	16	4	0.1	27	4,567	12	4,571	12	4	0.1	27	5,161	12	5,165	12	4	0.1																					
0.1	28	3,732	15	3,736	15	4	0.1	28	4,203	16	4,207	16	4	0.1	28	4,579	10	4,583	10	4	0.1	28	5,173	10	5,177	10	4	0.1																					
0.1	29	3,747	18	3,751	18	4	0.1	29	4,219	13	4,223	13	4	0.1	29	4,589	7	4,593	7	4	0.1	29	5,183	9	5,187	9	4	0.1																					
0.1	30	3,765	18	3,769	18	4	0.1	30	4,232	13	4,236	13	4	0.1	30	4,598	8	4,602	8	4	0.1	30	5,191	9	5,195	9	4	0.1																					
0.1	31	3,783	16	3,787	16	4	0.1	31	4,245	12	4,249	12	4	0.1	31	4,604	7	4,608	7	4	0.1	31	5,202	9	5,206	9	4	0.1																					
0.1	32	3,799	18	3,803	18	4	0.1	32	4,257	12	4,261	12	4	0.1	32	4,611	7	4,615	7	4	0.1	32	5,210	8	5,214	8	4	0.1																					
0.1	33	3,817	14	3,821	14	4	0.1	33	4,269	13	4,273	13	4	0.1	33	4,618	8	4,622	8	4	0.1	33	5,218	9	5,222	9	4	0.1																					
0.1	34	3,831	15	3,835	15	4	0.1	34	4,282	13	4,286	13	4	0.1	34	4,626	7	4,630	7	4	0.1	34	5,227	7	5,231	7	4	0.1																					
0.1	35	3,846	16	3,850	16	4	0.1	35	4,295	12	4,299	12	4	0.1	35	4,633	6	4,637	6	4	0.1	35	5,234	5	5,238	5	4	0.1																					
0.1	36	3,862	14	3,866	14	4	0.1	36	4,307	12	4,311	12	4	0.1	36	4,639	5	4,643	5	4	0.1	36	5,239	7	5,243	7	4	0.1																					
0.1	37	3,878	12	3,882	12	4	0.1	37	4,319	8	4,323	8	4	0.1	37	4,644	6	4,648	6	4	0.1	37	5,246	6	5,250	6	4	0.1																					
0.1	38	3,886	12	3,892	12	4	0.1	38	4,327	8	4,331	8	4	0.1	38	4,650	6	4,654	6	4	0.1	38	5,252	8	5,256	8	4	0.1																					

行政職俸給表(一)

1級										2級										3級										4級										5級										6級									
月俸		改定		現行		改定		月俸		改定		現行		改定		月俸		改定		現行		改定		月俸		改定		現行		改定		月俸		改定		現行		改定		月俸		改定		現行		改定													
月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定	月俸	改定												
1	1,426	1,441	11	15	1.1	1	1,927	1,940	18	13	0.7	1	2,390	2,416	16	11	0.5	1	2,839	2,869	18	10	0.4	1	3,267	3,297	21	9	0.3	1	3,698	3,728	24	8	0.3	1	4,129	4,159	27	7	0.2	1	4,560	4,590	30	6	0.1	1											
2	1,437	1,452	12	15	1.0	2	1,945	1,958	18	13	0.7	2	2,395	2,421	16	11	0.5	2	2,844	2,874	18	10	0.4	2	3,276	3,306	21	9	0.3	2	3,707	3,737	24	8	0.3	2	4,138	4,168	27	7	0.2	2	4,569	4,599	30	6	0.1	2											
3	1,449	1,464	11	15	1.0	3	1,963	1,976	18	13	0.7	3	2,400	2,426	16	11	0.5	3	2,853	2,883	18	10	0.4	3	3,287	3,317	21	9	0.3	3	3,718	3,748	24	8	0.3	3	4,149	4,179	27	7	0.2	3	4,580	4,610	30	6	0.1	3											
4	1,460	1,475	11	15	1.0	4	1,981	1,994	18	13	0.7	4	2,416	2,442	16	11	0.5	4	2,866	2,896	18	10	0.4	4	3,302	3,332	21	9	0.3	4	3,733	3,763	24	8	0.3	4	4,160	4,190	27	7	0.2	4	4,591	4,621	30	6	0.1	4											
5	1,471	1,486	11	15	1.0	5	1,997	2,009	18	12	0.6	5	2,351	2,377	16	11	0.4	5	2,810	2,840	18	9	0.3	5	3,238	3,268	21	8	0.2	5	3,669	3,699	24	7	0.2	5	4,099	4,129	27	6	0.1	5	4,530	4,560	30	5	0.1	5											
6	1,482	1,497	11	15	1.0	6	2,015	2,027	18	12	0.6	6	2,366	2,392	16	11	0.5	6	2,815	2,845	18	9	0.3	6	3,247	3,277	21	8	0.2	6	3,678	3,708	24	7	0.2	6	4,108	4,138	27	6	0.1	6	4,541	4,571	30	5	0.1	6											
7	1,493	1,508	11	15	1.0	7	2,033	2,045	18	12	0.6	7	2,381	2,407	16	11	0.5	7	2,824	2,854	18	9	0.3	7	3,259	3,289	21	8	0.2	7	3,689	3,719	24	7	0.2	7	4,119	4,149	27	6	0.1	7	4,550	4,580	30	5	0.1	7											
8	1,504	1,519	11	15	1.0	8	2,051	2,063	18	12	0.6	8	2,399	2,425	16	11	0.5	8	2,838	2,868	18	9	0.3	8	3,274	3,304	21	8	0.2	8	3,705	3,735	24	7	0.2	8	4,134	4,164	27	6	0.1	8	4,565	4,595	30	5	0.1	8											
9	1,515	1,530	14	15	1.0	9	2,068	2,079	18	11	0.5	9	2,412	2,438	16	11	0.5	9	2,847	2,877	18	9	0.3	9	3,289	3,319	21	8	0.2	9	3,720	3,750	24	7	0.2	9	4,150	4,180	27	6	0.1	9	4,581	4,611	30	5	0.1	9											
10	1,529	1,544	13	15	1.0	10	2,086	2,097	18	11	0.5	10	2,427	2,453	16	11	0.5	10	2,858	2,888	18	9	0.3	10	3,304	3,334	21	8	0.2	10	3,735	3,765	24	7	0.2	10	4,165	4,195	27	6	0.1	10	4,596	4,626	30	5	0.1	10											
11	1,542	1,557	13	15	1.0	11	2,104	2,115	18	11	0.5	11	2,443	2,469	16	11	0.5	11	2,879	2,909	18	9	0.3	11	3,320	3,350	21	8	0.2	11	3,751	3,781	24	7	0.2	11	4,180	4,210	27	6	0.1	11	4,611	4,641	30	5	0.1	11											
12	1,555	1,570	13	15	1.0	12	2,122	2,133	14	11	0.5	12	2,457	2,483	16	11	0.5	12	2,900	2,930	18	9	0.3	12	3,341	3,371	21	8	0.2	12	3,772	3,802	24	7	0.2	12	4,201	4,231	27	6	0.1	12	4,632	4,662	30	5	0.1	12											
13	1,568	1,583	15	15	1.0	13	2,136	2,147	18	11	0.5	13	2,472	2,498	16	11	0.5	13	2,911	2,941	18	9	0.3	13	3,362	3,392	21	8	0.2	13	3,793	3,823	24	7	0.2	13	4,222	4,252	27	6	0.1	13	4,653	4,683	30	5	0.1	13											
14	1,583	1,598	15	15	0.9	14	2,154	2,165	17	11	0.5	14	2,487	2,513	16	11	0.5	14	2,932	2,962	18	9	0.3	14	3,383	3,413	21	8	0.2	14	3,814	3,844	24	7	0.2	14	4,243	4,273	27	6	0.1	14	4,674	4,704	30	5	0.1	14											
15	1,598	1,613	16	15	0.9	15	2,171	2,182	18	11	0.5	15	2,500	2,526	16	11	0.5	15	2,957	2,987	18	9	0.3	15	3,404	3,434	21	8	0.2	15	3,835	3,865	24	7	0.2	15	4,264	4,294	27	6	0.1	15	4,695	4,725	30	5	0.1	15											
16	1,614	1,629	13	15	0.9	16	2,189	2,200	17	11	0.5	16	2,514	2,540	16	11	0.5	16	2,974	3,004	18	8	0.3	16	3,425	3,455	21	8	0.2	16	3,856	3,886	24	7	0.2	16	4,285	4,315	27	6	0.1	16	4,716	4,746	30	5	0.1	16											
17	1,627	1,642	15	15	0.9	17	2,206	2,217	17	11	0.5	17	2,529	2,555	16	11	0.5	17	2,989	3,019	18	8	0.3	17	3,436	3,466	21	8	0.2	17	3,867	3,897	24	7	0.2	17	4,296	4,326	27	6	0.1	17	4,727	4,757	30	5	0.1	17											
18	1,642	1,657	15	15	0.9	18	2,223	2,234	16	11	0.5	18	2,546	2,572	16	11	0.5	18	3,002	3,032	18	8	0.3	18	3,447	3,477	21	8	0.2	18	3,878	3,908	24	7	0.2	18	4,307	4,337	27	6	0.1	18	4,738	4,768	30	5	0.1	18											
19	1,657	1,672	15	15	0.9	19	2,239	2,250	16	11	0.5	19	2,561	2,587	16	11	0.5	19	3,017	3,047	18	8	0.3	19	3,462	3,492	21	8	0.2	19	3,893	3,923	24	7	0.2	19	4,318	4,348	27	6	0.1	19	4,749	4,779	30	5	0.1	19											
20	1,672	1,687	14	15	0.9	20	2,255	2,266	15	11	0.5	20	2,581	2,607	16	11	0.5	20	3,032	3,062	18	8	0.3	20	3,477	3,507	21	8	0.2	20	3,908	3,938	24	7	0.2	20	4,333	4,363	27	6	0.1	20	4,764	4,794	30	5	0.1	20											
21	1,686	1,701	27	16	0.9	21	2,270	2,280	17	10	0.4	21	2,597	2,623	16	11	0.5	21	3,048	3,078	18	8	0.3	21	3,488	3,518	21	8	0.2	21	3,919	3,949	24	7	0.2	21	4,348	4,378	27	6	0.1	21	4,779	4,809	30	5	0.1	21											
22	1,713	1,728	26	15	0.9	22	2,287	2,297	16	10	0.4	22	2,615	2,641	16	11	0.5	22	3,059	3,089	18	8	0.3	22	3,503	3,533	21	8	0.2	22	3,934	3,964	24	7	0.2	22	4,363	4,393	27	6	0.1	22	4,794	4,824	30	5	0.1	22											
23	1,739	1,754	26	15	0.9	23	2,303	2,313	16	10	0.4	23	2,632	2,658	16	11	0.5	23	3,069	3,099	18	8	0.3	23	3,518	3,548	21	8	0.2	23	3,949	3,979	24	7	0.2	23	4,378	4,408	27	6	0.1	23	4,809	4,839	30	5	0.1	23											
24	1,765	1,780	27	15	0.8	24	2,319	2,329	11	10	0.4	24	2,649	2,675	16	11	0.5	24	3,080	3,110	18	8	0.3	24	3,528	3,558	21	8	0.2	24	3,960	3,990	24	7	0.2	24	4,393	4,423	27	6	0.1	24	4,824	4,854	30	5	0.1	24											
25	1,792	1,807	17	15	0.8	25	2,331	2,340	15	9	0.4	25	2,669	2,695	16	11	0.5	25	3,100	3,130	18																																						

行政職俸給表(二)

(単位: 百円)

1級										2級										3級										4級										5級																			
月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定	月俸	現行	改定									
1	1,289	1,304	9	15	1.2	1	1,803	1,818	15	16	0.9	1	2,020	2,038	12	16	0.8	1	2,491	2,501	12	10	0.4	1	2,784	2,792	19	7	0.3	2	1,298	1,313	10	15	1.2	2	1,818	1,834	15	16	0.9	2	2,034	2,048	14	14	0.7	2	2,503	2,513	11	10	0.4	2	2,803	2,811	18	8	0.3
2	1,308	1,323	9	15	1.1	3	1,833	1,849	14	18	0.9	3	2,048	2,062	13	14	0.7	3	2,514	2,524	12	10	0.4	3	2,821	2,829	18	8	0.3	3	1,317	1,332	15	1.1	4	1,848	1,863	13	15	0.8	4	2,061	2,075	13	14	0.7	4	2,526	2,536	9	16	0.4	4	2,839	2,847	17	8	0.3	
3	1,337	1,352	10	15	1.1	4	1,868	1,883	13	15	0.8	4	2,061	2,075	13	14	0.7	4	2,526	2,536	9	16	0.4	4	2,839	2,847	17	8	0.3	4	1,347	1,362	10	15	1.1	5	1,883	1,898	14	18	0.9	5	2,077	2,091	13	14	0.7	5	2,537	2,547	10	10	0.4	5	2,851	2,859	16	8	0.3
4	1,367	1,382	10	15	1.1	5	1,876	1,891	14	15	0.8	5	2,088	2,102	14	14	0.7	5	2,548	2,558	11	10	0.4	5	2,857	2,865	17	8	0.3	5	1,377	1,392	10	15	1.1	6	1,893	1,908	14	18	0.9	6	2,098	2,112	13	14	0.7	6	2,548	2,558	11	10	0.4	6	2,875	2,883	17	8	0.3
5	1,397	1,412	10	15	1.1	6	1,890	1,905	13	15	0.7	6	2,102	2,116	14	14	0.7	6	2,559	2,569	12	10	0.4	6	2,892	2,900	18	8	0.3	6	1,407	1,422	15	1.1	7	1,903	1,918	14	18	0.9	7	2,116	2,130	13	14	0.7	7	2,569	2,579	10	10	0.4	7	2,904	2,912	15	8	0.3	
6	1,427	1,442	10	15	1.1	7	1,903	1,918	14	15	0.8	7	2,116	2,130	13	14	0.7	7	2,571	2,581	11	10	0.4	7	2,916	2,924	18	8	0.3	7	1,437	1,452	15	1.1	8	1,918	1,933	14	18	0.9	8	2,130	2,144	13	14	0.7	8	2,581	2,591	10	10	0.4	8	2,916	2,924	15	8	0.3	
7	1,457	1,472	12	15	1.0	8	1,912	1,927	13	17	0.7	8	2,146	2,159	16	13	0.6	8	2,593	2,601	12	8	0.3	8	2,944	2,952	17	7	0.2	8	1,467	1,482	15	1.1	9	1,929	1,944	13	17	0.7	9	2,146	2,160	13	13	0.6	9	2,601	2,610	12	8	0.3	9	2,924	2,932	15	8	0.3	
8	1,487	1,502	12	15	1.0	9	1,929	1,944	13	17	0.7	9	2,162	2,175	14	13	0.6	9	2,605	2,613	12	8	0.3	9	2,956	2,964	17	7	0.2	9	1,497	1,512	15	1.1	10	1,944	1,959	14	18	0.9	10	2,175	2,189	12	13	0.6	10	2,613	2,621	12	8	0.3	10	2,932	2,940	15	8	0.3	
9	1,517	1,532	12	15	1.0	10	1,944	1,959	14	13	0.7	10	2,175	2,189	12	13	0.6	10	2,617	2,625	10	8	0.3	10	2,968	2,976	17	7	0.2	10	1,527	1,542	15	1.1	11	1,960	1,975	14	18	0.9	11	2,189	2,203	12	13	0.6	11	2,625	2,633	10	8	0.3	11	2,940	2,948	15	8	0.3	
10	1,547	1,562	12	15	1.0	11	1,960	1,975	14	13	0.7	11	2,191	2,205	13	13	0.6	11	2,629	2,637	10	8	0.3	11	2,979	2,987	17	7	0.2	11	1,557	1,572	15	1.1	12	1,976	1,991	14	18	0.9	12	2,203	2,217	12	13	0.6	12	2,637	2,645	10	8	0.3	12	2,952	2,960	15	8	0.3	
11	1,577	1,592	12	15	1.0	12	1,976	1,991	14	13	0.7	12	2,205	2,219	13	13	0.6	12	2,641	2,649	10	8	0.3	12	2,990	2,998	17	7	0.2	12	1,587	1,602	15	1.1	13	1,991	2,006	14	18	0.9	13	2,217	2,231	12	13	0.6	13	2,645	2,653	10	8	0.3	13	2,964	2,972	15	8	0.3	
12	1,607	1,622	12	15	1.0	13	1,991	2,006	14	13	0.7	13	2,219	2,233	13	13	0.6	13	2,649	2,657	10	8	0.3	13	3,001	3,009	17	7	0.2	13	1,617	1,632	15	1.1	14	2,006	2,021	14	18	0.9	14	2,231	2,245	12	13	0.6	14	2,653	2,661	10	8	0.3	14	2,976	2,984	15	8	0.3	
13	1,637	1,652	12	15	1.0	14	2,006	2,021	14	13	0.7	14	2,233	2,247	13	13	0.6	14	2,657	2,665	10	8	0.3	14	3,012	3,020	17	7	0.2	14	1,647	1,662	15	1.1	15	2,021	2,036	14	18	0.9	15	2,245	2,259	12	13	0.6	15	2,661	2,669	10	8	0.3	15	2,988	2,996	15	8	0.3	
14	1,667	1,682	12	15	1.0	15	2,021	2,036	14	13	0.7	15	2,247	2,261	13	13	0.6	15	2,665	2,673	10	8	0.3	15	3,023	3,031	17	7	0.2	15	1,677	1,692	15	1.1	16	2,036	2,051	14	18	0.9	16	2,259	2,273	12	13	0.6	16	2,669	2,677	10	8	0.3	16	2,999	3,007	15	8	0.3	
15	1,697	1,712	12	15	1.0	16	2,036	2,051	14	13	0.7	16	2,261	2,275	13	13	0.6	16	2,673	2,681	10	8	0.3	16	3,034	3,042	17	7	0.2	16	1,707	1,722	15	1.1	17	2,051	2,066	14	18	0.9	17	2,273	2,287	12	13	0.6	17	2,677	2,685	10	8	0.3	17	3,009	3,017	15	8	0.3	
16	1,727	1,742	12	15	1.0	17	2,051	2,066	14	13	0.7	17	2,275	2,289	13	13	0.6	17	2,681	2,689	10	8	0.3	17	3,045	3,053	17	7	0.2	17	1,737	1,752	15	1.1	18	2,066	2,081	14	18	0.9	18	2,287	2,301	12	13	0.6	18	2,685	2,693	10	8	0.3	18	3,019	3,027	15	8	0.3	
17	1,757	1,772	12	15	1.0	18	2,066	2,081	14	13	0.7	18	2,289	2,303	13	13	0.6	18	2,689	2,697	10	8	0.3	18	3,056	3,064	17	7	0.2	18	1,767	1,782	15	1.1	19	2,081	2,096	14	18	0.9	19	2,301	2,315	12	13	0.6	19	2,693	2,701	10	8	0.3	19	3,027	3,035	15	8	0.3	
18	1,787	1,802	12	15	1.0	19	2,081	2,096	14	13	0.7	19	2,303	2,317	13	13	0.6	19	2,697	2,705	10	8	0.3	19	3,067	3,075	17	7	0.2	19	1,797	1,812	15	1.1	20	2,096	2,111	14	18	0.9	20	2,315	2,329	12	13	0.6	20	2,701	2,709	10	8	0.3	20	3,039	3,047	15	8	0.3	
19	1,817	1,832	12	15	1.0	20	2,096	2,111	14	13	0.7	20	2,317	2,331	13	13	0.6	20	2,705	2,713	10	8	0.3	20	3,078	3,086	17	7	0.2	20	1,827	1,842	15	1.1	21	2,111	2,126	14	18	0.9	21	2,329	2,343	12	13	0.6	21	2,709	2,717	10	8	0.3	21	3,047	3,055	15	8	0.3	
20	1,847	1,862	12	15	1.0	21	2,111	2,126	14	13	0.7	21	2,331	2,345	13	13	0.6	21	2,713	2,721	10	8	0.3	21	3,089	3,097	17	7	0.2	21	1,857	1,872	15	1.1	22	2,126	2,141	14	18	0.9	22	2,343	2,357	12	13	0.6	22	2,717	2,725	10	8	0.3	22	3,055	3,063	15	8	0.3	
21	1,877	1,892	12	15	1.0	22	2,126	2,141	14	13	0.7	22	2,345	2,359	13	13	0.6	22	2,721	2,729	10	8	0.3	22	3,099	3,107	17	7	0.2	22	1,887	1,902	15	1.1	23	2,141	2,156	14	18	0.9	23	2,357	2,371	12	13	0.6	23	2,725	2,733	10	8	0.3	23	3,063	3,071	15	8	0.3	
22	1,907	1,922	12	15	1.0	23	2,141	2,156	14	13	0.7	23	2,359	2,373	13	13	0.6	23	2,729	2,737	10	8	0.3	23	3,109	3,117	17	7	0.2	23	1,917	1,932	15	1.1	24	2,156	2,171	14	18	0.9	24	2,371	2,385	12	13	0.6	24	2,733	2,741	10	8	0.3	24	3,071	3,079	15	8	0.3	
23	1,937	1,952	12	15	1.0	24	2,156	2,171	14	13	0.7	24	2,373	2,387	13	13	0.6	24	2,737	2,745	10	8	0.3	24	3,119	3,127	17																																

給与勧告の骨子

- 本年の給与勧告のポイント
～月例給、ボーナスともに引上げ～
① 民間給与との較差(0.16%)を埋めるため、俸給表の水準を引上げ
② ボーナスを引上げ(0.05月分)、民間の支給状況等を踏まえ勤勉手当に配分

I 給与勧告制度の基本的考え方

(給与勧告の意義と役割)

- 国家公務員給与は、社会一般の情勢に適應するように国会が随時変更することができる。その変更に関し必要な勧告・報告を行うことは、国家公務員法に定められた人事院の責務
- 勧告は、労働基本権制約の代償措置として、国家公務員に対し適正な給与を確保する機能を有するものであり、能率的な行政運営を維持する上での基盤

公務には市場の抑制力という給与決定上の制約がないことから、給与水準は、経済・雇用情勢等を反映して労使交渉等によって決定される民間の給与水準に準拠して定めることが最も合理的

(現行の民間給与との比較方法等)

- 公務と民間企業の給与比較は、単純な平均値ではなく、役職段階、勤務地域、学歴、年齢等の給与決定要素を合わせて比較することが適当
- 企業規模50人以上の多くの民間企業は部長、課長、係長等の役職段階を有しており、公務と同種・同等の者同士による給与比較が可能。さらに、現行の調査対象事業所数であれば、実地による精緻な調査が可能であり、調査の精度性を維持

II 民間給与との較差に基づく給与改定等

1 民間給与との比較

約12,500民間事業所の約53万人の個人別給与を実地調査(完了率88.2%)

<月例給> 公務と民間の4月分の給与額を比較

- 民間給与との較差 855円 0.16%
〔行政職(一)・・・現行給与 410,940円 平均年齢43.5歳〕
〔俸給 583円 はね返り分(注) 72円〕
(注) 俸給の改定に伴い諸手当の額が増減する分

<ボーナス> 昨年8月から本年7月までの直近1年間の民間の支給実績(支給割合)と公務の年間の支給月数を比較

- 民間の支給割合 4.46月(公務の支給月数 4.40月)

2 給与改定の内容と考え方

<月例給>

(1) 俸給表

- ① 行政職俸給表(一)
民間の初任給との間に差があること等を踏まえ、総合職試験(大卒程度)、一般職試験(大卒程度)及び一般職試験(高卒者)に係る初任給を1,500円引上げ。若年層についても1,000円程度の改定。その他は400円の引上げを基本に改定(平均改定率0.2%)

- ② その他の俸給表
行政職俸給表(一)との均衡を基本に改定(指定職俸給表は改定なし)

(2) 初任給調整手当

医療職俸給表(一)の改定状況を勘案し、医師の処遇を確保する観点から、所要の改定

<ボーナス>

民間の支給割合に見合うよう引上げ 4.40月分→4.45月分
民間の支給状況等を踏まえ、勤務実績に応じた給与を推進するため、引上げ分を勤勉手当に配分

(一般の職員の場合の支給月数)

	6月期	12月期
30年度 期末手当 勤勉手当	1,225月(支給済み) 0.90月(支給済み)	1,375月(改定なし) 0.95月(現行0.90月)
31年度 期末手当 以降 勤勉手当	1,30月 0.925月	1,30月 0.925月

【実施時期】

- ・月例給：平成30年4月1日
- ・ボーナス：法律の公布日

3 その他

(1) 宿日直手当

宿日直勤務対象職員の給与の状況を踏まえ、所要の改定

(2) 住居手当

受給者の増加の状況を注視しつつ、職員の家賃負担の状況、民間の支給状況を踏まえ、公務員宿舎使用料の引上げも考慮して、必要な検討

定年を段階的に65歳に引き上げるための
国家公務員法等の改正についての意見の申出の骨子

- 質の高い行政サービスを維持するためには、高齢層職員の能力及び経験を本格的に活用することが不可欠。定年を段階的に65歳まで引上げ
○ 民間企業の高齢期雇用の実情を考慮し、60歳超の職員の年間給与を60歳前の7割水準に設定
○ 能力・実績に基づく人事管理を徹底するとともに、役職定年制の導入により組織活力を維持
○ 短時間勤務制の導入により、60歳超の職員の多様な働き方を実現

1 国家公務員の定年の引上げをめぐる検討の経緯

- 平成23年、人事院は、定年を段階的に65歳に引き上げることが適当とする意見の申出
平成25年、政府は、当面、年金支給開始年齢に達するまで希望者を原則とし

て常勤官職に再任用すること、年金支給開始年齢の段階的な引上げの時期ごとに段階的な定年の引上げも含め改めて検討を行うこと等を閣議決定

- 政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2017」(閣議決定)において、「公務員の定年の引上げについて、具体的な検討を進める」とし、関係行政機関による検討会で人事院の意見の申出も踏まえ検討した結果、定年を段階的に65歳に引き上げる方向で検討することが適当とし、論点を整理。平成30年2月、人事院に対し、論点整理を踏まえ定年の引上げについて検討要請
- 「経済財政運営と改革の基本方針2018」(閣議決定)においても、「公務員の定年を段階的に65歳に引き上げる方向で検討する」等としている
- 定年の引上げの必要性
 - 少子高齢化が急速に進展し、若年労働力人口が減少。意欲と能力のある高齢者が活躍できる場を作っていくことが社会全体の重要な課題。民間では定年を引き上げる企業も一定数見られ、再雇用者の大多数はフルタイム勤務
 - 公務では平成26年度以降、義務的再任用の実施等から、再任用職員は相当数増加。行政職(一)の再任用職員について、ポストは係長・主任級が約7割、勤務形態は短時間勤務の者が約8割。このまま再任用職員の割合が高まると、職員の能力及び経験を十分にいかされず、公務効率の低下が懸念。職員間も、無年金期間が拡大する中、生活への不安が高まるおそれ
 - 複雑高度化する行政課題に的確に対応し、質の高い行政サービスを維持していくためには、60歳を超える職員の能力及び経験を本格的に活用することが不可欠であり、定年を段階的に65歳に引き上げることが必要。これにより、採用から退職までの人事管理の一体性・連続性が確保され、雇用と年金の接続も確実に図られる
 - 定年の引上げを円滑に進める観点からも引上げ開始前を含めフルタイム再任用拡大の取組が必要
- 定年の引上げに関する具体的措置

(1) 定年制度の見直し

- 一定の準備期間を確保しつつ定年を段階的に65歳に引き上げることとした上で、速やかに実施される必要
- 定年の段階的な引上げ期間中は、定年退職後、年金が満額支給される65歳までの間の雇用確保のため、現行の再任用制度(フルタイム・短時間)を存置
- 60歳以降の働き方等について、あらかじめ人事当局が職員の意向を聴取する仕組みを措置

(2) 役職定年制の導入

- 新陳代謝を確保し組織活力を維持するため、当分の間、役職定年制を導入
- 管理監督職員は、60歳に達した日後における最初の4月1日までに他の官職に降任又は転任(任用換)。任用換により公務の運営に著しい支障が生ずる場合には、例外的に、引き続き役職定年対象官職に留まること又は他の役職定年対象官職に任用することを可能とする制度を設定

(3) 定年前の再任用短時間勤務制の導入

- 60歳以降の職員の多様な働き方を可能とするため、希望に基づき短時間勤務を可能とする制度を導入。新規採用や若年・中堅層職員の昇進の余地の確保、組織活力の維持にも資する
- 短時間勤務職員が能力及び経験をいかすためには、それにふさわしい職務の整備や人事運用について検討が必要

(4) 60歳を超える職員の給与

- 「賃金構造基本統計調査」では、民間(管理・事務・技術労働者(正社員))の60歳前半層の年間給与水準は60歳前の約70%。「職種別民間給与実態調査」でも、定年延長企業のうち、60歳時点で給与減額を行っている事業所の60歳を超える従業員の間給与水準は60歳前の7割台
- これらの状況を踏まえ、60歳を超える職員の年間給与について、60歳前の7割水準に設定。役職定年により任用換された職員の年間給与は任用換前の5割から6割程度となる場合がある
- 具体的には、60歳を超える職員の俸給月額額は60歳前の70%の額とし、俸給月額と関係する諸手当等は60歳前の7割を基本に手当額等を設定(扶養手当等の手当額は60歳前と同額)。また、役職定年により任用換された職員の俸給額は、任用換前の俸給月額の70%の額(ただし、その額は任用換後の職務の級の最高号俸の俸給月額を上限)
- 60歳を超える職員の給与の引下げは、当分の間の措置とし、民間給与の動向等も踏まえ、60歳前の給与カーブも含めてその在り方を引き続き検討

※ 上記の諸制度について、定年の引上げが段階的に行われる間も、役職定年制等の運用状況、能力・実績に基づく人事管理の徹底の状況、職員の就労意識の変化等を踏まえ、新たな定年制度の運用の実情を逐次検証し、円滑な人事管理の確保等の観点から必要な見直しを検討

関連する給与制度についても、民間企業における定年制や高齢層従業員の給与の状況、職員の人員構成の変化が各府省の人事管理に与える影響等を踏まえ、必要な見直しを検討

4 定年の引上げに関連する取組

(1) 能力・実績に基づく人事管理の徹底等

- 職員の在職期間を通じて能力・実績に基づく人事管理を徹底するなど人事管理全体を見直す必要。人事評価に基づく昇進管理の厳格化等を進める必要。人事院としても必要な検討を行う
- 勤務実績が良くない職員等には降任や免職等の分限処分が適時厳正に行われるよう、人事評価の適正な運用の徹底が必要。人事院としても分限の必要な見直しと各府省への必要な支援を行う
- 採用時から計画的に職員の能力を伸ばし多様な職務経験を付与するよう努めるほか、節目節目で職員の将来のキャリアプランに関する意向把握等が肝要
- 定年の引上げを円滑に行うため公務全体で取り組むべき施策
 - スタッフ職が必要な役割を適切に果たし得る執行体制の構築や複線型キャリアパスの確立に努めた上で、60歳を超える職員が能力及び経験をいかせる職務の更なる整備を検討
 - 定年の引上げ期間中も真に必要な規模の新規採用を計画的に継続できるよう措置
 - 職員の自主的な選択としての早期退職を支援するため、退職手当上の措置や高齢層職員の能力及び経験を公務外で活用する観点から必要な方策を検討

当面の日程

- 7～8日 県本部公企評定期総会・公企集会
(いこいの村はりま)
- 8日 県本部青年部定期総会 (神戸市教育会館)
- 8日 県本部女性部定期総会 (神戸市教育会館)
- 8日 県本部町職連協定期総会 (猪名川町中央公民館)
- 9日 県本部臨職評定期総会 (ひょうご共済会館)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1526号

2018. 9. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

ジェンダーの解消には 女性の覚悟も必要

女性組合員交流会に37人



スイーツの前に話がはずむ

男女がともに担う委員会は8月4日、女性組合員交流会を神戸市内で開催。18単組37人が参加した。講師の中村和子さん(オフィスE.E.E.)は、「職場で

はバリバリ働くことを求められ、家では家事に子育て、介護。女性はこれ以上どう頑張ればいいのか」と切り出した。子育ては女性の仕事と連想させるCMの上映など、ジェンダーの問題をあげ、「おかしい現実を変えるためには覚悟がいる」と参加者に檄を飛ばした。

また、右脳と左脳を交錯させて物事を考える「女性脳」、右脳、左脳それぞれで物事を考える「男性脳」にも言及し、「どちらが優

れているということではなく、一緒に取り組むことで全体がよくなる」と共同参加の必要性を強調した。

グループ交流では、「男性上司の職場の方がまとまる風潮がある」「女性が組合で遅くなる」と、夫の理解に感じているジェンダーについて話した。

藤原調子事務局長は、「自分分がどんな職場にしたいのか。覚悟を決めて頑張ろう」と集約した。

最後に神戸議長の発声による団結ガランパロウで総会を終えた。



主催者を代表してあいさつする神戸議長

総会では、神戸一県本部現業評議会議長が「現業職場を取り巻く情勢は、依然として厳しい状況だが、直営を堅持し、安心して働き続けられる職場づくりを実現するため、県本部に結集し、要求一交渉一妥結という交渉サイクルを確立し、現業・公企統一闘争に全力で取り組もう」とあいさつと決意を述べた。

また、県本部山下忠之副委員長、藤田直樹公企評副議長、木南紀子臨職評副議長、自治労本部の小迫敏弘現業局長から連帯と激励のあいさつを受けた。

衛生医療評議会では8月3日、ひょうご共済会館で32人が参加し第3回定期総会を開催。藤田勝也議長のあいさつに続き、県本部隅田龍副委員長よりあいさつを受けた後、澤本明事務局長から、活動経過報告、活動方針案、役員体制案が提案され、拍手で承認された。

総会後は、川西病院の指定管理者制度導入問題、伊丹病院と近畿中央病院の連携の動き、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合問題、たつの市民病院の運営形態変更問題など、運営形態や地域医療確保を巡る課題、県職労から超過勤務や設備改善などの日常的な課題を報告。人事院勧告を巡る課題について豊岡病

院労組から報告を受け、中村圭一幹事の団結ガランパロウで閉会した。

また、総会前には兵庫県医療・介護の環境改善を求める要求書に対する対案交渉を行い、幹事団13人が参加。川西病院労組は「来年4月から継続勤務する考えの看護師は18%に過ぎず、現在のレベルの医療確保にも不安。指定管理先での賃金は大幅減と試算され、大量の退職者が出る予測。三田市民病院労組からは「指定管理制度で統合が進められようとしている」等の実態を訴え、交渉

県本部現業評議会は8月3日、シーサイド舞子ビラ神戸において2018現業評議会総会を開催し27単組111人が参加。冒頭、7月に西日本を中心に発生した豪雨災害で亡くなった方々に黙祷が捧げられた。

総会では、神戸一県本部現業評議会議長が「現業職場を取り巻く情勢は、依然として厳しい状況だが、直営を堅持し、安心して働き続けられる職場づくりを実現するため、県本部に結集し、要求一交渉一妥結という交渉サイクルを確立し、現業・公企統一闘争に全力で取り組もう」とあいさつと決意を述べた。

また、県本部山下忠之副委員長、藤田直樹公企評副議長、木南紀子臨職評副議長、自治労本部の小迫敏弘現業局長から連帯と激励のあいさつを受けた。

衛生医療評議会では8月3日、ひょうご共済会館で32人が参加し第3回定期総会を開催。藤田勝也議長のあいさつに続き、県本部隅田龍副委員長よりあいさつを受けた後、澤本明事務局長から、活動経過報告、活動方針案、役員体制案が提案され、拍手で承認された。

総会後は、川西病院の指定管理者制度導入問題、伊丹病院と近畿中央病院の連携の動き、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合問題、たつの市民病院の運営形態変更問題など、運営形態や地域医療確保を巡る課題、県職労から超過勤務や設備改善などの日常的な課題を報告。人事院勧告を巡る課題について豊岡病

院労組から報告を受け、中村圭一幹事の団結ガランパロウで閉会した。

また、総会前には兵庫県医療・介護の環境改善を求める要求書に対する対案交渉を行い、幹事団13人が参加。川西病院労組は「来年4月から継続勤務する考えの看護師は18%に過ぎず、現在のレベルの医療確保にも不安。指定管理先での賃金は大幅減と試算され、大量の退職者が出る予測。三田市民病院労組からは「指定管理制度で統合が進められようとしている」等の実態を訴え、交渉

現業評議会 定期総会

働き続けられる職場づくりを

現業公企闘争を全力で

最後に神戸議長の発声による団結ガランパロウで総会を終えた。

総会終了後は、小迫現業局長から「会計年度任用職員、第2次現業・公企統一闘争について」の講演を受けた後、たたかいの報告を高砂市職の大國泰樹さんから「労働安全衛生の取り組みについて」、また、養父市職労の村橋純一さんから「新規採用への取り組みについて」それぞれから行われた。

その後は、学校集会が行われ、学校部会としての活動報告、活動方針案、新役員員の提起がされ、全体の拍手で確認され、初日を終了した。

翌日は清掃集会と一般現業集会で部会方針を確認した後、清掃集会では職場実態調査に基づき分散会を開催した。

衛生医療評議会 定期総会 地域医療の充実をめざす



1年間の運動方針を確認

めにも県は調整会議の場など、指導的役割を果たして欲しい」と要請して交渉を終えた。

いまいち座

高値の野菜



おやすみ漫



しこ

今年の人事院勧告が出された。春闘結果を反映し5年連続の月例給・一時金の引き上げ勧告となった▼超勤削減策として、原則1月45時間、1年360時間を上限とすることを人事院規則に定めるとしたものの、大規模な災害への対応等やむを得ない場合には上限超えが容認され、各省庁の判断で特例を設けることもできる

一般現業集会と学校集会では「会計年度任用職員制度」について分散会を開催し、参加者同士で各単組の状況や課題について話し合い、各単組での取り組み強化に向けて交流を深めた。

一、参加者同士で各単組の状況や課題について話し合い、各単組での取り組み強化に向けて交流を深めた。

近畿地連
スポーツ大会

宝塚が圧巻の2連覇達成

バレーは豊岡病院健闘するも第4位



大会2連覇を達成した宝塚市職労のメンバー

7月30～31日にかけて滋賀県で、第40回近畿地連スポーツ大会が開催され、兵庫からは軟式野球へ神戸市従と宝塚市職労が、女子バレーボール大会へは豊岡病院労組が出場し、熱戦を繰り広げた。

軟式野球の部では、神戸市従と前年優勝の宝塚が順当に勝ち進み、決勝は兵庫県勢のたかひとなつた。神戸市従は初回にヒットと盗塁、死球の後、送りバントとピッチャー強襲ゴロの間に1点を先取。更に3回表にも1点を追加したが、

宝塚はその裏に2点を入れ同点に追いつくと、5回に打線が爆発し4点を奪取。7回と8回にも1点ずつ追加し、8対2で宝塚が地連大会2連覇を果たした。

女子バレーボール大会は、豊岡病院が初戦で近江八幡市労連と対戦し、近江



健闘した豊岡労組 (奥)

地震の怖さと 備えの大切さ学ぶ

県本部公企評は、第34回自治労水週間の取り組みの一環として、8月6日に、「過去を学び未来へつなげるツアール」を開催した。

最初に、北淡記念公園の見学を行い、兵庫県南部地震で出現した野島断層や体験コーナーでの兵庫県南部地震と東北地方太平洋沖地震の揺れの違いを体験し、地震の怖さについて学び、備えの大切さを学んだ。見学後、淡路広域水倉本さんから淡路島で抱える水の



地震体験をする参加者

日頃からの整理整頓を

但馬丹波B
労安点検

但馬丹波ブロック公営企業評議会は、7月27日に香

美町森浄水場と香住浄化センターの安全衛生点検活動を実施した。

森浄水場は6年前に建て替えられ、香住地区沿岸部の8400人に地下水を減菌処理し供給する施設で、2階は上下水道課となっている。

事務所にある休憩室は畳敷きとなっており、足を伸ばして休むスペースが確保されていたが、職員用のらせん階段は頭を打ちそうである雨時は滑りそうだった。また、入口付近には地上式消火栓や殺虫剤、高圧洗浄機などが置かれており、出入りに不都合をきたしていた。



点検中の様子

「胸が苦しくなった」

基地反対の市民の姿に触れ

沖縄視察団

県本部は7月27～29日、第19次沖縄視察団を取り組み、戦争の歴史と沖縄の反基地闘争に学んだ。

山下忠之副委員長を団長に14人が参加。初日は県南部を中心に訪問し、沖縄戦の歴史に触れた。平和ガイドの本村光雄さんは、「遺骨収集や不発弾処理はまだ続いている。沖縄戦は終

わっていない」と強調した。

2日目は、新基地建設反対の闘争が続く辺野古に向かった。視察団が到着したとき、工事資材が搬入される時間帯で、連なるダンブを目前に体を張って工事を阻止する住民の姿を目の当たりにした。「基地がない平和な沖縄を取り戻したい」という市民の姿に触れ、

胸が苦しくなった」と参加者は感想を述べた。

最終日は、辺野古現地で指揮を執る沖縄平和運動センターの大城悟事務局長の講演に学んだ。真っ黒に日焼けした大城さんは、「地上戦を経験した沖縄は、武力への強い抵抗がある。政府は後戻りできない状況をつくろうとしているが、全



ガイドの説明を聞く参加者

「災害特別カンパ」へのご協力をお願いします

2018年7月に西日本を襲った豪雨災害による被害を受けた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

このたびの西日本豪雨災害の被災者に対し、自治労として「災害特別カンパ」を取り組むことを決定しました。兵庫県本部もこれをふまえ、すべての単組・組合員の皆さまに「災害特別カンパ」へのご協力をお願いいたします。

カンパ対象 全ての組合員
カンパ金額 任意 (1人500円目標)
集約日 最終集約2018年10月19日(金)
集約方法 各単組で集約し県本部まで

「全労済の住まいる共済」は、新火災共済と新自然災害共済をあわせて呼び名です。

※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

全労済の住まいる共済

新火災共済・新自然災害共済

風水害等被害を受けた被災者へ、被災者支援金・個人賠償責任共済

「全労済の住まいる共済」は、新火災共済と新自然災害共済をあわせて呼び名です。

※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

自治労共済本部

全日本自治労労働者共済生活協同組合

※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

住まいと家財の安心のため 豪雨・台風による損害なども 新自然災害共済の守備範囲!

大型タイプと標準タイプがあります。
安心UPの大型タイプがおすすめ。
新火災共済に付帯してご利用ください。



全労済自治労共済本部資料より引用

10月は各級地方自治体選挙が執行

10月は神戸市長選挙をはじめ、各地方自治体選挙が執行される。県本部はすでに神戸市長選挙へは現職の「久元きぞう」さん、西脇市議選へは現職の「村井正信」さん、新温泉町議選へは現職の「中村茂」さんと新人の「阪本晴良」さん、豊岡市議選へは新人の「足田仁司」さん、南あわじ市議選へは新人の「土井巧」さんを執行委員会で推薦決定している。各単組・支部等では推薦決定を行うとともに、最後の最後まで、ご家族・知人・友人に周知徹底をお願いする。

久元きぞう事務所開設

9月19日、神戸市中央区に久元きぞう事務所が開設され、関係者約200人が出席した。久元市長は「神戸市は震災からの復旧・復興を終え、財政健全化も果たした。これからは、残された課題の克服に向けて力いっぱい頑張っていきたい」と決意を語った。



新たなステージに向けて決意を語る久元さん

神戸市長選 10月8日告示、22日投票

久元きぞうさん (現職)

各級地方自治体選挙県本部推薦候補

西脇市議選 10月22日告示、29日投票	村井正信さん (現職・組織内候補)
新温泉町議選 10月24日告示、29日投票	中村茂さん (現職・組織内候補)
	阪本晴良さん (新人・組織内候補)
豊岡市議選 10月22日告示、29日投票	足田仁司さん (新人)
南あわじ市議選 10月15日告示、22日投票	土井巧さん (新人)

よこはた和幸3区(須磨区・垂水区)を駆け巡る 衆議院選挙公示、投票日は10月22日



垂水駅前で第一声をあげ、選挙区内を駆け巡る「よこはた和幸」さん

第48回衆議院議員選挙が、10月10日公示された。県本部は9月30日の定期大会において兵庫第3区では自治労組織内候補として「よこはた和幸」さんをはじめ、第2区「ふなかわ治郎」さん、第4区「佐藤やすき」さん、第5区「榎原やすひろ」さん、第6区「桜井シュウ」さんの推薦を決定した。

兵庫第3区の「よこはた和幸」さんは、「今回の選挙の最大の争点は、安倍一強政権を終わらせるかどうか問われる選挙である。この5年間で年金は3.4%減り、消費税は5%から8%へ上がった。増税をする前にやるべ

きことは、国会議員の定数削減、給与の削減を実現させたい。また、女性の活躍にむけて待機児童の解消、育児休暇の充実をめざしていく。そして、景気回復を実現するためにも、消費税増税を凍結させるべきだと考えている。いずれにせよ厳しい戦いとなるが、この選挙戦を最後の最後までたかつかっていくために皆さんの支援をお願いする」とJR垂水駅前で第一声をあげ、12日間の選挙戦勝利をめざし選挙区内を駆け巡った。

最後の最後まで、ご家族・知人・友人に組織内候補・推薦候補の支援を要請する。

兵庫県内での県本部推薦候補者

兵庫第2区

神戸市兵庫区・北区・長田区・
西宮市塩瀬支所管内・山口支所管内

ふなかわ治郎



兵庫第4区

神戸市西区・西脇市・三木市・小野市
加西市・加東市・多可町

佐藤やすき



兵庫第5区

豊岡市・三田市・篠山市・養父市・朝来市
猪名川町・香美町・新温泉町・川西市の一部

梶原やすひろ



兵庫第6区

伊丹市・宝塚市
川西市のうち5区以外地域

桜井シユウ



※衆議院選挙小選挙区の区割り改定され、川西市は従来の6区から5区と6区に、西宮市は従来の7区から2区と7区に選挙区が分割されているのでご注意ください

選挙事務に従事する組合員は期日前投票をしよう

自治ひろい" ネットワーク情報

No. 174
2018. 5.28
発行人/尾西克太郎・編集人/秦信昭

県本部現業評議会ニュース



2018 現業・公企統一闘争団結団旗と県本部闘争委員会メンバー

2018 年 4 月 25 日 (水) に第 2 回 2018 現業・公企闘争委員会が県本部会議室で開催された。『2018 年度現業・公企統一闘争のあり方』については、第 90 回定期大会で決定した自治労本部からの方針提起以降、県本部現業・公企闘争委員会において議論し、今年度の取り組みについては、県本部人員確保闘争を 2018 現業・公企統一闘争の第 1 波として位置づけることを 2018 第 1 回現業・公企闘争委員会で確認し、県本部第 203 回中央員会で提案し承認されました。また、2018 年 2 月には、2017 現業・公企統一闘争に関するアンケート調査も実施しました。基本目標を「直営堅持」とし、私たちの持つ団体交渉権、労働協約締結権の権利を活用し、「要求→交渉→妥結（書面・協約化）」の交渉サイクルの確立をめざし、新規採用、欠員不補充、労働条件改善等の取り組みを進めましょう。

県本部人員確保闘争（現業・公企統一闘争第 1 次ゾーン）の日程

- ・要求書提出 5 月 15 日 (火)
- ・回答指定日 5 月 25 日 (金)
- ・交渉ゾーン 5 月 25 日 (金) ～5 月 31 日 (木)
- ・統一交渉日 5 月 31 日 (木)
- ・統一行動日 6 月 1 日 (金)（1 ｈｓｔ配置）

2018 現業・公企統一闘争

直営堅持、「要求書・交渉・妥結（書面・協約化）」交渉サイクルの確立
自治体現場力で質の高い公共サービスを確立しよう！！

概

2018 現業・公企統一闘争に取り組むすべての自治労組合員の仲間から敬意を表します。

現業・公企職場を取り巻く情勢は非常に厳しく、骨太方針をはじめとした政府方針により、人員削減、アウトソーシングの推進、賃金抑制などコスト論のみを優先したさまざまな合理化攻撃がより一層推し進められることは明らかです。また、労使交渉・労使合意によって獲得した新規採用や賃金をはじめとした労働条件に対し、総務省から「助言」という名の厳しい「指導」が行われ、その結果多くの自治体が新規採用抑制・賃金抑制を強硬に推し進めています。

こうした動きは、地方分権や「質の高い公共サービス」の提供をめざす私たちの取り組みを真っ向から否定するものであり、断じて容認することはできません。

このような自治体職場にとって厳しい情勢を打破していくため、今一度産別統一闘争の重要性を組織全体で再認識するとともに、2018 現業・公企統一闘争において「質の高い公共サービス」の確立に必要な人員や処遇改善を獲得することで住民が求める地域公共サービスを実現していくことが非常に重要です。

各自治体が次年度の予算編成や採用計画をたてる段階から人員確保、協約締結の取り組みを強化し、より実効性のある全単組・全組合員が結集する統一闘争をめざし、今年度から新たな現業・公企統一闘争をスタートさせました。今こそ、2018 現業・公企統一闘争に全国の仲間が結集し、これまでの様々な合理化によって失われつつある自治体現場力を回復しようではありませんか。

自治労本部が 4 月 18 日に行った総務省交渉にあって、総務省から「採用の方法や理由について同うことはあるが、職員の採用削減を前提としたものではない。採用については地方公共団体が判断するものである」という考え方を改めて確認しており、総務省は採用削減の助言を否定しています。これを踏まえ新規採用の獲得に向け、自信と確信をもって当局交渉を強化しましょう。自治労本部も国会対策や省庁交渉をさらに強化するなど、全国の仲間と共に今闘争の勝利に向け組織の総力をあげて取り組んで参ります。全国の仲間が 2018 現業・公企統一闘争に総結集し、全力でたたかわれることを、心より訴えます。

2018 年 5 月

全日本自治団体労働組合
現業・公企統一闘争本部長 和谷尚彦